

飲酒・喫煙・薬物乱用についての  
全国中学生意識・実態調査

(2012年)

研究報告書

平成25年(2013年)3月

平成24年度厚生労働科学研究費補助金

(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)

薬物乱用・依存等の実態把握と薬物依存症者に関する制度的社会資源の現状と課題に関する研究

(H23-医薬-一般-014)

(研究代表者：和田 清)

研究分担者：和田 清

独立行政法人

国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所

薬物依存研究部長

## 飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査(2012年)

研究分担者	和田 清	独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部長
研究協力者	水野菜津美	同研究所(薬物依存研究部 流動研究員)
	嶋根卓也	同研究所(薬物依存研究部 心理社会研究室長)
	立森久照	同研究所(精神保健計画研究部 統計解析研究室室長)
	勝野眞吾	岐阜薬科大学 学長

**研究要旨** わが国の中学生における薬物乱用の広がり把握し、特に有機溶剤乱用に関する危険因子を特定することによって、中学生に対する薬物乱用防止対策の基礎資料に供するために、飲酒、喫煙、有機溶剤・大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」乱用に対する意識・実態調査を実施した。調査期間は、2012年10月中(一部11~12月中)であり、層別一段集落抽出法により選ばれた全国235校の全生徒を対象に、自記式調査を実施した。その結果、124校(対象校の52.8%)より、54,733人(対象校235校の全生徒想定数の46.8%)の回答を得た。有効回答数は54,486人(対象校235校の全生徒想定数の46.6%)であった。① **有機溶剤の生涯経験率**(これまでに1回でも経験したことのあると答えた者の割合)は、男子で0.6%(1年生0.6%、2年生0.6%、3年生0.8%)、女子で0.4%(1年生0.3%、2年生0.4%、3年生0.5%)であり、全体では0.5%(1年生0.4%、2年生0.5%、3年生0.6%)であった。この結果は、男女及び全体で、1996年に開始した一連の本調査では最低の値である。有機溶剤乱用の目撃率、身近にいる有機溶剤乱用者の周知率、有機溶剤乱用への被誘惑率も、過去最低の値であった。以上により、有機溶剤乱用の勢いは、確実に弱まっている。② **有機溶剤乱用経験者群**では、非経験者群に比べて、日常生活の規則性、学校生活、家庭生活、友人関係において、好ましくない傾向が統計学的有意差を持って強いことが再確認された。その背景には、家庭生活のあり方が大きく影響していると考えられる。経験者群では、「親との相談頻度」「家族との夕食頻度」が有意に低く、逆に「大人不在での時間」が有意に長く、親子の共有時間が少ない傾向が再確認された。③ **結局**、有機溶剤経験者群は、相対的に見れば、家庭にも、学校にもなじみず、友人関係も希薄な中学生たちが多く、「居場所のない子供たち」と推測することができよう。④ また、中学生における喫煙と大人が同伴しない飲酒は、有機溶剤乱用と強い繋がりを持っており、これらは、有機溶剤乱用への「ゲイトウェイ」となっている可能性が再確認された。⑤ **有機溶剤乱用による健康への害知識の周知率**は調査年毎に上昇していたが、2006年をピークに、周知度が減少傾向にあり、薬物乱用防止教育の再度の強化の必要性が示唆された。⑥ **大麻の生涯経験率**は、男子では0.3%(1年生0.3%、2年生0.2%、3年生0.4%)であり、女子では0.2%(1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%)であった。全体では0.2%(1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.4%)であった。この結果は、男女及び全体で、1996年に開始した一連の本調査では最低の値である。**覚せい剤の生涯経験率**は、男子では0.3%(1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.4%)で、女子では0.2%(1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%)であり、全体では0.2%(1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.3%)であった。この結果は、男女及び全体で、1996年に開始した一連の本調査では最低の値である。⑦ **「脱法ドラッグ」の生涯経験率**は、男子で0.3%(1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.5%)、女子で0.2%(1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%)であり、全体では0.2%(1年生0.1%、2年生0.2%、3年生0.4%)であった。⑧ **大麻及び覚せい剤乱用による医学的害知識の周知度**は、経年的に増加傾向にあったが、2012年調査では激減傾向を示した。薬物乱用防止教育の行われ方に疑義を抱かざるを得ない結果であった。⑨ **大麻、覚せい剤の入手可能性**は微減した。ただし、大麻入手可能群の割合は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で13.1%、女子で11.7%であるのに対して、経験者群では、男子で35.6%、女子で43.6%

と明らかに異なっていた ( $p < 0.01$ )。このことは覚せい剤の入手可能性についても同じであり、覚せい剤入手可能群の割合は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で12.7%、女子で11.9%であるのに対して、経験者群では、男性で30.5%、女性で44.6%となっていた ( $p < 0.01$ )。これらの結果は、わが国の中学生にとって、有機溶剤を乱用すると言うことは、大麻、覚せい剤が身近なものになるという特徴を如実に示している。「脱法ドラッグ」の入手可能性は、入手可能とした者は、男子で16.7%、女子で14.5%、全体で15.6%であった。⑩ 薬物の乱用経験率には、法の遵守性が大きく影響すると考えられる。喫煙については全体の約5%の者が「少々ならかまわない」を選んでいるのに対して、「シンナー遊び」に関してそれを選んだ者は1.2%に過ぎず、大麻では0.7%であったことは、同じ依存性薬物と言えども、有機溶剤及び大麻乱用への心理的垣根は喫煙よりはるかに高いことを物語っている。⑪ 有機溶剤乱用経験者群の20.5% (男子18.6%、女子23.3%) の者に大麻乱用の経験があり、19.1% (男子18.1%、女子19.4%) の者に覚せい剤乱用の経験があり、有機溶剤乱用と大麻・覚せい剤乱用との間には強い結びつきがあることが再確認された。同時に、喫煙経験と有機溶剤乱用経験との間にも結びつきが認められた。喫煙経験と「脱法ドラッグ」乱用との関係、「シンナー遊び」経験と「脱法ドラッグ」乱用との関係は、それぞれ、喫煙経験と「シンナー遊び」との関係、「シンナー遊び」経験と大麻ないしは覚せい剤乱用との関係とほとんど同じ結果であった。驚くべきことは、「脱法ドラッグ」乱用経験者における大麻、覚せい剤乱用経験の高さである。「脱法ドラッグ」乱用経験者における大麻乱用経験率は、60.0% (男子59.7%、女子63.6%) であり、「脱法ドラッグ」乱用経験者における覚せい剤乱用経験率は、63.3% (男子59.7%、女子70.5%) にも上った。従来、わが国での中学生にとっての乱用薬物の順番は、「喫煙→有機溶剤→大麻・覚せい剤」と考えられてきた。しかし、「脱法ドラッグ」の出現は、「喫煙→脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」という新しい流れの可能性を示唆するものであり、同時に、「脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」の流れは、「有機溶剤→大麻・覚せい剤」の比ではない可能性を示唆するものである。ただし、今回のこの結果は、初めての調査結果であり、トレンドを見ることができないため、断定はできない。しかし、それにしても、「脱法ドラッグ」乱用経験と大麻、覚せい剤乱用との関係の強さは恐怖すら覚える結果であった。⑫ 以上により、中学生の薬物乱用問題は、有機溶剤問題から「脱法ドラッグ」問題に変わってきている可能性がある。薬物乱用防止教育の実施状況の再確認とともに、内容を再検討する時期に来ている。

(なお、2002年調査の報告書から、有機溶剤、大麻、覚せい剤乱用の生涯経験率、1年経験率、目撃率、乱用者周知率、生涯被害感率については、「無回答」を除いて計算し直した値を文章上は採用することにした。その結果、表での値と異なることがある。)

## A. 研究目的

第三次覚せい剤乱用期に入って、15年以上が経過した。この間、わが国の薬物乱用状況は確実に変化してきている。その変化の特徴は、2006年の不正事犯数における有機溶剤と大麻の入れ替わりに象徴されるように「違法」から「脱法」への流れであり、有機溶剤優位型である「わが国独自型」から大麻優位の「欧米型」への変化としてとらえることができる<sup>23)25)</sup>。しかも、2011年下半年からの「脱法ハーブ」問題の一大社会問題化は、わが国の薬物乱用史上、特筆すべき変化として捉えることができる。

ただし、薬物乱用により精神障害をきたして精神病院を受診した患者調査での初回使用薬物とし

ては、有機溶剤が相変わらず多く<sup>1),28)</sup>、大麻、覚せい剤の入手可能性の高まりの中で、有機溶剤乱用の経験なしに、いきなり大麻、覚せい剤乱用を始める若者の増加が推定される第3次覚せい剤乱用期においても、有機溶剤乱用の意味は依然として重要であることを示唆している。

すなわち、わが国では、飲酒・喫煙を除けば、有機溶剤の乱用が精神医療の面からみて、その後の覚せい剤乱用への門を開く「ゲイトウェイ・ドラッグ」<sup>2)</sup>としての役割を、以前より弱くはなったものの、相変わらず担っている可能性があるようである。

この有機溶剤乱用は、14歳から16歳で開始されることが多く<sup>3)</sup>、予防対策上は中学生が重要であ

る。したがって、中学生における有機溶剤乱用（「シンナー遊び」）の実態を把握し、有機溶剤乱用に関連するハイリスク・ファクターを特定することは、わが国における薬物乱用防止対策上、不可欠である。

同時に、中学生における喫煙、飲酒は、有機溶剤乱用と強い関係を有していると推定され<sup>2)4)5)6)7)21)</sup>、中学生における喫煙と飲酒の一部が有機溶剤乱用開始ないしは継続への「ゲイトウェイ」になっている可能性が高い<sup>2)21)</sup>。

以上の考えから、平成24年度、平成8年度に初めて実施した「薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査」<sup>9)</sup>の第9回目調査を実施し、薬物乱用防止対策の基礎資料に供することを目的とした。なお、今回の調査では、2011年下半期以降急激に社会問題化した「脱法ドラッグ」の乱用実態の把握も試みた。

## B. 研究方法

調査は、下記方法によって選ばれた対象校で、原則として、2012年10月中（一部11月～12月中）に、全生徒による自記式調査として実施した。

対象校の抽出方法には層別一段集落抽出法を用いた。抽出に用いたデータベースは、2012年版の全国学校総覧<sup>10)</sup>である。どの都道府県からも最低1校は抽出されるようにするために、都道府県を層とし、中学生数に比例して都道府県毎に対象校の抽出を行った。すなわち、中学生数の最も少ない鳥取県での調査校数を1とし、その他の都道府県での調査校数は、鳥取県の生徒数との比に従って、切り上げで決定し、その後、各都道府県での対象校数を2校以上確保するために、鳥取県での調査対象校数を2に変更した。

対象校の抽出は、各都道府県毎に、上記の手続きで決定された数の中学校を全中学校から無作為で抽出した。その際、学校毎の生徒数に比例して抽出確率を決める確率抽出法を用い、実際の抽出には乱数を使用した。

本調査での抽出法は、抽出された学校の全生徒を調査対象としたので、層別一段集落抽出法となる。この場合の集落とは学校を指す。この操作により、全国の中学校から235校（想定116,984人）が選ばれた。

調査用紙には氏名等個人を特定できる項目はな

く、学年、性別、日常生活の規則正しさ、学校生活、家庭生活、友人関係、喫煙について、飲酒について、「シンナー遊び」について、大麻乱用について、覚せい剤乱用について、脱法ドラッグについて、薬物の入手し易さについての全52項目から構成されている。この調査項目のほとんどは、2000年調査時からほぼ同じである。

調査用紙は教師によって生徒に配られた。記載の終わった生徒は、同時に配られた個人用封筒に調査用紙を入れ、封をし、あらかじめ用意されたクラス毎の回収用封筒に個人用封筒を投函した。各学校はクラス用回収封筒をとりまとめて当研究所に郵送し、各封筒は当研究所にて初めて開封された。

235校（国立2校、公立216校、私立17校）中、調査を実施していただけた中学校は124校（国立1校、公立116校、私立7校：対象校の52.8%）であった。そのうちの5校については、学年を限定した実施であった。その内訳は、1年生および2年生のみ実施1校、3年生のみ実施4校であった。

以上の結果、54,733人（想定生徒数の46.8%。ただし、全国学校要覧による生徒数と実際の生徒数は一致しないため、正確な%は不明である）の調査用紙が回収された。また、うち247通は、明らかな記載上の不備、または記載項目が全52問の50%を満たしていなかったため無効とした。したがって、有効回答は54,486人（想定生徒数の46.6%）である。

また、中学生における有機溶剤乱用の生涯経験率は、昼夜人口比の低い地域で高く、喫煙・飲酒の生涯経験率は持ち家率の高いところで高いことが指摘されており<sup>18)</sup>、それなりの地域格差の存在が推定される。そこで、今回の調査が全国の中学生を対象にしながらも、全国を代表していない可能性もあるため、都道府県毎の回答状況を表1に示した。表1の実施状況が今回の調査結果にどのような影響を及ぼしているかは不明であるが、本調査の限界として、表1を見ておく必要がある。

有効回答の内訳は表2の通りである。男子27,553人、女子26,893人、性別不明者40人の計54,486人である。

その結果、以下の各表では、「全体」は男性＋女性＋性別不明者を意味している。結果の検定に当たっては、項目毎に回答の「無回答」を除外し、それぞれの項目毎に当該薬物の経験者群（以下、

経験者群)と非経験者群(以下、非経験者群)とについて $\chi^2$ 検定をおこなった。

なお、本調査研究は国立精神・神経医療研究センターの倫理委員会での承認(承認番号:A2011-111)を得て実施した。

## C. 研究結果

### 1. 「シンナー遊び」について

#### 1. 有機溶剤乱用の広がりについて

##### (1) 「シンナー遊び」の生涯経験率について

性別・学年別の「シンナー遊び」の生涯経験率(これまでに1回でも「シンナー遊び」をしたことがある者の率)は表3の通りである。

生涯経験率は男子で0.6%(1年生0.6%、2年生0.6%、3年生0.8%)、女子で0.4%(1年生0.3%、2年生0.4%、3年生0.5%)であり、全体では0.5%(1年生0.4%、2年生0.5%、3年生0.6%)であった。

男子、女子それぞれでは、学年による有意差( $P < 0.05$ )は認められなかったが、全体では学年が上がるにつれて、生涯経験率が有意に上昇していた。

なお、生涯経験率の推移については、考察で論じる。

##### (2) 「シンナー遊び」の1年経験率について

この1年間での「シンナー遊び」の経験率(1年経験率)は表4の通りである。

男子で0.4%(1年生0.4%、2年生0.5%、3年生0.5%)、女子で0.3%(1年生0.2%、2年生0.3%、3年生0.3%)であり、全体では0.4%(1年生0.3%、2年生0.4%、3年生0.4%)であった。

男子、女子、全体で、学年による有意差( $P < 0.05$ )は認められなかった。

##### (3) 「シンナー遊び」の目撃について

「あなたは、『シンナー遊び』をしているところを実際に見たことがありますか?」との問いに対する回答の分布を表5に示した。

男子の2.0%、女子の1.6%の生徒が実際に見たことがあるという結果であった。男女ともに学年による有意差( $P < 0.05$ )は認められず、1996年調査<sup>9)</sup>以降認められてきた学年と共に目撃率が高くな

る傾向は、今回の調査で初めて認められなくなった。なお、この目撃率の推移については表71に示した。

#### (4) 身近での「シンナー遊び」経験者の存在について

「あなたの身近に、『シンナー遊び』をしている人がいますか?」との問いに対する回答の分布を表6に示した。

男子では1.1%、女子では1.2%、全体では1.2%の者が「いる」と答えており、その割合は女子と全体で学年が進むにつれて高くなる傾向が、統計学的有意差をもって認められた。男子では優位さは認められなかった。

なお、上記の年次推移については表72に示した。

#### (5) 「シンナー遊び」への誘惑について

「あなたは、『シンナー遊び』に誘われたことがありますか?」との問いに対する回答の分布を表7に示した。

男子の0.8%、女子の0.7%の者が誘われたことが「ある」と答えており、男子、女子、全体で、学年が進むにつれて、誘われたことのある者の率が高くなり、女子、全体では有意差が求められた。

なお、この誘われ経験率の推移については、表73に示した。

## 2. 有機溶剤乱用に対する捉え方

### (1) 「シンナー遊び」への関心について

「『シンナー遊び』について、あなたの気持ちはどれに最も近いですか?」との問いに対する未経験者群での回答の分布を表8に示した。

男女ともに、回答の分布には学年間で有意差( $P < 0.05$ )が認められるが、「関心がない」を選択した者は、男女ともに3年生で最も多く、「好奇心」は2年生で高い傾向が示唆された。この傾向は2002年調査<sup>20)</sup>、2004年調査<sup>22)</sup>、2006年調査<sup>24)</sup>、2008年調査<sup>26)</sup>、2010年調査<sup>29)</sup>でも認められている。

なお、表8は未経験者についてだけの分析であるが、有機溶剤未経験者の中には、本間で「(シンナー遊びの)経験がある」を選択した者がおり、本調査の「正確さ」を見るために、あえてその結果を公表した。

### (2) 「シンナー遊び」と法の遵守について

『シンナー遊び』は法律で禁じられていますが、その『シンナー遊び』をすることをどう思いますか?』との問いに対する回答の分布を「シンナー遊び」の経験の有無を軸にして表9に示した。

回答の分布には、男女共に有意差 ( $P < 0.01$ ) が認められ、未経験者群では男女共に約98%の者が「法律で禁止されているから、すべきではない」を選んだのに対して、経験者群では、男女共に「法律で禁止されてはいるが、少々ならかまわないと思う」「法律を守る必要は全然ないと思う」と答えた者が男子で約33%、女子で約30%おり、未経験者群、経験者群間で乖離していた。

### (3) 「シンナー遊び」と法規制の必要性について

「法律で『シンナー遊び』を禁止しているのをどう思いますか?』との問いに対する回答の分布を表10に示した。

回答の分布には、男女共に有意差 ( $P < 0.01$ ) が認められ、未経験者群では、男女ともに約93~94%の者が「当然だと思う」を選んだのに対して、経験者群では、「麻薬・覚せい剤とちがって、シンナーくらい禁止しなくてもいいのではないかと思う」「そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う」と答えた者が相当数いた(男子で約21%、女子で約30%)。

### (4) 「シンナー遊び」をしている者への見方

#### (その1)

『シンナー遊び』をしている人について、どう思いますか?』との問いに対する回答の分布を表11に示した。

回答の分布には、男女共に有意差 ( $P < 0.01$ ) が認められ、未経験者群では男女共に約98%の者が「自分には無関係の人だと思う」を選んだのに対して、経験者群では『シンナー遊び』をする気持ちが理解できる気がする』ないしは「親しみを感じる」を選んだ者が相当数いた(男子で約36%、女子で約36%)。

### (5) 「シンナー遊び」をしている者への見方

#### (その2)

『シンナー遊び』をしている人と親しくなる事について、どう考えますか?』との問いに対する回答の分布を表12に示した。

回答の分布には、男女共に有意差 ( $P < 0.01$ ) が

認められた。未経験者群では「親しくなりたくない」を選んだ者が、男女共に81~80%前後だったのに対して、経験者群では男女共に「すでに親しい」を選んだ者が16~22%にのぼった。

この結果は、表11とあわせて、「シンナー遊び」をしている者に対する見方が、未経験者群、経験者群間で乖離していることを示唆している。

## 3. 有機溶剤乱用による医学的害について

### (1) 「シンナー」吸引による急性中毒死について

『シンナー遊び』で死亡すること(急性中毒死)があるのを知っていますか?』との問いに対する回答の分布を表13に示した。

本調査の開始当初、この質問には、男女ともに、経験者群の方が「知っている」を選択した者の割合が高かったが<sup>9)12)19)</sup>、2002年調査<sup>20)</sup>で初めて、男子で「知っている」を選択した者が未経験者群の方が多いという結果になり、2004年調査<sup>20)</sup>で初めて、男女ともに、「知っている」を選択した者が未経験者群の方が多いという結果であった(しかし、有意差はない)。しかし、2006年調査では、有意差はないものの、男子では経験者群の方が「知っている」を選択した者の割合が高いという従来のパターンに後戻りしてしまった。その後、2008年調査<sup>26)</sup>からは、「知っている」と答えた者は男女ともに未経験者群で多いという結果に戻っている。

未経験者群と経験者群とでどちらがより知っているかという問題は、下記の知識を含めて、薬物乱用防止教育を考える時に常に念頭に置いておくべき問題である。

### (2) 「シンナー」吸引の繰り返しによる歯の腐食について

『シンナー遊び』を繰り返すと、歯がぼろぼろになりやすことを知っていますか?』との問いに対する回答の分布を表14に示した。

従来、この質問に対しては、男女ともに、経験者群の方が「知っている」を選択した者の割合が高かったが<sup>9)12)19)</sup>、2002年調査<sup>20)</sup>で初めて、男子では「知っている」を選択した者が未経験者群の方が多くなり、2004年調査で再び元に戻ってしまった(ただし有意差はない)知識である。2006年調査<sup>22)</sup>では、「知っている」を選んだ者が、再び未経験者群の方が多いというパターンに復帰した

が、その後もそれを維持できている。

### (3) 「シンナー」吸引の繰り返しによる多発神経炎について

『シンナー遊び』を繰り返すと、手足の筋肉や神経が衰え、物をつかめなかつたり、歩けなくなる（多発神経炎）があるのを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表15に示した。

「知っている」を選んだ生徒の割合は、男子では1996年調査<sup>9)</sup>、1998年調査<sup>12)</sup>、2000年調査<sup>19)</sup>では、経験者群の方が高かったが、2002年調査<sup>20)</sup>では非経験者群の方が割合が高かった。女子では、1996年調査、2000年調査では、非経験者群の方で「知っている」を選んだ者の割合が高く、1998年調査では、経験者群の方が高かったが、2002年調査<sup>20)</sup>では経験者群の方でわずかに高かった。

2004年調査<sup>22)</sup>で、初めて、男女ともに非経験者の方が「知っている」を選んだ生徒の割合の方が多という結果となり、それ以降はそれを維持できている。

### (4) 「シンナー」吸引の繰り返しによる有機溶剤精神病について

『シンナー遊び』を繰り返すと、何もないのに物が見えたり（幻視）、実際には何も聞こえないのに、声が聞こえたり（幻聴）、誰も何とも思っていないのに、人が自分の事を非難していると思いつんだり（妄想）する状態（精神病状態）になることがあるのを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表16に示した。

1996年調査<sup>9)</sup>では、男女ともに経験者群の方が「知っている」を選んだ者が多く、1998年調査<sup>12)</sup>ではその割合は非経験者群の方が高かったが、男子では有意差がなく、2000年調査<sup>19)</sup>では男女共に経験者群の方が割合が高いという結果であった。2002年調査<sup>20)</sup>では、男女ともに「知っている」を選んだ者は非経験者群で多く、男子では有意差も認められた。2006年調査では、男女ともに「知っている」を選んだ者は非経験者群で多く、同時に、男女ともにその結果には有意差があるという期待されるべき結果であった。それ以降はそれを維持できている。

### (5) 「シンナー」吸引の繰り返しによる無動機症

### 候群について

『シンナー遊び』を繰り返すと、何事にも関心が持てなくなり、結果的に学校を欠席しがちになり、どんな仕事についても長続きしなくなる（無動機症候群）を知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表17に示した。

2004年調査<sup>22)</sup>では、男女共に、有意差こそ認められなかったが、「知っている」を選んだ者は経験者群の方で多かったが、2006年調査では、有意差こそないものの、女子では「知っている」を選んだ者は非経験者群で多かった。2008年調査では、初めて、男女ともに「知っている」を選んだ者は非経験者群でわずかに多い結果となり、その後はそれを維持できてはいるが、統計学的有意差は認められなかった。

この無動機症候群は有機溶剤乱用による害の中でも、特に重篤なものと考えられるが、これまでに述べた害の中でも、この無動機症候群についての知識普及率が最も低く、ややもすれば身体への害知識の普及に傾きがちな薬物乱用防止教育の今後の最大の課題であろうと考えられることは、従来通りである。

### (6) 有機溶剤精神病後のフラッシュバック現象について

『シンナー遊び』の結果、幻視、幻聴、妄想が出るようになってしまうと、それを治療して治っても、その後「シンナー遊び」をやめていても、疲れ・ストレス・飲酒などで、幻視、幻聴、妄想が再出現すること（フラッシュバック現象）があるのを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表18に示した。

初期の本調査<sup>9)12)19)</sup>では、毎回、男女ともに経験者群の方が「知っている」と答えた者の割合が有意差をもって高かったが、2002年調査<sup>20)</sup>では、「知っている」と答えた者の割合は、相変わらず経験者群の方で高いことはそれまでと同じであったが、初めて男子で有意差が認められなくなった。2004年調査<sup>22)</sup>の結果も2002年調査<sup>20)</sup>と同じであった。2006年調査では、有意差こそないものの、女子では、「知っている」と答えた者は非経験者群の方が初めて多くなった。男子では両群でほとんど同じであった。2008年調査では、男子ではほとんど2群間で差がなく、女子では経験者群の方で「知っている」と答えた者が多いという結果に戻

ってしまった。2010年調査で、初めて、「知っている」と答えた者は男女ともに経験者群で多くなった。今回もこの傾向は維持できたが、男子、女子で統計学的有意差は認められなかった。

薬物乱用という「特殊な」あるいは「逸脱」行動に関しては、経験者群の方が「知っている」ことがあるという皮肉な現実があることを念頭に置いて、教育、啓発にあたる必要がある。

#### 4. 有機溶剤乱用と日常生活の規則性について

##### (1) 起床時間について

「起床時間は、ほぼ一定していますか？」との問いに対する回答の分布を表19に示した。

男女ともに、非経験者群では80%台の者が一定しているを選んだのに対して、経験者群では、男子では72%、女子では55%であった。男女共に、経験者群の起床時間は非経験者群のそれに比べて、有意 ( $p < 0.01$ ) に乱れていた。

##### (2) 就床時間について

「就床時間は、ほぼ一定していますか？」との問いに対する回答の分布を表20に示した。

一定しているを選んだ者は、非経験者群では男子では60%、女子は59%であったのに対して、経験者群では、男子で45%、女子で約32%と低かった。

男女共に、経験者群の就床時間は非経験者群のそれに比べて、有意 ( $p < 0.01$ ) に乱れていた。

##### (3) 朝食について

「毎朝、朝食を食べていますか？」との問いに対する回答の分布を表21に示した。

非経験者群では男女ともに90%前後の者が「ほとんど毎日（食べている）」を選んだのに対して、経験者群では、「ほとんど毎日（食べている）」を選んだ者は男子で77%、女子で57%と低かった。

男女共に、経験者群では、非経験者群に比べて、朝食頻度が有意 ( $p < 0.01$ ) に低いと解釈できる。

#### 5. 有機溶剤乱用と学校生活について

##### (1) 学校生活について

「あなたにとって、学校生活は次のどれですか？」との問いに対する回答を表22に示した。

男女共に、経験者群と非経験者群とでは、回答の分布に有意差 ( $p < 0.01$ ) が認められ、「全く楽しくない」を選んだ者は、非経験者群では、約2%

前後であったが、経験者群では男子で11%、女子では21%であった。

経験者群で「楽しくない」傾向の者が有意に多いと解釈できる。

##### (2) クラブ活動について

「クラブ活動（部活）に参加していますか？」との問いに対する回答の分布を表23に示した。

男女共に、経験者群と非経験者群との間には、回答の分布に有意差 ( $p < 0.01$ ) が認められ、非経験者群で「参加していない」を選んだ者は、男女ともに約17%であったのに対して、経験者群では、男子で31%、女子で約42%の者が「参加していない」を選んだ。

経験者群の方で、クラブ活動（部活）に参加していない者の割合が有意に高いと解釈できる。

#### 6. 有機溶剤乱用と家庭生活について

##### (1) 家族との夕食頻度

夕食には、「一家団欒」としての意味合いが強いと考え、一週間における家族での夕食頻度を調査した。

「夕食を週何回くらい家族全員で食べますか？」との問いに対する回答の分布を表24に示した。

男子、女子、全体で、回答の分布には有意差 ( $p < 0.01$ ) が認められ、家族全員での夕食頻度は常に「シンナー遊び」経験者群で低い傾向が示唆された。特に、「ほとんど食べない」の答えた者の割合は、非経験者群では男女ともに11%であったのに対して、経験者群では男子で19%、女子で34%であった。

##### (2) 一日での大人不在の時間について

「学校、塾、習い事、運動での時間以外、大人が不在の状態、毎日平均どの程度の時間を過ごしますか？」との問いに対する回答の分布を表25に示した。

経験者群、非経験者群間で男女ともに有意差 ( $p < 0.01$ ) が認められた。非経験者群で「3時間以上」を選んだ者は、男女ともに11%台であったのに対して、経験者群では男子で22%、女子で29%であった。

経験者群で、大人不在で過ごす時間が有意に長い傾向があることが示唆された。



### (3) 親との相談について

「悩みごとがある時、親と相談する方だと思いますか？」との問いに対する回答の分布を表26に示した。

男女ともに、回答の分布には有意差 ( $p < 0.01$ ) が認められ、非経験者群で「ほとんど相談しない方である」を選んだ者は、男子で34%、女子で29%であったのに対して、経験者群では男子で41%、女子では33%と高かった。

経験者群の方で、親との相談が少ない傾向にあることが示唆された。

しかし、それ以前に、「シンナー遊び」の経験の有無に関わらず、男女ともに、そもそも、「よく相談する方である」を選んだ者の少なさが目立ったのは従来通りである。

## 7. 有機溶剤乱用と友人関係について

### (1) 遊び友達について

「親しく遊べる友人がいますか？」との問いに対する回答の分布を表27に示した。

男女ともに、経験者群と非経験者群との間には有意差 ( $p < 0.05$ ) が認められた。男女ともに、経験者群の方で、「親しく遊べる友人がいない」を選んだ生徒が多いのは、これまでの同種の調査結果と同じであった。このことは生徒指導上留意すべき点であろう。

### (2) 相談事のできる友人について

「相談事のできる友人がいますか？」との問いに対する回答の分布を表28に示した。

男女ともに、経験者群・非経験者群間で有意差 ( $p < 0.01$ ) が認められ、「(相談できる友人は) いない」を選んだ者は、非経験者群の男子で14%、女子で8%であったのに対して、経験者群では男子で20%、女子で29%と、違いが認められた。

経験者群の方で、相談事のできる友人が「いない」傾向がより強いことが示唆された。

## 2. 喫煙について

### 1. 喫煙の広がりについて

#### (1) 喫煙の生涯経験率について

喫煙の生涯経験率（これまでに1回でも喫煙したことのある者の率）についての回答を表29に示した。

した。

生涯経験率と学年の間には、男女ともに有意差が認められ ( $P < 0.01$ )、学年が進むにしたがって、生涯経験率が増加する傾向が認められた。

男子では6.5%（1年生3.6%、2年生6.1%、3年生9.8%）であり、女子では3.5%（1年生2.0%、2年生3.3%、3年生5.2%）であった。全体で5.0%（1年生2.8%、2年生4.7%、3年生7.5%）であった。2008年調査では、男子で9.7%、女子で6.9%、全体で8.3%であり、2010年調査では、男子で8.3%、女子で5.5%、全体で6.9%であり、減少傾向は確実である。

#### (2) 喫煙の1年経験率について

1年喫煙率（この1年間に1回でも喫煙したことのある者の率）についての回答を表30に示した。

生涯経験率と同様に、1年経験率（1年喫煙率）と学年との間には、男女ともに有意差が認められ ( $P < 0.01$ )、学年が進むにしたがって、経験率が増加する傾向が認められた。

男子では3.0%（1年生1.4%、2年生2.9%、3年生4.9%）であり、女子では1.5%（1年生0.6%、2年生1.5%、3年生2.5%）であった。2008年調査では、男子で4.1%、女子で3.0%、全体で3.6%であり、2010年調査では、男子で3.8%、女子で2.7%、全体で3.3%であったことから、ここでも減少傾向が伺われる。

## 2. 喫煙に対する捉え方

### (1) 喫煙と法の遵守について

「未成年者の喫煙は法律で禁じられていますが、あなたは未成年者の喫煙をどう思いますか？」との問いに対する回答の分布を表31に示した。

回答の分布には、男女共に有意差 ( $p < 0.01$ ) が認められ、未経験者群では、男女共に90%以上の者が「法律で禁じられているから、吸うべきでない」を選んだのに対して、経験者群では、それを選んだ者は男女共に60%弱であり、逆に「法律で禁じられてはいるが、全然かまわない」を選んだ者が男女ともに14~12%いた（未経験群では、それぞれ2%、1%）。

### (2) 喫煙と法規制の必要性について

「未成年者の喫煙禁止をどう思いますか？」に対する回答の分布を表32に示した。

回答の分布には、男女共に有意差が認められ ( $p$

<0.01)、未経験者群では男女共に81～84%の者が「当然だと思う」を選んだのに対して、経験者群では、それを選んだ者は、男子で39%、女子で35%であり、19%前後の者が「そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う」を選んでいて。

これを「シンナー遊び」に関する法規制の必要性(表10)と比べた場合、「当然だと思う」を選んだ者は、「シンナー遊び」未経験者群では、男女共に93～95%であったわけで、喫煙に関しては約10%の低下と言うことになる。

### 3. 喫煙による医学的害について

「健康面から、喫煙をどう思いますか？」との問いに対する回答の分布を表33に示した。

回答の分布には、男女共に有意差 ( $p<0.01$ ) が認められ、「害ばかりで良い面はない」を選んだ者は、未経験者群では男性で85%、女性で90%であるのに対して、経験者群では、それを選んだ者は、男女共に64%であった。

「害よりも良い面の方が多い」を選択した者は、生涯喫煙経験に関わらず、極めて少数であり、喫煙の健康に及ぼす害についての知識は浸透していると推定される結果であった。

### 4. 生涯喫煙経験と日常生活の規則性について

#### (1) 起床時間について

「起床時間は、ほぼ一定していますか？」との問いに対する回答の関係を表34に示した。

未経験者群では85～86%の者が「一定している」を選んだのに対して、経験者群では、それを選んだ者は70～66%であった。男女共に、経験者群の起床時間は未経験者群のそれに比べて、有意 ( $p<0.01$ ) に乱れていた。

「シンナー遊び」経験者群では、男子で28%、女子で44%、全体で34%の者が「一定していない」を選んでいて(表19)が、生涯喫煙者群では、男子で30%、女子で34%で、全体では32%であり、「シンナー遊び」経験者群では、生涯喫煙者群よりも起床時間が一定していない」という従来の結果が、男子で初めて崩れる結果であった。

#### (2) 就床時間について

「就床時間は、ほぼ一定していますか？」との問いに対する回答の関係を表35に示した。

男女ともに、未経験者群では約60%の者が「一定している」と答えたのに対して、経験者群では、55～66%の者が「一定していない」と答えた。

男女共に、経験者群の就床時間は未経験者群のそれに比べて、有意 ( $p<0.01$ ) に乱れていた。

「シンナー遊び」経験者群では、54～67% (表20) の者が「一定していない」を選んでいて、生涯喫煙者群では55～66%であり、「シンナー遊び」経験者群とほとんど差がなかった。このことは、2010年調査の結果と同様であった。

### (3) 朝食について

「毎朝、朝食を食べていますか？」との問いに対する回答の分布を表36に示した。

未経験者群では男女ともに91%の者が「ほとんど毎日食べている」を選んだのに対して、経験者群では、「ほとんど毎日食べている」を選んだ者は71～64%であった。

男女共に、経験者群では、未経験者群に比べて、朝食頻度が有意 ( $p<0.01$ ) に低かった。

しかし、「シンナー遊び」経験者群では、「ほとんど毎日食べている」を選んだ者は77～57% (表21) であり、喫煙経験の有無と起床時間の一定性との関係同様、喫煙経験の有無と朝食摂取率との関係も、「シンナー遊び」経験者群では、生涯喫煙者群よりも朝食摂取率が低い」という従来の結果が、男子で初めて崩れる結果であった。

### 5. 喫煙経験と学校生活について

#### (1) 学校生活について

「あなたにとって、学校生活は次のどれですか？」との問いに関する関係を表37に示した。

男女共に、経験者群と未経験者群とでは、回答の分布に有意差 ( $p<0.01$ ) が認められ、「まったく楽しくない」を選んだ者は、未経験者群では2%前後であり、経験者群では7～10%であり、経験者群に「楽しくない」傾向の者が有意に多かった。

「シンナー遊び」経験者群では、それぞれ2%台、11～21% (表22) であり、学校生活については、従来通り、喫煙経験者群よりは「シンナー遊び」経験者群の方が「まったく楽しくない」を選んだものが多い結果であった。ただし、その差はそれほど大きくはなかった。

#### (2) クラブ活動について

「放課後のクラブ活動（部活）に参加していますか？」との問いに対する回答の関係を表38に示した。

男女共に、経験者群と非経験者群との間には、回答の分布に有意差（ $p < 0.01$ ）が認められ、非経験者群で「参加していない」を選んだ者は16%前後であったのに対して、経験者群では、男子で28%、女子で37%の者が「参加していない」を選んでいた。経験者群で、放課後のクラブ活動（部活）に参加していない者の割合が有意に多い傾向にあると解釈される。

「シンナー遊び」経験者群のそれぞれは、17%前後、31～42%（表23）であり、「シンナー遊び」経験者群と喫煙経験者群との比較では、前述の学校生活に関する結果と同じ傾向であった。

## 6. 生涯喫煙経験と家庭生活について

### (1) 家族との夕食頻度

「夕食を週何回くらい家族全員で食べますか？」との問いに関する関係を表39に示した。

回答の分布には有意差（ $p < 0.01$ ）が認められ、生涯喫煙経験者で家族全員との夕食頻度が低かった。その程度は、有機溶剤乱用経験の有無による場合に比べて、全般的に、喫煙経験者の方が、有機溶剤経験者よりは家族との夕食の頻度は若干高そうであった（表24）。

### (2) 一日での大人不在の時間について

「学校、塾、習い事、運動での時間以外、大人が不在の状態、毎日平均どの程度の時間を過ごしますか？」との問いに対する回答の分布を表40に示した。

経験者群、非経験者群間で男女ともに統計学的有意差（ $p < 0.01$ ）が認められ、非経験者群で「3時間以上」を選んだ者は、11%前後であるのに対して、経験者群では23～29%であった。経験者群で大人不在の時間が有意に長い傾向が示唆された。

この傾向は、有機溶剤乱用の経験の有無の場合と同様であるが、「シンナー遊び」経験者群で「3時間以上」を選んだ者の割合は、男子で22%、女子で29%（表25）であり、有機溶剤経験者群と喫煙経験者群とでは、大きな違いはないようであった。

### (3) 親との相談について

「悩みごとがある時、親と相談する方だと思いますか？」との問いに対する回答の分布を表41に示した。

男女ともに、回答の分布に有意差（ $p < 0.01$ ）が認められ、非経験者群で「ほとんど相談しない方である」を選んだ者は、男子で33%、女子で23%であるのに対して、経験者群ではそれぞれ47%、37%であった。喫煙経験者群での結果は、有機溶剤乱用経験者（表26：男子で41%、女子で33%）の結果よりは、わずかに高いという結果であった。

同時に、喫煙経験の有無に関わらず、男女ともに「よく相談する方である」と答えた者が少ないのも、有機溶剤乱用経験の有無による場合と同じであった。

## 7. 喫煙と友人関係について

### (1) 遊び友達について

「親しく遊べる友人がいますか？」との問いに対する回答の分布を表42に示した。

男女ともに、「いない」と答えた者は経験者群で多い傾向が伺えたが、男子では有意差（ $p < 0.05$ ）は認められなかった。

### (2) 相談事のできる友人について

「相談事のできる友人がいますか？」との問いに対する回答の分布を表43に示した。

「いない」と答えた者は、男子では非喫煙経験者群でわずかに多かったが、有意差は認められなかった。女子では喫煙経験者群で優位に多かった。

## 3. 飲酒について

わが国では、中学生といえども、飲酒の生涯経験率（これまでに1回でも飲酒したことのある率）は、1990年の千葉県調査で、男子では約75%、女子では68%と高く<sup>67)</sup>、飲酒機会から見たその内容は、「冠婚葬祭時」及び「家で家族と共に」の飲酒が多い<sup>67)</sup>こともあり、飲酒の生涯経験から中学生の飲酒を論じて、ほとんど意味がないため<sup>67)</sup>、本報告書では、飲酒機会ごとの生涯経験率を表44、「シンナー遊び」の経験と飲酒の経験・機会を表45に示すのみとした。

ただし、飲酒の生涯経験率は、20年後の2010年

では、男子で41.2%、女子では38.8%、全体では40%にまで低下し、今回の2012年調査では表44に示したとおり、男子で36.4%、女子で32.5%、全体で34.4%と低下している。

ただし、飲酒の生涯経験者の割合は、機会に関わらず、男女ともに、学年が進むにつれて、増加していることは従来通りである。また、機会別では、男女共に「冠婚葬祭時」「家族と食事などで」での飲酒経験率が高かったことは従来通りである。

#### 4. 「シンナー遊び」と他の依存性薬物使用との関係

##### 1. 「シンナー遊び」と飲酒との関係

「シンナー遊び」の経験の有無と生涯飲酒経験率及びその機会との関係を表45に示した。

男女共に、飲酒経験のない者は「シンナー遊び」未経験者群で有意 ( $p < 0.01$ ) に多かった。

また、全ての飲酒機会において有機溶剤乱用経験者群で飲酒経験率が有意に高かった(表45)。特に「クラス会、打ち上げなど」「カラオケ、居酒屋など」「自分の部屋など」「一人で」での両群の違いは著しく、大人の同席しない場での飲酒問題を改めた確認することとなった<sup>6)16)</sup>。これらの結果は、「シンナー遊び」における「仲間」の存在とその影響力の大きさの一側面を物語っていると解釈される。

##### 2. 「シンナー遊び」と喫煙との関係

「シンナー遊び」経験の有無と喫煙経験との関係を表46に示した。

「シンナー遊び」経験の有無と喫煙経験の有無の間には、男女共に有意差が認められた ( $P < 0.01$ )。つまり、喫煙経験は、「シンナー遊び」経験者群に有意に多い。「シンナー遊び」未経験者群での喫煙経験者は、男子で6%、女子で3%であるのに対して、「シンナー遊び」経験者群では、男子で41%、女子で39%であり、両群間には著しい違いがあった。

一方、喫煙経験の有無から「シンナー遊び」の経験の有無を見たのが、表47である。喫煙経験のない者の中で有機溶剤乱用経験がある者は、男子で0.4%、女子で0.2%に過ぎないが、喫煙経験のあ

る者では男女ともに約4%であり、両群には有意差が認められた。

これらは、中学生にとっての喫煙が「シンナー遊び」と強い繋がりを持っていることを強く示唆するものである<sup>2)</sup>。

### 3. 「シンナー遊び」と大麻乱用との関係

#### (1) 大麻乱用の生涯経験率について

各学年・性別毎の大麻乱用の生涯経験率(これまでに1回でも乱用したことのある率)を表48に示した。

学年と大麻乱用の経験率との間には、女子および全体では有意差が認めれたが、男子では認められなかった。

生涯経験率は男子では0.3%(1年生0.3%、2年生0.2%、3年生0.4%)であり、女子では0.2%(1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%)であった。全体では0.2%(1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.4%)であった。ただし、男女にかかわらず、経験者群の人数より無回答群の方が人数が多かったことには留意しておく必要がある。この生涯経験率の年次推移は表74に示した。

#### (2) 「シンナー遊び」と大麻乱用との関係

「シンナー遊び」の経験と大麻乱用の経験との関係を表49に示した。

結果には男女ともに有意差 ( $p < 0.01$ ) が認められ、「シンナー遊び」未経験者では、男子で0.2%、女子で0.1%の者が大麻乱用の経験があると答えたのに対して、経験者群では、男子で18.6%、女子で23.3%の者が大麻乱用の経験があると答えた。

この両群による違いは、1996年調査~2010年調査の結果と同じ傾向であり、「シンナー遊び」と大麻乱用との関係を強く示唆している。

#### (3) 大麻吸引に対する意識について

「大麻を吸うことをどう思いますか?」との問いに対する回答の分布を表50に示した。

回答の分布には、男女共に有意差 ( $p < 0.01$ ) が認められた。「シンナー遊び」未経験者群では、男女共に97~98%の者が「吸うべきではないと思う」を選んだのに対して、「シンナー遊び」経験者群でそれを選んだ者は、男子で77%、女子で73%であり、14%前後の者が「まったくかまわない」と答えた。

また、「麻薬・覚せい剤と違って少々なら構わない」と答えた者も、「シンナー遊び」経験者で、男子で8%、女子で10%おり、麻薬・覚せい剤に比べて、大麻の害を軽視する傾向が伺われた。

#### (4) 大麻乱用による医学的害について

「大麻を吸うと、精神病状態や無動機症候群になることがあるのを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表51に示した。

2002年調査<sup>20)</sup>では、「知っている」を選んだ者は男女ともに有機溶剤乱用経験者群の方がわずかに多かった（有意差はない）が、2004年調査では、非経験者群の方が多く結果が変わった（ただし有意差なし）。2006年調査では、男子に関しては再度「知っている」を選んだ者は有機溶剤乱用経験者群の方がわずかに多い（有意差はない）結果に戻ってしまった。しかし、2008年調査では男女ともに「知っている」を選んだ者は非経験者群の方が多いという結果に戻ったが、男子では優位差は認められなかった。2010年調査では、男女ともに「知っている」を選んだ者は非経験者群の方で多かったが、女子では優位差は認められなかった。今回の2012年調査では、男女ともに「知っている」を選んだ者は非経験者群の方で初めて有意差（ $p < 0.05$ ）を持って多いという結果であった。

ただし、有機溶剤乱用経験の有無に関わらず、「知っている」者の割合は決して高いとは言えず、今後の薬物乱用防止教育の課題であると解釈された。

### 4. 「シンナー遊び」と覚せい剤乱用との関係

#### (1) 覚せい剤乱用の生涯経験率について

覚せい剤乱用の生涯経験率（これまでに1回でも経験したことのある者の率）を表52に示した。

覚せい剤の生涯経験率は、男子では0.3%（1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.4%）で、女子では0.2%（1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%）であり、全体では0.2%（1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.3%）であった。

この生涯経験率の年次推移は表75に示した。

#### (2) 「シンナー遊び」と覚せい剤乱用経験との関係

「シンナー遊び」の経験と覚せい剤乱用経験との関係を表53に示した。

「シンナー遊び」未経験者では、覚せい剤乱用の経験があると選んだ者は、男子で0.1%、女子で0.1%、全体で0.1%であったのに対して、「シンナー遊び」経験者では、男子で18.1%、女子で19.4%の者が、覚せい剤の乱用経験ありを選んでいて。

これも、過去8回の本調査と同じ結果であり、大麻同様、中学生における「シンナー遊び」と覚せい剤乱用との関係を強く示唆するものであった。

#### (3) 大麻乱用と覚せい剤乱用との関係

大麻の生涯乱用経験と覚せい剤の生涯乱用経験との関係を表54に示した。

大麻乱用非経験群では、男子、女子、全体ともに、覚せい剤乱用経験のある者はいずれも0.1%であったのに対して、大麻乱用経験者群では、覚せい剤乱用の経験のある者は男子で62.2%、女子で67.4%、全体では64.3%であった。

大麻乱用と覚せい剤乱用との間には強い関係が認められた。

#### (4) 覚せい剤乱用による医学的害について

「覚せい剤を使うと、精神病状態になりやすく、またフラッシュバックがあるのを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表55に示した。

2002年調査<sup>20)</sup>では、「知っている」を選んだ者は男女ともに有機溶剤乱用非経験者群の方がわずかに多かった（有意差はない）が、2004年調査では、経験者群の方が多く結果であった。2006年調査でも、「知っている」を選んだ者は優位差こそないものの、男女ともに有機溶剤乱用非経験者群の方がわずかに多いという結果を維持できた。2008年調査でもそれは維持できたが、相変わらず優位差はなかった。2010年調査では、「知っている」を選んだ者は、男女ともに有機溶剤乱用非経験者群の方が多く、統計学的有意差も認められるようになった。しかし、今回の2012年調査では、「知っている」を選んだ者は、男女ともに有機溶剤乱用非経験者群の方が多かったが、女子では統計学的有意差が認められなかった。

覚せい剤乱用による医学的街知識は、有機溶剤乱用経験の有無に関わらず、「知っている」者の割合は80%台には達しておらず、大麻同様、今後の薬物乱用防止教育の課題であると解釈された。

## 5. 「シンナー遊び」と「脱法ドラッグ」乱用との関係

### (1) 身近での「脱法ドラッグ」経験者の存在について

「身近に「脱法ドラッグ」を使っている人がいますか？」という問いに対する回答を表56に示した。「いる」と答えた者の割合は、学年とともに有意に ( $p < 0.05$ ) 高くなっていった。その割合は、男子で1.3% (1年生1.0%、2年生1.3%、3年生1.6%)、女子で1.2% (1年生1.0%、2年生1.1%、3年生1.4%)、全体で1.2% (1年生1.0%、2年生1.2%、3年生1.5%) であった。

「シンナー遊び」を行っている者が身近にいると答えた者の割合は、男子で1.1%、女子で1.2%、全体で1.2%であったが (表6)、この「脱法ドラッグ」の結果は、「シンナー遊び」の結果とほとんど同じ (むしろ、男子では0.2ポイント高い) である。

### (2) 「脱法ドラッグ」乱用に誘われた経験

「脱法ドラッグ」乱用に誘われた経験の有無を表57に示した。

概ね、学年とともに被誘惑率は高くなる傾向が求められたが、女子では有意 ( $p < 0.05$ ) ではなかった。被誘惑率は、男子で0.8% (1年生0.6%、2年生0.7%、3年生1.0%)、女子で0.7% (1年生0.6%、2年生0.7%、3年生0.8%)、全体で0.7% (1年生0.6%、2年生0.7%、3年生0.9%) であった。

### (3) 「脱法ドラッグ」乱用の生涯経験率について

これまでに「脱法ドラッグ」を1回でも使ったことがあると答えた者の割合を表58に示した。学年とともに、経験者は有意 ( $p < 0.01$ ) に増えていった。生涯経験率は、男子で0.3% (1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.5%)、女子で0.2% (1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%)、全体で0.2% (1年生0.1%、2年生0.2%、3年生0.4%) であった。この経験率は、有機溶剤よりは低く、大麻、覚せい剤と同じであった。

### (4) 喫煙と「脱法ドラッグ」乱用との関係

喫煙経験と「脱法ドラッグ」乱用経験との関係を表59に示した。

喫煙非経験者群で「脱法ドラッグ」乱用を経験したと答えた者は、男子で0.1%、女子で0.1%、全体で0.1%であったのに対して、喫煙経験者群では、男子で2.2%、女子で3.0%、全体で2.6%と高かった。

### (5) 「シンナー遊び」と「脱法ドラッグ」乱用との関係

「シンナー遊び」経験と「脱法ドラッグ」乱用経験との関係を表60に示した。

「シンナー遊び」非経験者群で「脱法ドラッグ」乱用を経験したと答えた者は、男子で0.1%、女子で0.1%、全体で0.1%であったのに対して、「シンナー遊び」経験者群では、男子で18.1%、女子で2.3%、全体で20.5%と高かった。

この結果は、「脱法ドラッグ」乱用経験は、喫煙経験よりも「シンナー遊び」経験の方が強いことを示唆している。

### (6) 「脱法ドラッグ」乱用と大麻乱用の関係

「脱法ドラッグ」乱用経験と大麻乱用経験との関係を表61に示した。

「脱法ドラッグ」非経験者群で「大麻」乱用を経験したと答えた者は、男子で0.1%、女子で0.1%、全体で0.1%であったのに対して、「脱法ドラッグ」経験者群では、男子で59.7%、女子で63.6%、全体で60.0%と高かった。

この結果は、「脱法ドラッグ」乱用と大麻乱用との間には、強い関係があることを示唆している。

### (7) 大麻乱用と「脱法ドラッグ」乱用との関係

大麻乱用経験と「脱法ドラッグ」乱用経験との関係を表62に示した。

大麻乱用非経験者群で「脱法ドラッグ」乱用を経験したと答えた者は、男子で0.1%、女子で0.1%、全体で0.1%であったのに対して、大麻乱用経験者群では、男子で52.4%、女子で60.9%、全体で55.8%と高かった。

この結果は、大麻乱用と「脱法ドラッグ」乱用の間には強い関係があり、その関係性は、「シンナー遊び」と「脱法ドラッグ」の関係よりも強いことを示唆している。

### (8) 「脱法ドラッグ」乱用と覚せい剤乱用の関係

「脱法ドラッグ」乱用経験と覚せい剤乱用経験

の関係を表63に示した。

「脱法ドラッグ」非経験者群で覚せい剤乱用を経験したと答えた者は、男子で0.1%、女子で0.1%、全体で0.1%であったのに対して、「脱法ドラッグ」経験者群では、男子で59.7%、女子で70.5%、全体で63.3%と高かった。

この結果は、「脱法ドラッグ」乱用と覚せい剤乱用との間には、強い関係があることを示唆している。と、同時に、その関係性は「脱法ドラッグ」と大麻との関係性と同程度（か、むしろ高い）であることを示唆していた。

### (9) 覚せい剤乱用と「脱法ドラッグ」乱用との関係

覚せい剤乱用経験と「脱法ドラッグ」乱用経験との関係を表64に示した。

覚せい剤非経験者群で「脱法ドラッグ」乱用を経験したと答えた者は、男子で0.1%、女子で0.0%、全体で0.1%であったのに対して、覚せい剤乱用経験者群では、男子で60.6%、女子で68.9%、全体で64.4%と高かった。

この結果は、覚せい剤乱用と「脱法ドラッグ」乱用の間には強い関係があり、その関係性は、大麻乱用と「脱法ドラッグ」の関係よりも強いことを示唆している。

### (10) 「脱法ドラッグ」乱用による医学的害について

「脱法ドラッグ」とは、大麻や覚せい剤に似た作用があるにも関わらず、法律で禁止されていないことを利用して、法の網をかいくぐるかのように売られている薬物です。しかし、一回使っただけで、呼吸ができなくなったり、体が動かなくなったり、意識がなくなったりする可能性のある非常に危険な薬物であることを知っていますか？」に対する回答の分布を表65に示した。

「知っている」と答えた者の割合は、学年間で有意差があり、3年生で高いことが伺われたが、男子、全体では2年生では1年生より低かった。しかも、全体での周知率は61.9%と低かった。

この「脱法ドラッグ」の害についての周知は、今後の薬物乱用防止教育の最重要課題になる可能性がある。

## 6. 違法薬物の入手可能性について

### (1) 「脱法ドラッグ」の入手可能性について

「脱法ドラッグ」の入手可能性についての回答の分布を表66に示した。

「脱法ドラッグ」の入手可能性は、男子、女子、全体で、学年とともに有意差をもって高くなっていった。入手可能（「簡単に手に入る」「少々苦勞するが、なんとか手に入る」とした者は、男子で16.7%、女子で14.5%、全体で15.6%であった。

### (2) 大麻の入手可能性について

大麻の入手可能性についての回答の分布を表67に示した。

「簡単に手に入る」「少々苦勞するが、なんとか手に入る」を選んだの者の合計は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で13.1%、女子で11.7%、全体で12.4%であったが、経験者群では、男子で35.6%、女子で43.6%であり、全体では38.9%であった。「シンナー遊び」経験者群での大麻入手可能性の高さが強く示唆された。

また、1998年調査では、入手可能性は男性の方が高かったが、2000年調査以降は%上は女性の方が高くなっているのも特徴の一つであった（ただし、2008年調査では、わずかに男子の方が高い）。しかし、2012年調査では男子の方が高かった。

### (3) 覚せい剤の入手可能性について

覚せい剤の入手可能性についての回答の分布を表68に示した。

「簡単に手に入る」「少々苦勞するが、なんとか手に入る」を選んだの者の合計は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で12.7%、女子で11.9%で、全体では12.3%であったが、経験者群では、男子で30.5%、女子で44.6%であり、全体では36%であった。

この結果は、大麻の入手可能性の値と概ね同程度の値ではあるが、「シンナー遊び」経験者群男子では低い、女子では高い値であった。

また、1998年調査では、入手可能性は男女で拮抗していたが、2000年調査以降は%上は女性の方が高くなっているのも特徴の一つであったが、2012年調査では男子の方が高かった。

なお、3つの脱法及び違法薬物の入手可能性については、考察で論じたい。

## D. 考察

## 1. 本調査研究の位置づけ

わが国の中学生における「シンナー遊び」の広がりについての調査研究で、地域特性を考慮して行われた大規模なものとしては、当研究分担者の知る限り、1990年から原則2年に1回、当研究分担者らによって実施されてきた千葉県の公立中学校調査<sup>4)11)13)</sup>と、1996年から2年に1回、厚生労働科学研究費補助金により、当研究分担者らにより継続調査されてきた全国調査<sup>9)12)19)20)22)24)25)26)29)</sup>に限られている。

これらの調査研究により、有機溶剤乱用の生涯経験率が明らかになり、有機溶剤乱用経験者群では非経験者群に比べて、日常生活の規則性が有意に乱れており、家族性が希薄（精神的単親家庭<sup>4)</sup>と称した）で、友人関係にも難があることが明らかになっている<sup>4)11)13)</sup>。

また、地域的には、有機溶剤の乱用は昼夜人口比と強い相関があり、夜間に人口が多く、昼間に人口の少ない地域ほど経験率が高いこと<sup>18)</sup>、及び、有機溶剤の乱用経験と喫煙経験・喫煙頻度とは強い相関があり<sup>5)</sup>、わが国の中学生では喫煙が有機溶剤乱用へのGateway Drug<sup>2)</sup>となっている可能性が高いことも指摘してきた<sup>21)</sup>。

今回の調査研究は、上記一連の調査研究を継続的に発展させたものであり、わが国では薬物乱用に関する第9回目の全国中学生調査である。

ただし、調査実施校の割合（調査対象校全体における調査実施校数の割合）は、1998年調査～2002年調査では70%を上回っていた。その後は60%台に低下しながらも60%台を維持していたが、今回は52.8%であり、1996年に開始した本調査では最低を記録した。その理由は不明ではあるが、平成23年10月に起きた「いじめを受けた大津市の中学生の自殺」（警察庁）に端を発した「いじめ」問題に、教育現場では対応に追われた可能性はある。

## 2. 「シンナー遊び」の広がりについて

今回の調査研究では、「シンナー遊び」の生涯経験率（無回答を除いたもの）は、男子で0.6%（1年生0.6%、2年生0.6%、3年生0.8%）、女子で0.4%（1年生0.3%、2年生0.4%、3年生0.5%）であり、全体では0.5%（1年生0.4%、2年生0.5%、3年生0.6%）であった。

表69、図1は生涯経験率の年次推移を示している。男子では1998年以降、確実に下降傾向を示し

ている。女子では2004年までは漸増傾向を示していたが、その後は年ごとに減少した。2012年調査では、男子、女子、全体で過去最低となった。

一方、1年経験率は流行の勢いを探る意味では生涯経験率よりは優れているはずである。しかし、個人情報の秘密保持という意味でのバイアスは生涯経験率よりは高いと考えられる。そのためか、1996年調査から2002年調査では、男女ともに、全ての学年で「経験あり」の人数よりは「無回答」の人数の方が多いという結果であった。しかし、2004年調査以降は、「経験あり」が「無回答」を上回る結果へと変化した。ただし、バイアスの高さを想定して、従来通り、参考として、1年経験率の推移を載せた（表70、図2）。

図2及び表70に見るように、1年経験率の推移も生涯経験率の推移（図1）と基本的には同じ傾向である。

ところで、この種の調査で最も問題になるのは、結果の信頼性であろう。この信頼性は、自記式調査と同時に、何らかの客観的検査（たとえば尿からの馬尿酸の測定）を実施することによって、初めて明らかになることである。しかしながら、尿検査の実施は、個人の人権上の問題にも関わる難しい方法であり、実施は事実上不可能である。したがって、当研究者らは、類似した方法論にもとづく継続的な調査の結果によるトレンドを見ることが、本調査研究の主目的であると考えている。

同時に「シンナー遊び」の広がりの増減を判断するには、経験率だけではなく、いくつかの関連する指標の結果をも考慮して、総合的に判断する必要があると考えている。

そこで採用しているのが、「シンナー遊び」をこれまでに目撃したことのある者の率（生涯目撃率：表5、図3）、身近に「シンナー遊び」をしている人を知っている者の率（乱用者周知率：表6、図4）、「シンナー遊び」に誘われたことのある者の率（生涯被誘惑率：表7、図5）である。

それらを見ると、目撃率、乱用者周知率は確実に減少傾向にあり、有機溶剤乱用の「流行の勢い」が弱くなってきていることが明らかである。

また、女子で停滞気味であった生涯被誘惑率も、2006年調査以降は明らかに減少を示している。

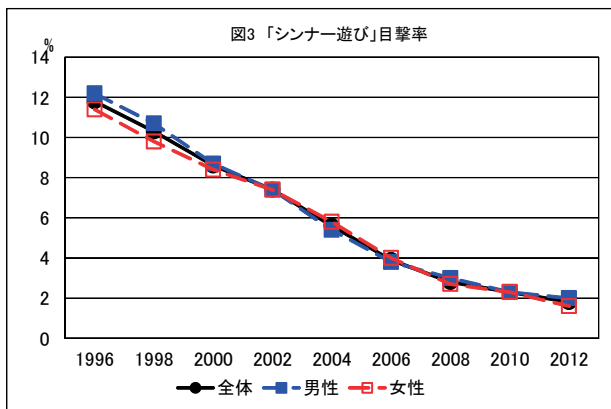
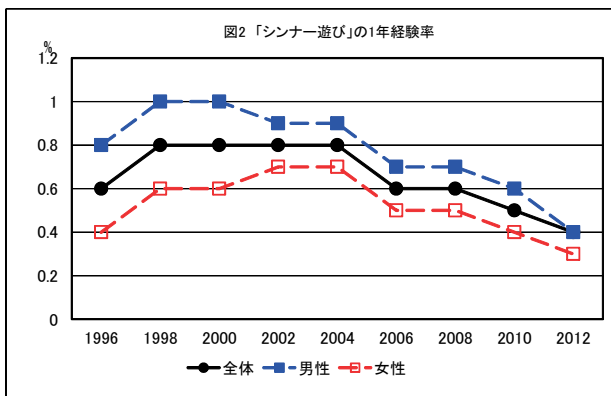
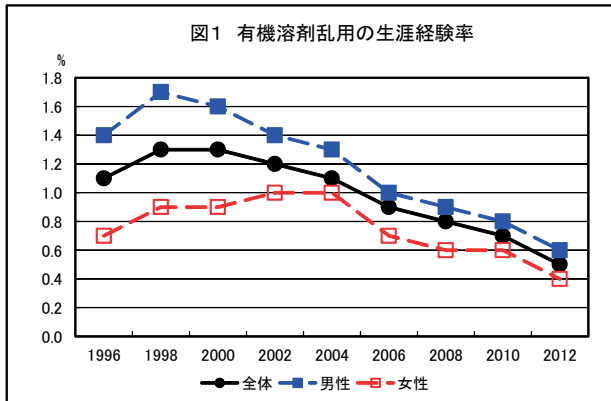
ちなみに本調査の記載上の「正確さ」を見るため、有機溶剤未経験者における「シンナー遊び」についての気持ちに関し、回答の矛盾を表8に示



した。それを見る限り、調査用紙への記載に関しては、本調査は極めて正確に実施されていると推定される。

以上を総合すると、「シンナー遊び」の「流行の勢い」は確実に弱くなって来ていると考えられる。

### 3. 「シンナー遊び」と日常生活・家庭生活・友人関係



「シンナー遊び」経験者群と非経験者群との比較では、「起床時間の規則性」(表19)、「就床時間の規則性」(表20)、「朝食の摂取率」(表21)から見た日常生活の規則性、及び「学校生活への思い」(表22)、「クラブ活動の参加状況」(表23)、「親しく遊べる友人の存在」(表27)、「相談事の出来る友人の存在」(表28)において、統計的有意差が認められており、「シンナー遊び」経験者群での日常生活の不規則さ、学校生活への不満、友人関係の希薄さが明らかである。

これらの背景には、そもそもの家庭生活のあり方が大きく影響していると考えられるが、表24に見る家族との夕食頻度の差は、今回の調査でも「シンナー遊び」経験者群と非経験者群とで有意差を示していた。

ところで、今回の調査では調査項目数の関係で調査項目から外したが、「父親との夕食頻度」は、「家族全員での夕食頻度」よりも毎回低率になっており、これは明らかに矛盾である。しかも、この矛盾は、これまでの調査<sup>4)9)11)12)13)20)22)24)26)29)</sup>でも毎回認められており、中学生の考えの中には、「家

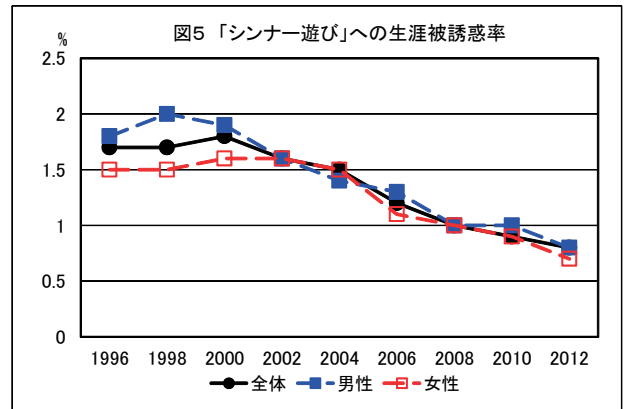
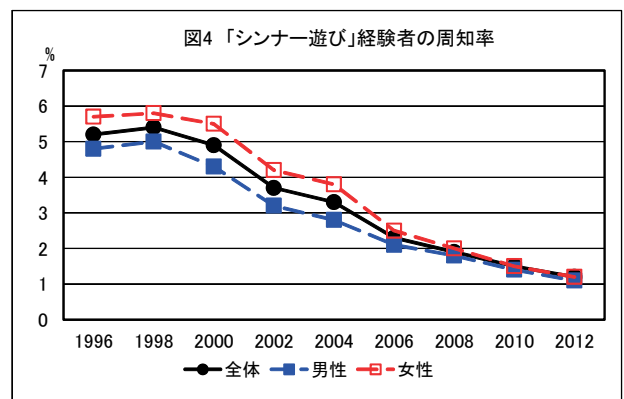


表69 「シンナー遊び」生涯経験率の推移 (%) (「無回答」を除いて計算したもの)

	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	1.4	1.2	1.3	1.7	0.7	0.7	0.6	0.9	1.1	0.9	1.0	1.3	108	53,440
1998	1.7	1.2	1.6	2.3	0.9	0.9	0.8	1.1	1.3	1.1	1.2	1.7	148	71,299
2000	1.6	1.4	1.6	1.9	0.9	0.8	0.8	1.1	1.3	1.1	1.2	1.5	140	61,675
2002	1.4	1.3	1.4	1.5	1.0	1.0	1.1	1.0	1.2	1.2	1.3	1.3	149	62,413
2004	1.3	1.2	1.1	1.6	1.0	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	1.3	147	65,110
2006	1.0	1.0	1.0	1.1	0.7	0.6	0.7	0.8	0.9	0.8	0.8	1.0	138	56,421
2008	0.9	0.7	0.9	1.1	0.6	0.5	0.5	0.9	0.8	0.6	0.7	1.0	133	52,163
2010	0.8	0.7	0.7	0.9	0.6	0.5	0.6	0.7	0.7	0.6	0.7	0.8	121	47,475
2012	0.6	0.6	0.6	0.8	0.4	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.6	124	54,174

表70 「シンナー遊び」1年経験率の推移 (%) (「無回答」を除いて計算したもの)

	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	0.8	0.6	0.8	1.0	0.4	0.4	0.4	0.6	0.6	0.5	0.6	0.8	108	52,229
1998	1.0	0.7	0.9	1.3	0.6	0.6	0.5	0.7	0.8	0.6	0.7	1.0	148	70,302
2000	1.0	0.8	0.9	1.1	0.6	0.5	0.5	0.7	0.8	0.6	0.7	0.9	140	60,280
2002	0.9	0.8	0.9	0.9	0.7	0.7	0.8	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8	149	60,800
2004	0.9	0.8	0.8	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.8	0.9	147	65,299
2006	0.7	0.6	0.7	0.8	0.5	0.4	0.5	0.7	0.6	0.5	0.6	0.8	138	56,421
2008	0.7	0.5	0.7	0.8	0.5	0.4	0.4	0.6	0.6	0.5	0.5	0.7	133	52,301
2010	0.6	0.5	0.6	0.6	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	121	47,475
2012	0.4	0.4	0.5	0.5	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	124	54,325

表71 「シンナー遊び」を実際に見たことがある者の率 (%) (「無回答」を除いて計算したもの)

	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	12.2	9.9	12.6	14.1	11.4	9.2	12.0	13.1	11.8	9.5	12.3	13.6	108	53,863
1998	10.7	8.8	10.0	13.3	9.8	8.3	9.5	11.5	10.3	8.5	9.7	12.4	148	71,599
2000	8.7	7.5	8.3	10.2	8.4	7.0	7.9	10.2	8.6	7.2	8.1	10.2	140	61,905
2002	7.4	6.3	7.6	8.3	7.4	6.8	7.3	7.9	7.4	6.6	7.5	8.1	149	62,611
2004	5.4	4.9	4.6	6.6	5.8	4.9	6.1	6.4	5.6	4.9	5.3	6.5	147	65,296
2006	3.8	3.2	3.7	4.6	4.0	3.7	4.0	4.2	3.9	3.4	3.8	4.4	138	56,421
2008	3.0	2.6	3.0	3.4	2.7	2.3	2.5	3.2	2.8	2.5	2.7	3.3	133	52,289
2010	2.3	2.0	2.2	2.6	2.3	2.1	2.3	2.4	2.3	2.1	2.3	2.5	121	47,475
2012	2.0	1.9	2.0	2.1	1.6	1.4	1.7	1.8	1.8	1.7	1.9	1.9	124	54,266

表72 身近に「シンナー遊び」をしている人がいると答えた者の割合 (乱用者周知率) (%) (「無回答」を除いて計算したもの)

	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	4.8	3.6	4.6	6.4	5.7	3.9	6.2	6.9	5.2	3.7	5.4	6.6	108	53,697
1998	5.0	3.4	4.9	6.6	5.8	4.1	5.8	7.4	5.4	3.7	5.4	7.0	148	71,379
2000	4.3	2.9	4.5	5.5	5.5	4.0	5.1	7.4	4.9	3.4	4.8	6.5	140	61,773
2002	3.2	2.4	3.5	3.7	4.2	3.3	4.4	4.7	3.7	2.8	3.9	4.2	149	62,517
2004	2.8	2.3	2.7	3.3	3.8	2.9	3.5	4.9	3.3	2.6	3.1	4.1	147	65,124
2006	2.1	1.4	2.2	2.7	2.5	2.0	2.7	3.0	2.3	1.7	2.4	2.8	138	56,421
2008	1.8	1.4	1.6	2.4	2.0	1.3	2.3	2.5	1.9	1.3	1.9	2.4	133	52,177
2010	1.4	1.1	1.3	1.8	1.5	1.2	1.8	1.5	1.5	1.2	1.5	1.6	121	47,475
2012	1.1	1	1.1	1.3	1.2	0.8	1.3	1.4	1.2	1	1.2	1.3	124	54,196

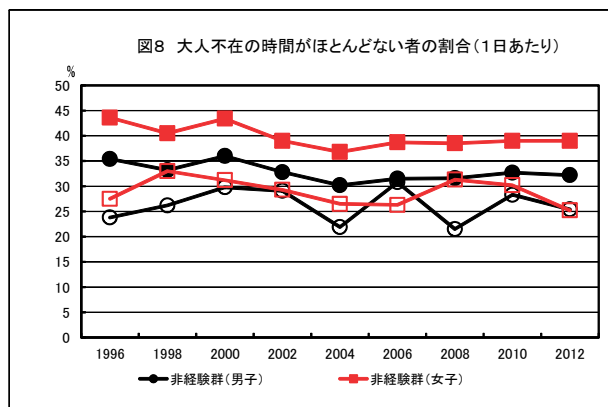
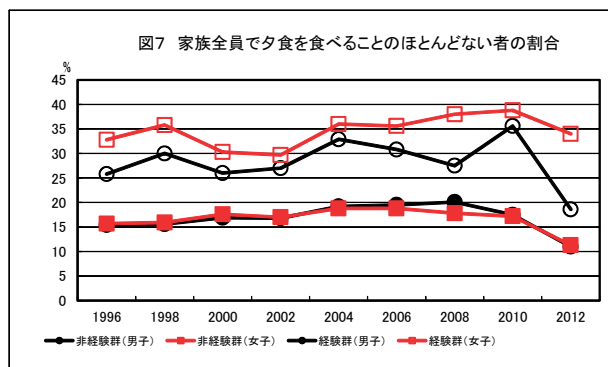
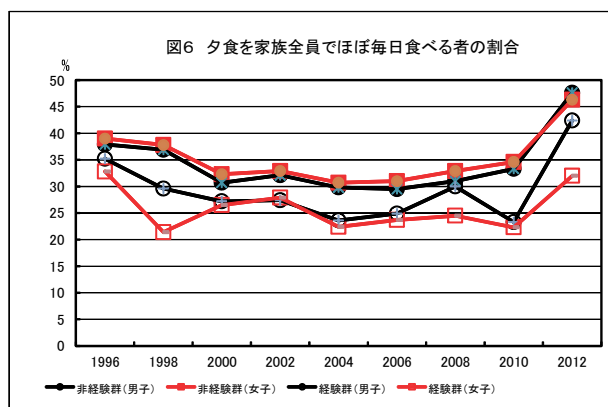
表73 「シンナー遊び」に誘われたことのある者の率の推移（有機溶剤乱用の生涯被誘惑率）（%）  
（「無回答」を除いて計算したもの）

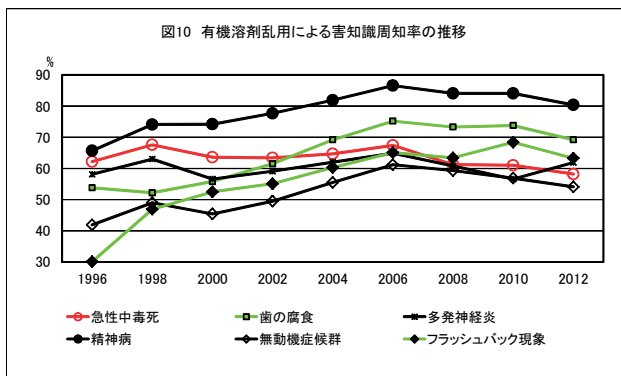
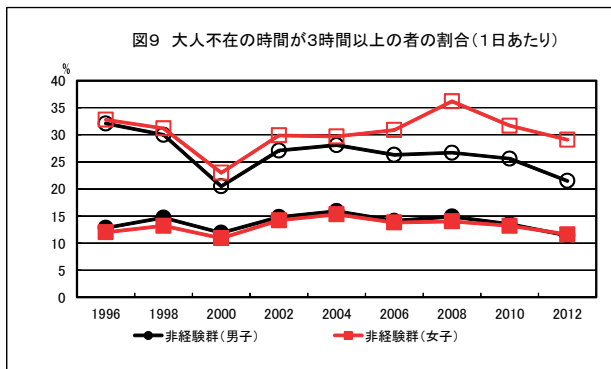
	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	1.8	1.2	1.7	2.5	1.5	1.2	1.6	1.9	1.7	1.2	1.6	2.2	108	53,169
1998	2.0	1.0	1.9	2.9	1.5	0.9	1.5	2.0	1.7	0.9	1.7	2.5	148	67,776
2000	1.9	1.3	1.8	2.6	1.6	1.2	1.4	2.2	1.8	1.2	1.6	2.4	140	59,640
2002	1.6	1.1	1.7	1.9	1.6	1.3	1.7	1.9	1.6	1.2	1.7	1.9	149	59,988
2004	1.4	1.3	1.2	1.7	1.5	1.2	1.5	1.9	1.5	1.2	1.3	1.8	147	62,544
2006	1.3	0.9	1.3	1.6	1.1	1.0	1.0	1.3	1.2	0.9	1.2	1.5	138	56,421
2008	1.0	0.7	1.0	1.3	1.0	0.8	0.9	1.3	1.0	0.8	1.0	1.3	133	50,252
2010	1.0	0.8	0.9	1.3	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	0.8	0.9	1.1	121	45,573
2012	0.8	0.7	0.8	1.0	0.7	0.5	0.7	0.8	0.8	0.6	0.8	0.9	124	52,424

族全員での夕食」と言った時、父親の存在は既に除外されている傾向がそれなりにあることを示唆していた。つまり、その背景には、父親はいつも帰りが遅いものだという中学生の考え方を伺うことができる。

図6及び図7は、一週間で夕食をほぼ毎日家族全員で食べると答えた者の割合の年次推移と、ほとんど食べないと答えた者の割合の年次推移を示している。我が国では、有機溶剤の乱用の有無に関わらず、2006年あたりから、家族全員での夕食頻度が少々増加気味にあったが、2010年調査では、有機溶剤乱用非経験者群では、その傾向が引き継がれているものの、経験者群では、逆に家族全員での夕食頻度が少なくなる傾向が伺われ、両群での逆の傾向が危惧される結果であった。その傾向は2010年調査でより顕著になったが、2012年調査では全ての群で家族全員での夕食頻度は急上昇し、経験者群女子を除けば、過去最高の値となった。この間のわが国の経済状況と関係しているかもしれない。

そもそも、当研究者らは、夕食には「一家団欒」という意味合いがあると考えて調査項目に入ってきた。しかし、この夕食頻度には地域差が大きく、都市部ほど低く、農村部・山間部ほど高い傾向がある。「一家団欒」には、家族としての精神的意味合いも含まれるが、特に都市部における生活様式の多様性を考慮すると、親子の共有時間についての、もう少し直接的な項目が必要であると考えていた。そこで「学校、塾、習い事、運動での時間以外、大人が不在の状態、毎日平均どの程度の時間を過ごしますか？」という項目も1996年より調べている（表25）。図8、9はその結果の年次推移を示している。「シンナー遊び」経験者群で





は非経験者群に比べて、一日3時間以上大人不在で過ごす者が有意に多いことがわかる。結局、夕食頻度の少なさも、親子の共有時間の少なさの一現れとして解釈できよう。しかし、2010年以降、全ての群において、大人不在で3時間以上過ごす者の割合は減少しており、これもこの間のわが国の経済状況と関係しているかもしれない。

また、中学生という年代は、基本的に親との相談頻度は低いようであるが(表26)、それでも「シンナー遊び」経験者群での相談頻度は有意に低く(表26)、ここでも「シンナー遊び」経験者群における親子の共有時間の少なさが示唆された。

以上により、今回も、「シンナー遊び」経験者群は、総体的に見れば、家庭にも、学校にもなじみず、友人関係も希薄な中学生たちが多く、「居場所のない子供たち」<sup>4)14)16)</sup>が多いという推定が成り立つと考えている。

表11、表12は「シンナー遊び」をしている者について、どのような認識を持っているのかを調べたものである。表11、表12では、経験者群と非経験者群での捉え方に、明らかな乖離が認められる。非経験者から見れば、経験者はほとんど「無関係」な人たち(98%)であり、経験者から見れば「気持ち理解できる気がする」人たちである割合が

非常に高いということである。本研究者らは、「シンナー遊び」経験者にとってわかる気がするという、その気持ちとは、受容感と帰属感を求める「居場所のない子供たち」<sup>4)14)16)</sup>の共通の思いであろうと推測している。

有機溶剤乱用者への治療的介入の際に、当研究者らは、親の参加なくして子の回復はないと考えており、親子の共有時間を増やすことの重要性を説いているが<sup>4)14)16)</sup>、今回の結果もその有力な根拠である。

しかも、経験論的には、本調査の結果を保護者に紹介することが、保護者の意識変革には重要なようである。

#### 4. 「シンナー遊び」による医学的害

薬物乱用防止には、薬物乱用による諸害をきちんと認識させることが重要である。

ところが、「知識」があれば乱用しないかというところ、そうとも言えない面がある。これまでの調査では、往々にして、害知識は有機溶剤乱用経験者群の方が高いという傾向が認められていた<sup>4)9)12)13)19)20)</sup>。2008年調査でも、有機溶剤乱用の繰り返しの結果としてのフラッシュバックの周知度は、有機溶剤経験女子群で最も高いという結果であったが、すべての害知識の周知率が非経験者群の方で高くなったのは、2010年調査が初めてである(有意差は別として)。2012年調査でもこの点は維持されていた。

経年的に見ると、2002年調査では、急性中毒死、歯の腐食、多発神経炎に関する男子、精神病に関する男女では、非経験者群の方で「知っている」を選んだ者が多くなり、それ以外の害知識でも、経験者群VS非経験者群で有意差が認められない項目が出てきた。さらに、2004年調査では、その傾向がさらに進み、急性中毒死、多発神経炎、精神病では、男女ともに非経験者群の方で「知っている」を選んだ者が多いと言った結果になった。これは、「害を知らない者が乱用しやすい」という仮説(薬物乱用防止教育はこの仮説を根拠としているわけであるが)があるとすれば、期待される結果であり、これまでの薬物乱用防止教育推進による成果である可能性が考えられる。

図10は害知識周知率の年次推移を示している。2006年までは、ほとんどの害知識の周知率が明かな増加傾向にあった。しかし、2008年調査ではす

すべての害について「知っている」と答えた者の割合は低下し、2012年調査でも、ほとんどの害について、その傾向が続いていることが確認された。このことは、害知識の周知率は2006年をピークに低下傾向にあるということであり、憂慮すべき結果である。もう一度、薬物乱用防止教育がなされているかを確認しながら、薬物乱用防止教育を推し進める必要がある。同時に、周知度の低い害（特に急性中毒死）については、意識的に教えて行く必要がある。

なお、この薬物乱用防止教育には、「知識が行動に結びつくとは限らない」という大きな課題が常に存在するわけで、これに関しては、知識教育を行った上で、次の段階として、薬物依存からの回復の苦しみをドキュメンタリー形式で紹介したビデオ（平成9年度文部省制作「なくした自由」）などの活用が期待されることは従来通りである。

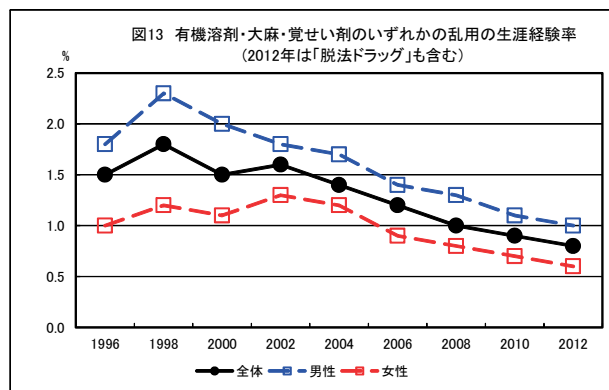
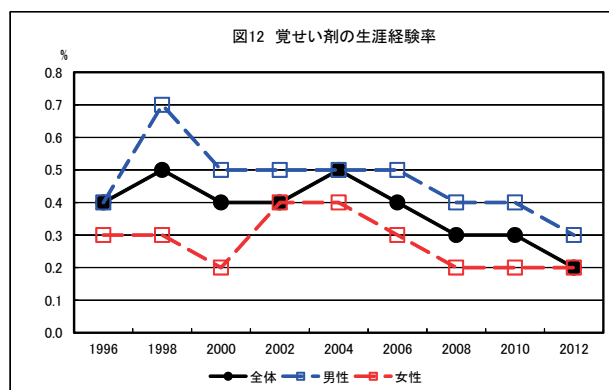
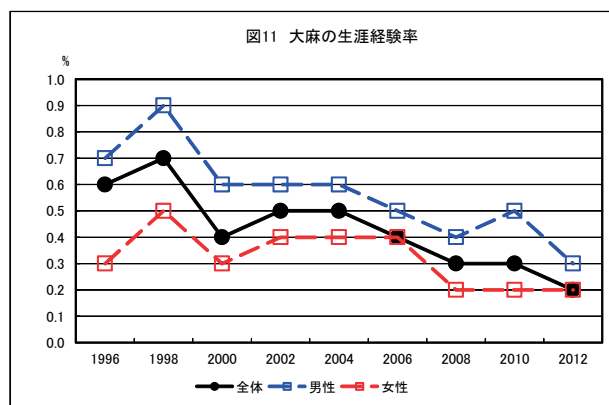
## 5. 大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」の乱用経験

そもそも、大麻、覚せい剤の生涯経験率は、調査結果上、これまで同様に「経験あり」よりは「無回答」の方が数字が大きく（表48、表52）、また、2012年調査で初めて調べた「脱法ドラッグ」の生涯経験率（表58）も同様のため、参考データとした方が妥当と思われるが、参考データは参考データなりに推移を見る必要がある。

図11に見るように、男女全体での大麻の生涯経験率は、1998年調査に比べると、それ以降は減少しているものの、2006年調査までは、ほとんど平衡状態であったが、2008年調査では減少を見せた。2010年調査では、横ばいなし、増加傾向が伺われたものの、2012年調査では再び減少した。

図12は覚せい剤の生涯経験率の推移を示しているが、ここでも1998年調査に比べると、全体及び男子では、それ以降は減少しているものの、2006年調査までは、ほとんど平衡状態であったものが、2008年調査では減少を見せた。2010年調査では、横ばいであったが、2012年調査では再び減少傾向を見せ、全体のトレンドは大麻と同様である。

第3次覚せい剤乱用期の特徴の一つは、若年層までへの乱用の拡大であるが、有機溶剤乱用の減少（図1）に比べて、大麻及び覚せい剤の乱用はなかなか減少しなかったが、2008年調査ではなんとか減少を見せた。2010年調査では、一旦、横ば



いないしは増加傾向を見せたが、2012年調査では再び減少傾向を見せており、トレンド全体としては、良好と評価できそうである。

ところで、薬物乱用状況を巡る今日的トピックスは、2011年下半年から急激に社会問題化した脱法ハーブを含む「脱法ドラッグ」問題であろう。2012年調査では、この「脱法ドラッグ」の乱用について、初めて調査した。

その結果、「脱法ドラッグ」の生涯経験率（表58）は、男子で0.3%（1年生0.2%、2年生0.2%、3年



生0.5%)、女子で0.2% (1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%)、全体で0.2% (1年生0.1%、2年生0.2%、3年生0.4%)であった。この経験率は、有機溶剤よりは低く、大麻、覚せい剤とほとんど同じであった。「脱法ドラッグ」は文字通り「脱法」であり、その使用者を検挙することはできず、検挙者数としてその実態を示すことができないため、本調査のような調査研究以外、その乱用実態を推測するデータを得ることはできない。この「脱法ドラッグ」は今後、大麻、覚せい剤以上に、乱用薬物の「主役」になる可能性があり、その動向に注意する必要がある。

以上のように大麻、覚せい剤、「脱法ドラッグ」についての生涯経験率は参考データであるため、利用法に限界はあるものの、今日の薬物乱用状況を考えるためには貴重なデータであると考えている。

なお、参考までに有機溶剤・大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」のいずれかの薬物の生涯経験率と大麻・覚せい剤のいずれか薬物の生涯経験率を

表76 (図13)、表77 (図14) に示した。有機溶剤・大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」のいずれかの薬物の生涯経験率は順調に減少しているが、それは有機溶剤乱用の生涯経験率の低下のせいであろうが、大麻・覚せい剤のいずれかの薬物の生涯経験率は2008年、2010年で横ばいであったが、2012年では減少した。

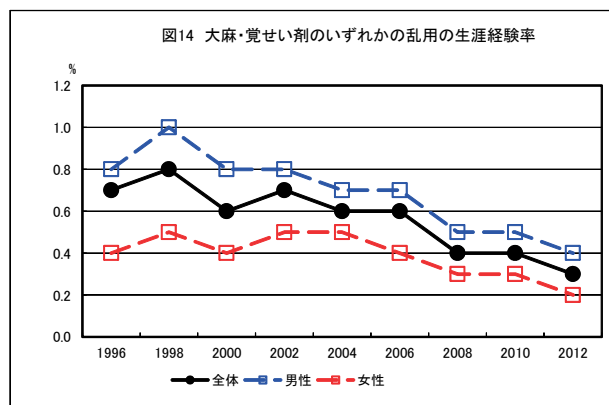


表74 大麻乱用の生涯経験率の推移 (%) (「無回答」を除いて計算したもの)

	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	0.7	0.4	0.8	0.9	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6	0.4	0.5	0.6	108	53,271
1998	0.9	0.8	0.8	1.0	0.5	0.5	0.4	0.5	0.7	0.6	0.6	0.8	148	70,846
2000	0.6	0.4	0.6	0.7	0.3	0.2	0.4	0.3	0.4	0.3	0.5	0.5	140	61,477
2002	0.6	0.4	0.8	0.7	0.4	0.3	0.6	0.4	0.5	0.4	0.7	0.5	149	62,255
2004	0.6	0.4	0.7	0.7	0.4	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.6	147	64,875
2006	0.5	0.4	0.5	0.6	0.4	0.3	0.3	0.5	0.4	0.3	0.4	0.5	138	55,895
2008	0.4	0.3	0.4	0.6	0.2	0.1	0.2	0.4	0.3	0.2	0.3	0.5	133	51,979
2010	0.5	0.3	0.5	0.6	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	121	47,475
2012	0.3	0.3	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.4	124	54,073

表75 覚せい剤乱用の生涯経験率の推移 (%) (「無回答」を除いて計算したもの)

	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	0.4	0.3	0.4	0.5	0.3	0.3	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	108	53,197
1998	0.7	0.5	0.7	0.8	0.3	0.2	0.3	0.4	0.5	0.4	0.5	0.6	148	70,819
2000	0.5	0.5	0.5	0.6	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	140	61,457
2002	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.5	0.5	149	62,181
2004	0.5	0.4	0.6	0.7	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5	0.3	0.5	0.6	147	64,886
2006	0.5	0.4	0.6	0.6	0.3	0.2	0.2	0.5	0.4	0.3	0.4	0.5	138	55,841
2008	0.4	0.3	0.4	0.5	0.2	0.1	0.2	0.4	0.3	0.2	0.3	0.4	133	51,972
2010	0.4	0.2	0.4	0.5	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	121	47,475
2012	0.3	0.2	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	124	53,908

表76 有機溶剤・大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」のいずれかの乱用の生涯経験率（％）

(無回答を除いて計算したもの)

	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	1.8	1.5	1.8	2.2	1.0	0.9	1.0	1.0	1.5	1.3	1.5	1.7	108	54,136
1998	2.3	1.8	2.1	2.9	1.2	1.2	1.1	1.3	1.8	1.5	1.6	2.2	148	71,245
2000	2.0	1.7	2.0	2.3	1.1	1.0	1.0	1.2	1.5	1.4	1.5	1.8	140	61,481
2002	1.8	1.7	1.9	1.9	1.3	1.2	1.4	1.3	1.6	1.5	1.7	1.6	149	61,668
2004	1.7	1.4	1.5	1.9	1.2	1.1	1.2	1.2	1.4	1.2	1.3	1.6	147	64,314
2006	1.4	1.3	1.4	1.6	0.9	0.8	0.8	1.1	1.2	1.1	1.1	1.3	138	55,387
2008	1.3	1.0	1.2	1.7	0.8	0.7	0.6	1.0	1.0	0.8	0.9	1.4	133	51,515
2010	1.1	0.9	1.1	1.2	0.7	0.6	0.8	0.8	0.9	0.7	1.0	1.0	121	46,570
2012	1.0	0.9	0.9	1.2	0.6	0.4	0.5	0.7	0.8	0.7	0.7	1.0	124	53,462

表77 大麻・覚せい剤のいずれかの乱用の生涯経験率（％）

(無回答を除いて計算したもの)

	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	0.8	0.5	0.8	1.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.7	0.5	0.7	0.8	108	54,116
1998	1.0	0.9	1.0	1.2	0.5	0.5	0.5	0.6	0.8	0.7	0.8	0.9	148	71,245
2000	0.8	0.6	0.7	0.9	0.4	0.3	0.4	0.4	0.6	0.5	0.6	0.6	140	61,481
2002	0.8	0.6	0.9	0.8	0.5	0.4	0.6	0.6	0.7	0.5	0.8	0.7	149	61,668
2004	0.7	0.5	0.8	0.8	0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.5	0.6	0.7	147	64,610
2006	0.7	0.6	0.7	0.8	0.4	0.3	0.3	0.6	0.6	0.5	0.5	0.7	138	55,627
2008	0.5	0.4	0.5	0.7	0.3	0.2	0.2	0.5	0.4	0.3	0.4	0.6	133	51,751
2010	0.6	0.4	0.6	0.7	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3	0.5	0.5	121	46,760
2012	0.4	0.3	0.3	0.5	0.2	0.2	0.2	0.4	0.3	0.3	0.2	0.4	124	53,824

## 6. 大麻・覚せい剤乱用による医学的害

大麻、覚せい剤乱用による医学的害知識の周知度は、表51、表55の通りであるが、その推移を示したものが図15、16である。

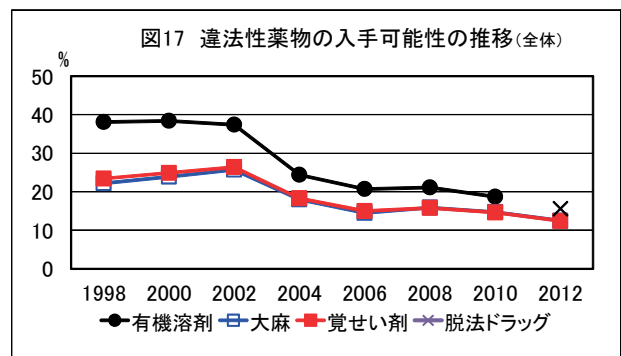
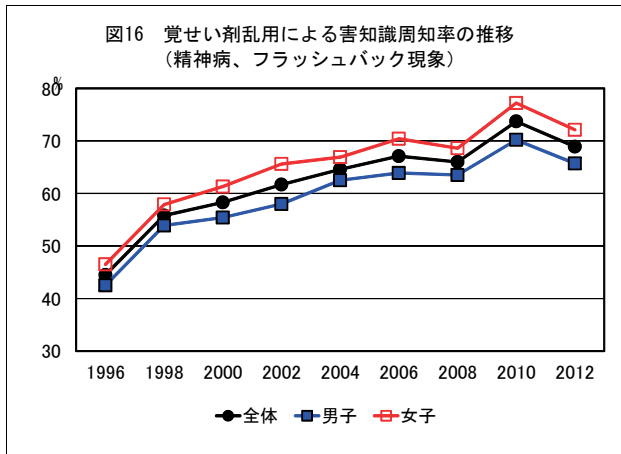
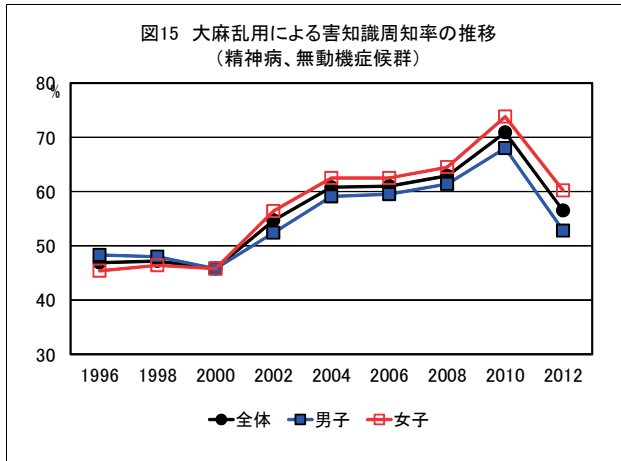
大麻による精神病・無動機症候群に関しては、1998年調査の女性を除けば、2000年調査までは、男女ともに有機溶剤乱用群の方が周知率が有意に高かった。しかし、2002年調査では、初めて有機溶剤乱用経験の有無による有意差がなくなり、2004年調査では、わずかではあるが、有機溶剤非経験者群の方が、「知っている」者の割合が高くなった（ただし有意差なし）。ところが、2006年調査では、男子では再び「知っている」と答えた者は有機溶剤経験者群の方が多くなってしまった。2008年調査で、男女ともに「知っている」と答えた者は非経験者群の方が多くなったが（有意差はない）、2010年もそれを維持できた（男子で有意差あり）。2012年調査では、男女ともに初めて有意差をもってその傾向を認めたが、逆に、周知

率自体は性別に関わりなく大幅に低下してしまった。

また、覚せい剤乱用による精神病・フラッシュバック現象に関しては、男子では1996年調査、1998年調査では有機溶剤乱用群での周知率が有意に高かったが、2000年調査、2002年調査では、有意差こそないものの、有機溶剤乱用非経験者群の方がわずかに周知率が高いというように変化した。しかし、2004年調査では、再び、有機溶剤経験者群の方が「知っている」の割合は高いという結果にもどってしまった。2006年調査以降は「知っている」と答えた者は、有機溶剤非経験者群の方が多いという形に戻り、前回の2010年調査でも、それが維持できた（男女ともに有意差有り）。2012年調査では、その傾向は維持できたが、女子では有意差がなくなると同時に、周知率自体は性別に関わりなく減少してしまった。

2010年調査での大麻、覚せい剤の害知識の周知率は大幅に上昇について、当研究者らは、その理由として、薬物乱用防止教育の影響と言うよりは

(中学生に対する薬物乱用防止教育上の変化があったとは考えにくい)、2008年秋の角界・大学生における大麻乱用報道、2009年夏の某有名女優による覚せい剤事件の影響の可能性が高いと推定した<sup>29)</sup>が、2012年の周知率の低下(特に大麻について)は憂慮すべき低下である。有機溶剤乱用による害知識の低下(図10)も併せて、どうも薬物乱用防止教育への力の注ぎ具合が危惧されることである。



## 7. 違法薬物の入手可能性の比較

1993年以来、一部の外国人を中心に、大麻および覚せい剤が、大都会では路上で密売されるようになり、第3次覚せい剤乱用期を作り出した<sup>8)</sup>。その影響と思われるが、1996年の1年間に覚せい剤取締法により検挙された高校生の数は対前年度比2.3倍と激増した<sup>8)</sup>。いくら有機溶剤乱用の勢いが鈍ったと言っても、この現実、わが国の薬物汚染状況の深刻化を象徴する以外の何物でもない。

表67、表68は、本調査による違法薬物の入手可能性についての結果である。

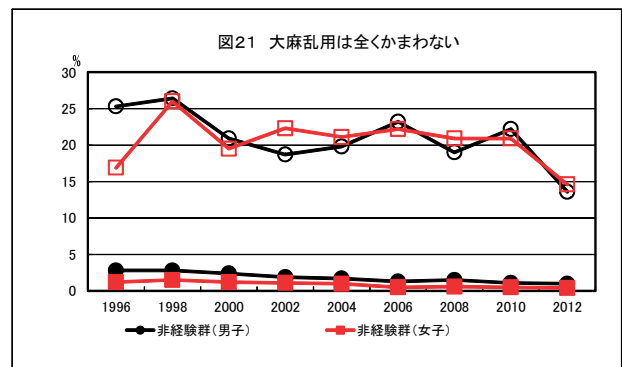
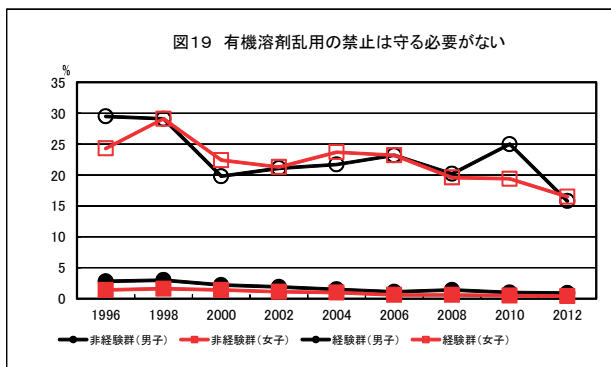
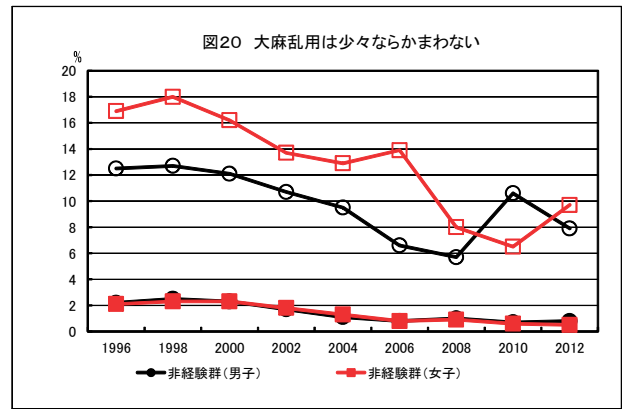
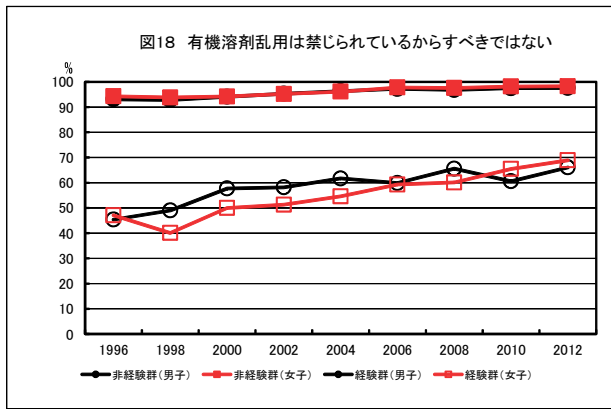
有機溶剤は日常生活上の必需品であり、その気になれば入手は極めて簡単である。しかし、入手可能を選んだ者の割合は2004年以降激減しており少々驚きを隠せない(図17。ただし2012年調査では調査項目数の関係で調査しなかった)。「シンナー遊び」のための「有機溶剤」という問いの言葉から、トルエンの入手を想定した者が多かった可能性もあるが、そもそもの有機溶剤乱用に関する関心のなさの現れとも考えられる。ただし、大麻、覚せい剤の入手可能性に比べれば、有機溶剤の入手可能性が最も高いことは、事実と一致するところである。

大麻及び覚せい剤の入手可能性は、図17に見るように、今回の2004年調査では激減している。これは、この間の取締りの厳しさの反映の可能性はある。

ただし、この入手可能性を、有機溶剤乱用経験の有無を軸に見た場合(表67、表68)、大麻の入手可能性では、「簡単に手に入る」「少々苦労するが、なんとか手に入る」を選んだ者の合計を入手可能群とすると、その割合は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で13.1%、女子で11.7%であるのに対して、経験者群では、男子で35.6%、女子で43.6%と明らかに異なっていた( $p < 0.01$ ) (表67)。このことは覚せい剤の入手可能性についても同じであり、入手可能群の割合は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で12.7%、女子で11.9%であるのに対して、経験者群では、男子で30.5%、女子で44.6%となっていた( $p < 0.01$ ) (表68)。

これらの結果は、わが国の中学生にとって、有機溶剤を乱用するということ、大麻、覚せい剤が身近なものになるという特徴を如実に示している。





## 8. 薬物乱用に対する法の遵守性

わが国の規制薬物乱用が、多くの国に比べて少ない背景には、国民の法に対する遵守性の高さがあるのではないかと本研究者は推定している。

喫煙については全体の約5%（表31）の者が「少々ならかまわない」を選んでいるのに対して、「シンナー遊び」に関してそれを選んだ者は1.2%（表9）に過ぎず、大麻では0.7%（表50）であったことは、同じ依存性薬物と言えども、有機溶剤及び大麻乱用への心理的垣根は喫煙よりはるかに高いことを物語っている（覚せい剤に関しては、尋ねていない）。

図18、19は法で禁じられている有機溶剤の乱用についてどう思うかという問いに対する回答の年次推移である。有機溶剤非経験者群と経験者群とで結果には大きな開きがあるが、「乱用すべきでない」（図18）と答えた者の割合は、男女ともに有機溶剤の乱用経験に関わらず経年的には増加している。また、「法を守る必要はない」と答えた者の割合も経年的には低下している。

図20、21は大麻乱用をどう思うかに対する回答の年次推移である。「少々ならかまわない」と答

えた者の割合は、2008年までは経年的に低下してきたが、それ以降は増加傾向にあり憂慮すべき状態である。しかし、その一方で、「大麻乱用は全くかまわない」とした者の割合は、長年の横ばい状態から2012年では減少を見せている（図21）。

どうも、大麻に対する認識は、相変わらず「甘い」と言わざるを得ない。

## 9. 「ゲイトウェイ・ドラッグ」の視点から

表49と表53に示したように、「シンナー遊び」の経験と大麻・覚せい剤乱用の経験とには、強い結びつきがあり（図22、23）、わが国では依然として有機溶剤が大麻・覚せい剤への「ゲイトウェイ・ドラッグ」となっている可能性が強く示唆される<sup>2)4)5)13)21)</sup>。

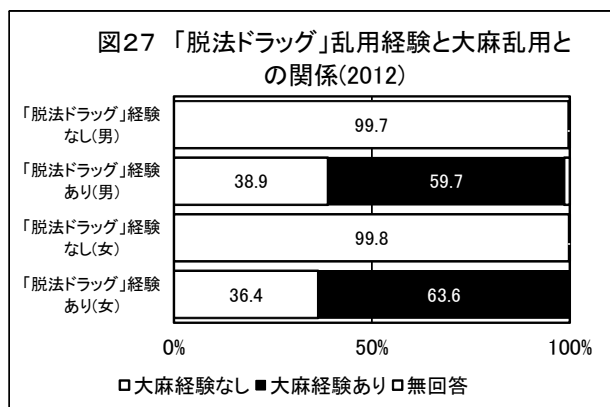
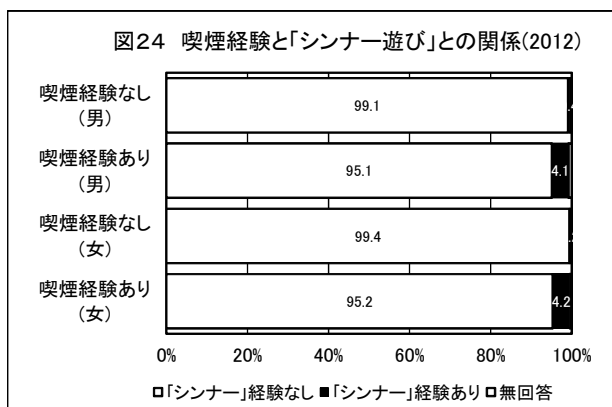
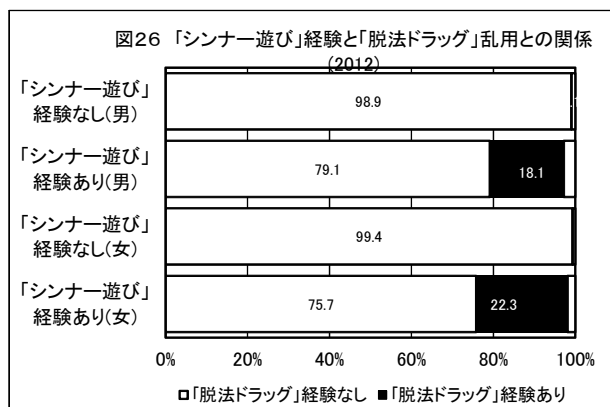
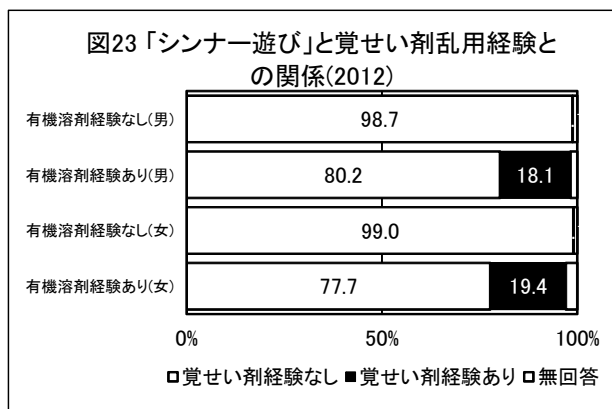
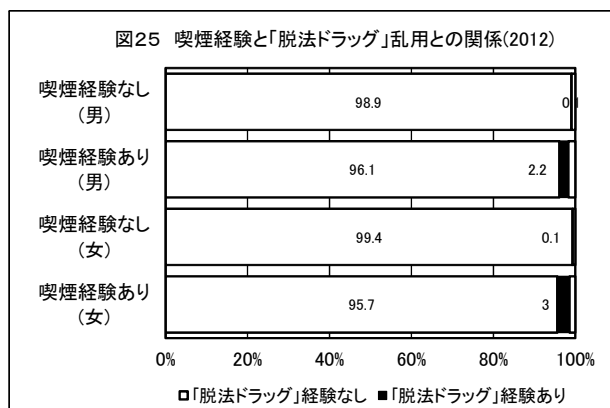
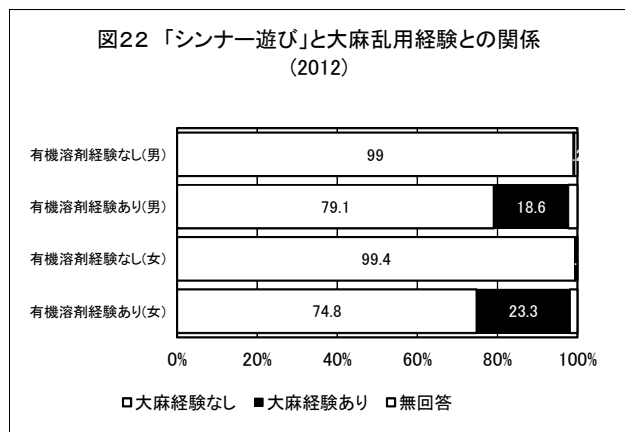
また、中学生における喫煙及び飲酒が「シンナー遊び」への「エントリー・ドラッグ」になっている可能性が高いことは以前より指摘してきたが<sup>2)4)5)13)21)</sup>、表45及び表47の結果は、大人が同伴しない飲酒と「シンナー遊び」との結びつきの強さと、喫煙経験と「シンナー遊び」との結びつきの強さ（図24）を再確認させるものである。この背景に

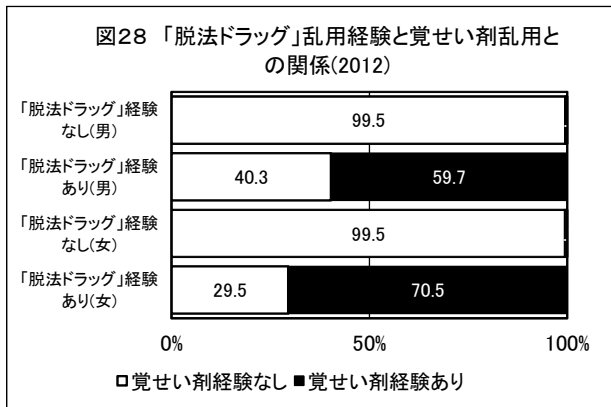
は、有機溶剤乱用同様に、家庭環境、「仲間」関係等、薬物乱用の背後にある人間関係が大きな要因となっていると推定できる。

中学生における喫煙・飲酒・薬物乱用防止を行う際には、喫煙・飲酒・薬物乱用といった表面的行為に目を奪われすぎることなく、その背後に潜む家庭環境、「仲間」関係等の人間関係に目を注ぐことが重要であろう<sup>15)</sup>。

ところで、今回のトピックスは、一連の本調査で初めて実施した「脱法ドラッグ」関連の項目の結果である。

図25は喫煙経験と「脱法ドラッグ」乱用との関係を示し、図26は「シンナー遊び」経験と「脱法ドラッグ」乱用との関係を示している。これらの関係は、それぞれ、喫煙経験と「シンナー遊び」





との関係(図24)、及び、「シンナー遊び」経験と大麻ないしは覚せい剤乱用との関係(図22, 図23)とほとんど同じ結果である。

それ以上に驚くべきことは、「脱法ドラッグ」乱用経験者における大麻、覚せい剤乱用経験の高さ(図27, 図28)である。「シンナー遊び」経験者における大麻乱用経験者の割合は、男子で18.6%、女子で23.3%であり(図22)、「シンナー遊び」経験者における覚せい剤乱用経験者の割合は、男子で18.1%、女子で19.4%であり(図23)であるが、「脱法ドラッグ」乱用経験者における大麻乱用経験率は、男子で59.7%、女子で63.6%であり、「脱法ドラッグ」乱用経験者における覚せい剤乱用経験率は、男子で59.7%、女子で70.5%にも上るのである。

従来、わが国での中学生にとっての乱用薬物の順番は、「喫煙→有機溶剤→大麻・覚せい剤」と考えられてきた。しかし、「脱法ドラッグ」の出現は、「喫煙→脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」という新しい流れの可能性を示唆するものであり、同時に、「脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」の流れは、「有機溶剤→大麻・覚せい剤」の比ではないということになる。

ただし、今回のこの結果は、初めての調査結果であり、トレンドを見ることができないため、断定はできない。

しかし、それにしても、図27、図28に見る「脱法ドラッグ」乱用経験と大麻、覚せい剤乱用との関係の強さは恐怖すら覚える結果である。

## E. 結論

わが国の中学生における薬物乱用の広がり把握し、特に有機溶剤乱用に関する危険因子を特定

することによって、中学生に対する薬物乱用防止対策の基礎資料に供するために、飲酒、喫煙、有機溶剤・大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」乱用に対する意識・実態調査を実施した。調査期間は、2012年10月中(一部11~12月中)であり、層別一段集落抽出法により選ばれた全国235校の全生徒を対象に、自記式調査を実施した。その結果、124校(対象校の52.8%)より、54,7337人(対象校235校の全生徒想定数の46.8%)の回答を得た。有効回答数は54,486人(対象校235校の全生徒想定数の46.6%)であった。

ただし、回答が得られなかった県が4県あり、都道府県毎の回答率には、未だにばらつきがあることをふまえた上で、本調査の結果を利用する必要がある。

このような限界はあるが、以下のような結論を得た。

① 有機溶剤の生涯経験率(これまでに1回でも経験したものと答えた者の割合)は、男子で0.6%(1年生0.6%、2年生0.6%、3年生0.8%)、女子で0.4%(1年生0.3%、2年生0.4%、3年生0.5%)であり、全体では0.5%(1年生0.4%、2年生0.5%、3年生0.6%)であった。この結果は、男女及び全体で、1996年に開始した一連の本調査では最低の値である。

有機溶剤乱用の目撃率、身近にいる有機溶剤乱用者の周知率、有機溶剤乱用への被誘惑率も、過去最低の値であった。

以上により、有機溶剤乱用の勢いは、確実に弱まっている。

② 有機溶剤乱用経験者群では、非経験者群に比べて、日常生活の規則性、学校生活、家庭生活、友人関係において、好ましくない傾向が統計学的有意差を持って強いことが再確認された。

その背景には、家庭生活のあり方が大きく影響していると考えられる。経験者群では、「親との相談頻度」「家族との夕食頻度」が有意に低く、逆に「大人不在での時間」が有意に長く、親子の共有時間が少ない傾向が再確認された。

③ 結局、有機溶剤経験者群は、相対的に見れば、家庭にも、学校にもなじみず、友人関係も希薄な中学生たちが多く、「居場所のない子供たち」と推測することができよう。

④ また、中学生における喫煙と大人が同伴しな

い飲酒は、有機溶剤乱用と強い繋がりを持っており、これらは、有機溶剤乱用への「ゲイトウェイ」となっている可能性が再確認された。

⑤ 有機溶剤乱用による健康への害知識の周知率は調査年毎に上昇していたが、2006年をピークに、周知度が減少傾向にあり、薬物乱用防止教育の再度の強化の必要性が示唆された。

⑥ 大麻、覚せい剤の生涯経験者数は無回答者数よりも少なく、その意味では参考データの意味合いが否定できないが、以下の結果を得た。

大麻の生涯経験率は、男子では0.3%（1年生0.3%、2年生0.2%、3年生0.4%）であり、女子では0.2%（1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%）であった。全体では0.2%（1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.4%）であった。この結果は、男女及び全体で、1996年に開始した一連の本調査では最低の値である。

覚せい剤の生涯経験率は、男子では0.3%（1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.4%）で、女子では0.2%（1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%）であり、全体では0.2%（1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.3%）であった。この結果は、男女及び全体で、1996年に開始した一連の本調査では最低の値である。

⑦ 「脱法ドラッグ」の生涯経験率は、男子で0.3%（1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.5%）、女子で0.2%（1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%）であり、全体では0.2%（1年生0.1%、2年生0.2%、3年生0.4%）であった。

⑧ 大麻及び覚せい剤乱用による医学的害知識の周知度は、経年的に増加傾向にあったが、2012年調査では激減傾向を示した。その背景には、2008年の角界・大学生における大麻問題の報道、2009年の某有名女優による覚せい剤問題の報道により、2010年調査での害の周知度が特異的に激増した影響も推定できるが、有機溶剤乱用による害知識の周知度も経年的減少傾向を見せていることから、薬物乱用防止教育の行われ方に疑義を抱かざるを得ない結果であった。

⑨ 大麻、覚せい剤の入手可能性は2002年から2006年にかけて大きく減少し、その後は横ばい状態であったが、2012年調査では微減した。ただし、大麻入手可能群の割合は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で13.1%、女子で11.7%であるのに対して、経験者群では、男子で35.6%、女子で43.6%と明らかに異なっていた（ $p<0.01$ ）。このことは覚せい剤の入手可能性についても同じであ

り、覚せい剤入手可能群の割合は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で12.7%、女子で11.9%であるのに対して、経験者群では、男性で30.5%、女性で44.6%となっていた（ $p<0.01$ ）。

これらの結果は、わが国の中学生にとって、有機溶剤を乱用するということは、大麻、覚せい剤が身近なものになるという特徴を如実に示している。

「脱法ドラッグ」の入手可能性は、男子、女子、全体で、学年とともに有意差をもって高くなっていった。入手可能とした者は、男子で16.7%、女子で14.5%、全体で15.6%であった。

⑩ 薬物の乱用経験率には、法の遵守性が大きく影響すると考えられる。喫煙については全体の約5%の者が「少々ならかまわない」を選んでいるのに対して、「シンナー遊び」に関してそれを選んだ者は1.2%に過ぎず、大麻では0.7%であったことは、同じ依存性薬物と言えども、有機溶剤及び大麻乱用への心理的垣根は喫煙よりはるかに高いことを物語っている。

⑪ 有機溶剤乱用経験者群の20.5%（男子で18.6%、女子で23.3%）の者に大麻乱用の経験があり、19.1%（男子で18.1%、女子で19.4%）の者に覚せい剤乱用の経験があり、有機溶剤乱用と大麻・覚せい剤乱用との間には強い結びつきがあることが再確認された。同時に、喫煙経験と有機溶剤乱用経験との間にも結びつきが認められた。

喫煙経験と「脱法ドラッグ」乱用との関係、「シンナー遊び」経験と「脱法ドラッグ」乱用との関係は、それぞれ、喫煙経験と「シンナー遊び」との関係、「シンナー遊び」経験と大麻ないしは覚せい剤乱用との関係とほとんど同じ結果であった。

驚くべきことは、「脱法ドラッグ」乱用経験者における大麻、覚せい剤乱用経験の高さである。

「脱法ドラッグ」乱用経験者における大麻乱用経験率は、60.0%（男子：59.7%、女子：63.6%）であり、「脱法ドラッグ」乱用経験者における覚せい剤乱用経験率は、63.3%（男子：59.7%、女子：70.5%）にも上った。

従来、わが国での中学生にとっての乱用薬物の順番は、「喫煙→有機溶剤→大麻・覚せい剤」と考えられてきた。しかし、「脱法ドラッグ」の出現は、「喫煙→脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」という新しい流れの可能性を示唆するものであ

り、同時に、「脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」の流れは、「有機溶剤→大麻・覚せい剤」の比ではない可能性を示唆するものである。ただし、今回のこの結果は、初めての調査結果であり、トレンドを見ることができないため、断定はできない。

しかし、それにしても、「脱法ドラッグ」乱用経験と大麻、覚せい剤乱用との関係の強さは恐怖すら覚える結果であった。

⑫ 以上により、中学生の薬物乱用問題は、有機溶剤問題から「脱法ドラッグ」問題に変わってきている可能性がある。薬物乱用防止教育の実施状況の再確認とともに、内容を再検討する時期に来ている。

### 謝辞

本調査研究にご協力いただいた多くの学校関係者、生徒、ならびに、本調査の実施に関して御尽力をいただいた多くの方々に、心よりお礼を述べさせていただきます。

また、調査用紙回収後の膨大な資料整理に協力していただいた、横浜ダルク、川崎ダルク、八王子ダルク、市原ダルクの協力者に感謝いたします。

### F. 参考文献

- 1) 尾崎 茂、和田 清：全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査。平成16年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の実態とその社会的影響・対策に関する研究」（主任研究者：和田 清）。pp. 89-126. 2005.
- 2) 和田 清：“Gateway Drug”概念について。日本アルコール・薬物医学会雑誌 34(2)：95-106, 1999.
- 3) Wada, K., Fukui, S.: Demographic and Social Characteristics of Solvent Abuse Patients in Japan. The American Journal on Addictions 3:165-176, 1994.
- 4) Wada, K., Fukui, S.: Prevalence of volatile solvent inhalation among junior high school students in Japan and background life style of users. Addiction 88: 89-100, 1993.
- 5) Wada, K., Price, R.K., Fukui, S.: Cigarette smoking and solvent use among Japanese adolescents. Drug and Alcohol Dependence 46:137-145, 1997.
- 6) Wada, K., Price, R.K., Fukui, S.: Reflecting Adult Drinking Culture: Prevalence of Alcohol Use and Drinking Situations among Japanese Junior High School Students in Japan. Journal of Studies on Alcohol 59: 381-386, 1998.
- 7) 和田 清：中学生における飲酒－飲酒文化の反映－。日本アルコール・薬物医学会雑誌 34: 36-48, 1999.
- 8) 和田 清：薬物乱用の現状と歴史。神経精神薬理 19: 913-923, 1997.
- 9) 和田 清、勝野眞吾、尾崎米厚、中野良吾：中学生における「シンナー遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究。平成8年度厚生科学研究費補助金（麻薬等対策総合研究事業）研究報告書「薬物依存・中毒者の疫学調査及び精神医療サービスに関する研究班」（主任研究者：寺元 弘）第1分冊薬物乱用・依存の多面的疫学調査研究（2）。pp. 21-60. 1997.
- 10) 編者 全国学校データ研究所：全国学校総覧2012年版。原書房。東京。2011.
- 11) Wada, K.: Prevalence of Solvent Inhalation among Junior High School Students in Japan and Their Background Lifestyle: Result of Chiba Prefecture Survey 1994. Japanese Journal of Alcohol Studies and Drug Dependence 37: 41-56, 2002.
- 12) 和田 清、中野良吾、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査。平成10年度厚生科学研究費補助金（医薬安全総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の疫学的研究及び中毒性精神障害者等に対する適切な医療のあり方についての研究」（主任研究者：和田 清）。pp. 19-83. 1999.
- 13) 和田 清：中学生における有機溶剤乱用の実態とその生活背景－1992年千葉県調査より－。学校保健研究 43:26-38, 2001.
- 14) 和田 清：中学生における「シンナー遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究。平成5年度厚生科学研究費補助金「麻薬等総合対策研究事業」薬物依存の社会的、精神医学的特徴に関する研究（主任研究者：福井 進）平成5年度研究

- 成果報告書. pp. 27-54. 1994.
- 15) 和田 清：有機溶剤乱用発生の社会的背景—青少年にとり有機溶剤とは何か—. アルコール医療研究 8: 179-184, 1991.
- 16) 和田 清：中学生における飲酒—飲酒文化の反映—. 日本アルコール・薬物医学会雑誌34: 36-48, 1999.
- 17) 和田 清：有機溶剤乱用と家族. 精神保健研究 7: 13-17, 1994.
- 18) Wada, K.: Lifetime Prevalence of Alcohol Drinking, Cigarette Smoking, and Solvent Inhalation among Junior High School Students in Japan: Tradition and Urbanization. Japanese Journal of Alcohol Studies and Drug Dependence 36: 124-141, 2001.
- 19) 和田 清、菊池安希子、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査. 平成12年度厚生科学研究費補助金（医薬安全総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の疫学的研究及び中毒性精神障害者等に対する適切な医療のあり方についての研究」（主任研究者：和田 清）. pp.15-76. 2001.
- 20) 和田 清、畢 穎、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査（2002年）. 平成14年度厚生労働科学研究費補助金（医薬安全総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の実態把握に関する研究及び社会経済的損失に関する研究」（主任研究者：和田 清）. pp.19-86. 2003.
- 21) 和田 清：有機溶剤吸引の入り口としての喫煙：1994年千葉県中学生調査より. 学校保健研究45:512-527, 2004.
- 22) 和田 清、近藤あゆみ、高橋伸彰、鈴木紀美子、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査（2004年）. 平成16年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の実態とその社会的影響・対策に関する研究」（主任研究者：和田 清）. pp.17-87. 2005.
- 23) 和田 清、尾崎 茂、近藤あゆみ：薬物乱用・依存の今日の状況と政策的課題. 日本アルコール・薬物医学会雑誌43(2): 120-131, 2008.
- 24) 和田 清、近藤あゆみ、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査（2006年）. 平成18年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の実態と乱用・依存者に対する対応策に関する研究」（主任研究者：和田 清）. pp.17-91. 2007
- 25) Kiyoshi Wada: The history and current state of drug abuse in Japan. Annals of the new York academy of science 1216: 62-72, 2011.
- 26) 和田 清、嶋根卓也、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査（2008年）. 平成20年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の実態把握と「回復」に向けての対応策に関する研究」（主任研究者：和田 清）. pp.15-85. 2009
- 27) 和田 清、船田正彦、富山健一、青尾直也：脱法ハーブを含む「脱法ドラッグ」乱用とその実態. 精神科 22(1): 26-32, 2013.)
- 28) 松本俊彦、尾崎 茂、小林桜児、和田 清：全国の精神科医療施設における薬物依存研究部関連精神疾患の実態調査. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存の実態把握と再乱用防止のための社会資源等の現状と課題に関する研究」（研究者代表者：和田 清）. pp.89-115. 2011.
- 29) 和田 清、小堀栄子、嶋根卓也、立森久照、勝野眞吾：飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査（2010年）. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存の実態把握と再乱用防止のための社会資源等の現状と課題に関する研究」（研究者代表者：和田 清）. pp.17-87. 2011.

## G. 健康危険情報

本調査結果自体が健康危険情報に関するものである。

## H. 研究発表

### 1. 著書

- (1) 和田 清、尾崎 茂、近藤あゆみ、嶋根卓也  
： I 物質依存 2. わが国の物質乱用・依存の疫学と動向. 専門医のための精神科臨床リュミエール26. 中山書店. 東京. pp. 14-27, 2011. 6. 10.
- (2) 和田 清：薬物乱用. 生涯教育シリーズ82「小児・思春期診療 最新マニュアル (監修) 五十嵐隆」. 日本医師会雑誌 第141巻・特別号(1). 日本医師会. pp. S262-S263, 2012. 6. 15.

### 2. 論文発表

- (1) 和田 清：薬物乱用の問題点－医学的視点から－第三回 中学生対象の全国調査からわかること. 少年写真新聞社 中学保健ニュース 第1522号付録：10-11, 2012. 3. 8.

### 3. 学会発表

なし

### I. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得       なし
2. 実用新案登録   なし
3. その他         なし

表1 対象校の分布と回答状況

	対象校数	回答校数	実施率(%)		対象校数	回答校数	実施率(%)
北海道	9	5	55.6%	京都	5	2	40.0%
青森	3	2	66.7%	大阪	16	3	18.8%
岩手	2	2	100.0%	兵庫	10	6	60.0%
宮城	3	3	100.0%	奈良	3	0	0.0%
秋田	2	2	100.0%	和歌山	2	0	0.0%
山形	3	2	66.7%	鳥取	2	0	0.0%
福島	3	3	100.0%	島根	2	1	50.0%
茨城	4	3	75.0%	岡山	4	1	25.0%
栃木	4	4	100.0%	広島	5	2	40.0%
群馬	4	4	100.0%	山口	3	1	33.3%
埼玉	12	8	66.7%	徳島	2	2	100.0%
千葉	10	5	50.0%	香川	2	2	100.0%
東京	19	7	36.8%	愛媛	3	2	66.7%
神奈川	15	2	13.3%	高知	2	1	50.0%
新潟	5	3	60.0%	福岡	9	4	44.4%
富山	2	1	50.0%	佐賀	2	2	100.0%
石川	3	3	100.0%	長崎	3	3	100.0%
福井	2	0	0.0%	熊本	4	3	75.0%
山梨	2	2	100.0%	大分	2	2	100.0%
長野	4	2	50.0%	宮崎	3	2	66.7%
岐阜	4	3	75.0%	鹿児島	4	3	75.0%
静岡	7	3	42.9%	沖縄	4	2	50.0%
愛知	14	6	42.9%				
三重	4	4	100.0%				
滋賀	3	1	33.3%	全体	235	124	52.8%

表2 対象の内訳

	1年	2年	3年	合計
男性	9237 (51.3)	9141 (50.2)	9175 (50.2)	27553 (50.6)
女性	8760 (48.7)	9057 (49.7)	9076 (49.7)	26893 (49.4)
無回答	9 (.0)	16 (.1)	15 (.1)	40 (.1)
合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)

表3 これまでに1回でも「シンナー遊び」を経験したことのある率（生涯経験率）

		1年	2年	3年	合計
男性	経験なし	9116 (98.7)	9040 (98.9)	9033 (98.5)	27189 (98.7)
	経験あり	54 (.6)	52 (.6)	71 (.8)	177 (.6)
	無回答	67 (.7)	49 (.5)	71 (.8)	187 (.7)
	合計	9237 (100.0)	9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 3.781, df = 2, p = 0.151$ )					
女性	経験なし	8695 (99.3)	8978 (99.1)	8993 (99.1)	26666 (99.2)
	経験あり	23 (.3)	37 (.4)	43 (.5)	103 (.4)
	無回答	42 (.5)	42 (.5)	40 (.4)	124 (.5)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 5.439, df = 2, p = 0.066$ )					
全体	経験なし	17818 (99.0)	18034 (99.0)	18039 (98.8)	53891 (98.9)
	経験あり	79 (.4)	89 (.5)	115 (.6)	283 (.5)
	無回答	109 (.6)	91 (.5)	112 (.6)	312 (.6)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 6.910, df = 2, p = 0.032$ )					



表4 この1年間に「シンナー遊び」を1回でも経験したことのある率(1年経験率)

		1年	2年	3年	合計
男性	ない	9167 (99.2)	9073 (99.3)	9095 (99.1)	27335 (99.2)
	ある	33 (.4)	42 (.5)	42 (.5)	117 (.4)
	無回答	37 (.4)	26 (.3)	38 (.4)	101 (.4)
	合計	9237 (100.0)	9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 1.486, df = 2, p = 0.476$ )					
女性	ない	8719 (99.5)	9006 (99.4)	9026 (99.4)	26751 (99.5)
	ある	21 (.2)	31 (.3)	31 (.3)	83 (.3)
	無回答	20 (.2)	20 (.2)	19 (.2)	59 (.2)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 2.003, df = 2, p = 0.367$ )					
全体	ない	17894 (99.4)	18095 (99.3)	18134 (99.3)	54123 (99.3)
	ある	55 (.3)	73 (.4)	74 (.4)	202 (.4)
	無回答	57 (.3)	46 (.3)	58 (.3)	161 (.3)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 3.101, df = 2, p = 0.212$ )					

表5 「シンナー遊び」を実際に見たことがありますか？

		1年	2年	3年	合計
男性	ない	8998 (97.4)	8916 (97.5)	8943 (97.5)	26857 (97.5)
	ある	177 (1.9)	183 (2.0)	190 (2.1)	550 (2.0)
	無回答	62 (.7)	42 (.5)	42 (.5)	146 (.5)
	合計	9237 (100.0)	9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 0.534, df = 2, p = 0.766$ )					
女性	ない	8600 (98.2)	8883 (98.1)	8897 (98.0)	26380 (98.1)
	ある	124 (1.4)	156 (1.7)	161 (1.8)	441 (1.6)
	無回答	36 (.4)	18 (.2)	18 (.2)	72 (.3)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 4.046, df = 2, p = 0.132$ )					
全体	ない	17605 (97.8)	17813 (97.8)	17852 (97.7)	53270 (97.8)
	ある	303 (1.7)	340 (1.9)	353 (1.9)	996 (1.8)
	無回答	98 (.5)	61 (.3)	61 (.3)	220 (.4)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 3.272, df = 2, p = 0.195$ )					

表6 身近に「シンナー遊び」をしている人がいますか？

		1年	2年	3年	合計
男性	いない	9064 (98.1)	8985 (98.3)	9002 (98.1)	27051 (98.2)
	いる	96 (1.0)	102 (1.1)	114 (1.2)	312 (1.1)
	無回答	77 (.8)	54 (.6)	59 (.6)	190 (.7)
	合計	9237 (100.0)	9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 1.700, df = 2, p = 0.427$ )					
女性	いない	8643 (98.7)	8912 (98.4)	8925 (98.3)	26480 (98.5)
	いる	73 (.8)	119 (1.3)	123 (1.4)	315 (1.2)
	無回答	44 (.5)	26 (.3)	28 (.3)	98 (.4)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 12.775, df = 2, p = 0.002$ )					
全体	いない	17714 (98.4)	17910 (98.3)	17940 (98.2)	53564 (98.3)
	いる	171 (.9)	223 (1.2)	238 (1.3)	632 (1.2)
	無回答	121 (.7)	81 (.4)	88 (.5)	290 (.5)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 10.714, df = 2, p = 0.005$ )					

表 7 「シンナー遊び」に誘われた経験

		1 年	2 年	3 年	合計
男性	ない	8863 (96.0)	8746 (95.7)	8751 (95.4)	26360 (95.7)
	ある	66 (.7)	72 (.8)	86 (.9)	224 (.8)
	無回答	308 (3.3)	323 (3.5)	338 (3.7)	969 (3.5)
	合計	9237 (100.0)	9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 3.019$ , $df = 2$ , $p = 0.221$ )					
女性	ない	8378 (95.6)	8625 (95.2)	8618 (95.0)	25621 (95.3)
	ある	44 (.5)	65 (.7)	72 (.8)	181 (.7)
	無回答	338 (3.9)	367 (4.1)	386 (4.3)	1091 (4.1)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 6.159$ , $df = 2$ , $p = 0.046$ )					
全体	ない	17249 (95.8)	17385 (95.4)	17382 (95.2)	52016 (95.5)
	ある	111 (.6)	138 (.8)	159 (.9)	408 (.7)
	無回答	646 (3.6)	691 (3.8)	725 (4.0)	2062 (3.8)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 8.087$ , $df = 2$ , $p = 0.018$ )					

表 8 「シンナー遊び」についての気持ち(未経験者についてのみ)

		1 年	2 年	3 年	合計
男性	関心がない	8672 (95.1)	8543 (94.5)	8623 (95.5)	25838 (95.0)
	見てみたい	326 (3.6)	382 (4.2)	306 (3.4)	1014 (3.7)
	試してみたい	25 (.3)	36 (.4)	38 (.4)	99 (.4)
	経験がある	1 (.0)	2 (.0)	3 (.0)	6 (.0)
	無回答	92 (1.0)	77 (.9)	63 (.7)	232 (.9)
	合計	9116 (100.0)	9040 (100.0)	9033 (100.0)	27189 (100.0)
( $\chi^2 = 13.900$ , $df = 6$ , $p = 0.031$ )					
女性	関心がない	8278 (95.2)	8523 (94.9)	8643 (96.1)	25444 (95.4)
	見てみたい	323 (3.7)	355 (4.0)	260 (2.9)	938 (3.5)
	試してみたい	22 (.3)	39 (.4)	41 (.5)	102 (.4)
	経験がある	1 (.0)	2 (.0)	3 (.0)	6 (.0)
	無回答	71 (.8)	59 (.7)	46 (.5)	176 (.7)
	合計	8695 (100.0)	8978 (100.0)	8993 (100.0)	26666 (100.0)
( $\chi^2 = 23.168$ , $df = 6$ , $p = 0.001$ )					
全体	関心がない	16956 (95.2)	17080 (94.7)	17276 (95.8)	51312 (95.2)
	見てみたい	649 (3.6)	737 (4.1)	567 (3.1)	1953 (3.6)
	試してみたい	48 (.3)	76 (.4)	81 (.4)	205 (.4)
	経験がある	2 (.0)	5 (.0)	6 (.0)	13 (.0)
	無回答	163 (.9)	136 (.8)	109 (.6)	408 (.8)
	合計	17818 (100.0)	18034 (100.0)	18039 (100.0)	53891 (100.0)
( $\chi^2 = 33.906$ , $df = 6$ , $p < 0.001$ )					

表 9 「シンナー遊び」についてどう思いますか？（法の遵守）

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	法律で禁止されているからすべきではない	26526 (97.6)	117 (66.1)	109 (58.3)	26752 (97.1)
	法律で禁止されてはいるが少々なら構わない	340 (1.3)	30 (16.9)	2 (1.1)	372 (1.4)
	法律で禁止されてはいるが守る必要は全然ない	253 (.9)	28 (15.8)	3 (1.6)	284 (1.0)
	無回答	70 (.3)	2 (1.1)	73 (39.0)	145 (.5)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 724.304, df = 2, p < 0.001$ )					
女性	法律で禁止されているからすべきではない	26216 (98.3)	71 (68.9)	84 (67.7)	26371 (98.1)
	法律で禁止されてはいるが少々なら構わない	288 (1.1)	14 (13.6)	1 (.8)	303 (1.1)
	法律で禁止されてはいるが守る必要は全然ない	110 (.4)	17 (16.5)	3 (2.4)	130 (.5)
	無回答	52 (.2)	1 (1.0)	36 (29.0)	89 (.3)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 716.981, df = 2, p < 0.001$ )					
全体	法律で禁止されているからすべきではない	52772 (97.9)	189 (66.8)	194 (62.2)	53155 (97.6)
	法律で禁止されてはいるが少々なら構わない	630 (1.2)	44 (15.5)	3 (1.0)	677 (1.2)
	法律で禁止されてはいるが守る必要は全然ない	364 (.7)	47 (16.6)	6 (1.9)	417 (.8)
	無回答	125 (.2)	3 (1.1)	109 (34.9)	237 (.4)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 1449.565, df = 2, p < 0.001$ )					

表 10 法律で「シンナー遊び」を禁止しているのをどう思いますか？（法規則の必要性）

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	当然だと思う	25334 (93.2)	111 (62.7)	106 (56.7)	25551 (92.7)
	仕方がないことだと思う	1017 (3.7)	28 (15.8)	6 (3.2)	1051 (3.8)
	麻薬・覚せい剤と違ってシンナーくらい禁止しなくてもいい	82 (.3)	14 (7.9)	0 (.0)	96 (.3)
	法律で決める必要はなく個人の自由	695 (2.6)	23 (13.0)	5 (2.7)	723 (2.6)
	無回答	61 (.2)	1 (.6)	70 (37.4)	132 (.5)
合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)	
( $\chi^2 = 449.443, df = 3, p < 0.001$ )					
女性	当然だと思う	25280 (94.8)	59 (57.3)	77 (62.1)	25416 (94.5)
	仕方がないことだと思う	881 (3.3)	12 (11.7)	5 (4.0)	898 (3.3)
	麻薬・覚せい剤と違ってシンナーくらい禁止しなくてもいい	76 (.3)	10 (9.7)	1 (.8)	87 (.3)
	法律で決める必要はなく個人の自由	385 (1.4)	21 (20.4)	4 (3.2)	410 (1.5)
	無回答	44 (.2)	1 (1.0)	37 (29.8)	82 (.3)
合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)	
( $\chi^2 = 567.645, df = 3, p < 0.001$ )					
全体	当然だと思う	50644 (94.0)	171 (60.4)	184 (59.0)	50999 (93.6)
	仕方がないことだと思う	1899 (3.5)	40 (14.1)	11 (3.5)	1950 (3.6)
	麻薬・覚せい剤と違ってシンナーくらい禁止しなくてもいい	160 (.3)	25 (8.8)	1 (.3)	186 (.3)
	法律で決める必要はなく個人の自由	1082 (2.0)	45 (15.9)	9 (2.9)	1136 (2.1)
	無回答	106 (.2)	2 (.7)	107 (34.3)	215 (.4)
合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)	
( $\chi^2 = 989.362, df = 3, p < 0.001$ )					

表 11 「シンナー遊び」をしている人についてどう思いますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	自分には無関係の人	26611 (97.9)	113 (63.8)	109 (58.3)	26833 (97.4)
	シンナー遊びをする気持ちが理解できる気がする	353 (1.3)	33 (18.6)	1 (.5)	387 (1.4)
	親しみを感じる	81 (.3)	30 (16.9)	0 (.0)	111 (.4)
	無回答	144 (.5)	1 (.6)	77 (41.2)	222 (.8)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 1598.622$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					
女性	自分には無関係の人	26021 (97.6)	63 (61.2)	79 (63.7)	26163 (97.3)
	シンナー遊びをする気持ちが理解できる気がする	510 (1.9)	19 (18.4)	1 (.8)	530 (2.0)
	親しみを感じる	34 (.1)	18 (17.5)	0 (.0)	52 (.2)
	無回答	101 (.4)	3 (2.9)	44 (35.5)	148 (.6)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 1790.691$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					
全体	自分には無関係の人	52662 (97.7)	178 (62.9)	188 (60.3)	53028 (97.3)
	シンナー遊びをする気持ちが理解できる気がする	866 (1.6)	52 (18.4)	2 (.6)	920 (1.7)
	親しみを感じる	116 (.2)	49 (17.3)	0 (.0)	165 (.3)
	無回答	247 (.5)	4 (1.4)	122 (39.1)	373 (.7)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 3235.327$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					

表 12 「シンナー遊び」をしている人と親しくなることについてどう思いますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	親しくなりたくない	22131 (81.4)	81 (45.8)	78 (41.7)	22290 (80.9)
	シンナー遊びだけで決めたくない	4873 (17.9)	65 (36.7)	27 (14.4)	4965 (18.0)
	すでに親しい	67 (.2)	29 (16.4)	0 (.0)	96 (.3)
	無回答	118 (.4)	2 (1.1)	82 (43.9)	202 (.7)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 1376.965$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					
女性	親しくなりたくない	21440 (80.4)	47 (45.6)	55 (44.4)	21542 (80.1)
	シンナー遊びだけで決めたくない	5083 (19.1)	32 (31.1)	23 (18.5)	5138 (19.1)
	すでに親しい	49 (.2)	23 (22.3)	2 (1.6)	74 (.3)
	無回答	94 (.4)	1 (1.0)	44 (35.5)	139 (.5)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 1905.897$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					
全体	親しくなりたくない	43595 (80.9)	129 (45.6)	133 (42.6)	43857 (80.5)
	シンナー遊びだけで決めたくない	9967 (18.5)	98 (34.6)	51 (16.3)	10116 (18.6)
	すでに親しい	116 (.2)	53 (18.7)	2 (.6)	171 (.3)
	無回答	213 (.4)	3 (1.1)	126 (40.4)	342 (.6)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 3196.856$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					

表 13 「シンナー遊び」による急性中毒死を知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	知っている	15122 (55.6)	94 (53.1)	75 (40.1)	15291 (55.5)
	知らない	12039 (44.3)	83 (46.9)	48 (25.7)	12170 (44.2)
	無回答	28 (.1)	0 (.0)	64 (34.2)	92 (.3)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 0.470, df = 1, p = 0.493$ )					
女性	知っている	16303 (61.1)	54 (52.4)	49 (39.5)	16406 (61.0)
	知らない	10348 (38.8)	48 (46.6)	43 (34.7)	10439 (38.8)
	無回答	15 (.1)	1 (1.0)	32 (25.8)	48 (.2)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 2.897, df = 1, p = 0.089$ )					
全体	知っている	31449 (58.4)	149 (52.7)	125 (40.1)	31723 (58.2)
	知らない	22399 (41.6)	132 (46.6)	91 (29.2)	22622 (41.5)
	無回答	43 (.1)	2 (.7)	96 (30.8)	141 (.3)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 3.328, df = 1, p = 0.068$ )					

表 14 「シンナー遊び」を繰り返すと歯がぼろぼろになりやすいことを知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	知っている	18066 (66.4)	106 (59.9)	81 (43.3)	18253 (66.2)
	知らない	9092 (33.4)	71 (40.1)	42 (22.5)	9205 (33.4)
	無回答	31 (.1)	0 (.0)	64 (34.2)	95 (.3)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 3.474, df = 1, p = 0.062$ )					
女性	知っている	19276 (72.3)	64 (62.1)	61 (49.2)	19401 (72.1)
	知らない	7375 (27.7)	38 (36.9)	32 (25.8)	7445 (27.7)
	無回答	15 (.1)	1 (1.0)	31 (25.0)	47 (.2)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 4.658, df = 1, p = 0.031$ )					
全体	知っている	37367 (69.3)	171 (60.4)	143 (45.8)	37681 (69.2)
	知らない	16478 (30.6)	110 (38.9)	74 (23.7)	16662 (30.6)
	無回答	46 (.1)	2 (.7)	95 (30.4)	143 (.3)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 9.599, df = 1, p = 0.002$ )					

表 15 「シンナー遊び」を繰り返すと多発神経炎になることがあるのを知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	知っている	16186 (59.5)	88 (49.7)	76 (40.6)	16350 (59.3)
	知らない	10984 (40.4)	89 (50.3)	47 (25.1)	11120 (40.4)
	無回答	19 (.1)	0 (.0)	64 (34.2)	83 (.3)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 7.089, df = 1, p = 0.008$ )					
女性	知っている	17236 (64.6)	59 (57.3)	52 (41.9)	17347 (64.5)
	知らない	9421 (35.3)	43 (41.7)	41 (33.1)	9505 (35.3)
	無回答	9 (.0)	1 (1.0)	31 (25.0)	41 (.2)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 2.065, df = 1, p = 0.151$ )					
全体	知っている	33443 (62.1)	148 (52.3)	129 (41.3)	33720 (61.9)
	知らない	20420 (37.9)	133 (47.0)	88 (28.2)	20641 (37.9)
	無回答	28 (.1)	2 (.7)	95 (30.4)	125 (.2)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 10.533, df = 1, p = 0.001$ )					

表 16 「シンナー遊び」を繰り返すと精神病状態になることがあるのを知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			
		経験なし	経験あり	無回答	合計
男性	知っている	20922 (77.0)	119 (67.2)	124 (66.3)	21165 (76.8)
	知らない	6059 (22.3)	56 (31.6)	43 (23.0)	6158 (22.3)
	無回答	208 (.8)	2 (1.1)	20 (10.7)	230 (.8)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
		$(\chi^2 = 9.076, df = 1, p = 0.003)$			
女性	知っている	22478 (84.3)	70 (68.0)	85 (68.5)	22633 (84.2)
	知らない	4067 (15.3)	29 (28.2)	32 (25.8)	4128 (15.3)
	無回答	121 (.5)	4 (3.9)	7 (5.6)	132 (.5)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
		$(\chi^2 = 14.800, df = 1, p < 0.001)$			
全体	知っている	43427 (80.6)	190 (67.1)	210 (67.3)	43827 (80.4)
	知らない	10134 (18.8)	86 (30.4)	75 (24.0)	10295 (18.9)
	無回答	330 (.6)	7 (2.5)	27 (8.7)	364 (.7)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
		$(\chi^2 = 26.744, df = 1, p < 0.001)$			

表 17 「シンナー遊び」を繰り返すと無動機症候群になることがあるのを知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			
		経験なし	経験あり	無回答	合計
男性	知っている	13980 (51.4)	84 (47.5)	89 (47.6)	14153 (51.4)
	知らない	12767 (47.0)	84 (47.5)	77 (41.2)	12928 (46.9)
	無回答	442 (1.6)	9 (5.1)	21 (11.2)	472 (1.7)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
		$(\chi^2 = 0.344, df = 1, p = 0.557)$			
女性	知っている	15221 (57.1)	55 (53.4)	48 (38.7)	15324 (57.0)
	知らない	11223 (42.1)	45 (43.7)	68 (54.8)	11336 (42.2)
	無回答	222 (.8)	3 (2.9)	8 (6.5)	233 (.9)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
		$(\chi^2 = 0.267, df = 1, p = 0.605)$			
全体	知っている	29221 (54.2)	140 (49.5)	138 (44.2)	29499 (54.1)
	知らない	24004 (44.5)	130 (45.9)	145 (46.5)	24279 (44.6)
	無回答	666 (1.2)	13 (4.6)	29 (9.3)	708 (1.3)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
		$(\chi^2 = 1.009, df = 1, p = 0.315)$			

表 18 「シンナー遊び」の結果、フラッシュバックが起こることがあるのを知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			
		経験なし	経験あり	無回答	合計
男性	知っている	16547 (60.9)	101 (57.1)	105 (56.1)	16753 (60.8)
	知らない	10340 (38.0)	72 (40.7)	61 (32.6)	10473 (38.0)
	無回答	302 (1.1)	4 (2.3)	21 (11.2)	327 (1.2)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
		$(\chi^2 = 0.726, df = 1, p = 0.394)$			
女性	知っている	17595 (66.0)	58 (56.3)	60 (48.4)	17713 (65.9)
	知らない	8913 (33.4)	42 (40.8)	57 (46.0)	9012 (33.5)
	無回答	158 (.6)	3 (2.9)	7 (5.6)	168 (.6)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
		$(\chi^2 = 3.130, df = 1, p = 0.077)$			
全体	知っている	34164 (63.4)	160 (56.5)	166 (53.2)	34490 (63.3)
	知らない	19265 (35.7)	115 (40.6)	118 (37.8)	19498 (35.8)
	無回答	462 (.9)	8 (2.8)	28 (9.0)	498 (.9)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
		$(\chi^2 = 3.937, df = 1, p = 0.047)$			

表 19 あなたの起床時間はほぼ一定していますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	はい	22807 (83.9)	127 (71.8)	151 (80.7)	23085 (83.8)
	いいえ	4339 (16.0)	49 (27.7)	36 (19.3)	4424 (16.1)
	無回答	43 (.2)	1 (.6)	0 (.0)	44 (.2)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
$(\chi^2 = 18.236, df = 1, p < 0.001)$					
女性	はい	22784 (85.4)	57 (55.3)	97 (78.2)	22938 (85.3)
	いいえ	3847 (14.4)	45 (43.7)	27 (21.8)	3919 (14.6)
	無回答	35 (.1)	1 (1.0)	0 (.0)	36 (.1)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
$(\chi^2 = 71.919, df = 1, p < 0.001)$					
全体	はい	45613 (84.6)	184 (65.0)	249 (79.8)	46046 (84.5)
	いいえ	8194 (15.2)	96 (33.9)	63 (20.2)	8353 (15.3)
	無回答	84 (.2)	3 (1.1)	0 (.0)	87 (.2)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
$(\chi^2 = 77.950, df = 1, p < 0.001)$					

表 20 あなたの就寝時間はほぼ一定していますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	はい	16430 (60.4)	80 (45.2)	102 (54.5)	16612 (60.3)
	いいえ	10674 (39.3)	95 (53.7)	84 (44.9)	10853 (39.4)
	無回答	85 (.3)	2 (1.1)	1 (.5)	88 (.3)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
$(\chi^2 = 16.165, df = 1, p < 0.001)$					
女性	はい	15673 (58.8)	33 (32.0)	65 (52.4)	15771 (58.6)
	いいえ	10892 (40.8)	69 (67.0)	56 (45.2)	11017 (41.0)
	無回答	101 (.4)	1 (1.0)	3 (2.4)	105 (.4)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
$(\chi^2 = 29.801, df = 1, p < 0.001)$					
全体	はい	32120 (59.6)	113 (39.9)	168 (53.8)	32401 (59.5)
	いいえ	21579 (40.0)	166 (58.7)	140 (44.9)	21885 (40.2)
	無回答	192 (.4)	4 (1.4)	4 (1.3)	200 (.4)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
$(\chi^2 = 43.036, df = 1, p < 0.001)$					

表 21 毎朝、朝食を食べていますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	ほとんど毎日食べている	24306 (89.4)	137 (77.4)	159 (85.0)	24602 (89.3)
	時々食べる	1919 (7.1)	25 (14.1)	19 (10.2)	1963 (7.1)
	ほとんど食べない	909 (3.3)	14 (7.9)	8 (4.3)	931 (3.4)
	無回答	55 (.2)	1 (.6)	1 (.5)	57 (.2)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
$(\chi^2 = 26.157, df = 2, p < 0.001)$					
女性	ほとんど毎日食べている	24109 (90.4)	59 (57.3)	100 (80.6)	24268 (90.2)
	時々食べる	1811 (6.8)	18 (17.5)	20 (16.1)	1849 (6.9)
	ほとんど食べない	700 (2.6)	25 (24.3)	3 (2.4)	728 (2.7)
	無回答	46 (.2)	1 (1.0)	1 (.8)	48 (.2)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
$(\chi^2 = 208.785, df = 2, p < 0.001)$					
全体	ほとんど毎日食べている	48438 (89.9)	197 (69.6)	260 (83.3)	48895 (89.7)
	時々食べる	3735 (6.9)	43 (15.2)	39 (12.5)	3817 (7.0)
	ほとんど食べない	1611 (3.0)	39 (13.8)	11 (3.5)	1661 (3.0)
	無回答	107 (.2)	4 (1.4)	2 (.6)	113 (.2)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
$(\chi^2 = 149.858, df = 2, p < 0.001)$					

表 22 あなたにとって、学校生活は次のどれですか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	とても楽しい	12959 (47.7)	73 (41.2)	70 (37.4)	13102 (47.6)
	どちらかといえば楽しい	11297 (41.5)	68 (38.4)	90 (48.1)	11455 (41.6)
	あまり楽しくない	2211 (8.1)	16 (9.0)	19 (10.2)	2246 (8.2)
	まったく楽しくない	671 (2.5)	19 (10.7)	7 (3.7)	697 (2.5)
	無回答	51 (.2)	1 (.6)	1 (.5)	53 (.2)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 49.961$ , $df = 3$ , $p < 0.001$ )					
女性	とても楽しい	12793 (48.0)	29 (28.2)	56 (45.2)	12878 (47.9)
	どちらかといえば楽しい	10868 (40.8)	33 (32.0)	52 (41.9)	10953 (40.7)
	あまり楽しくない	2412 (9.0)	17 (16.5)	9 (7.3)	2438 (9.1)
	まったく楽しくない	549 (2.1)	22 (21.4)	7 (5.6)	578 (2.1)
	無回答	44 (.2)	2 (1.9)	0 (.0)	46 (.2)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 199.290$ , $df = 3$ , $p < 0.001$ )					
全体	とても楽しい	25763 (47.8)	103 (36.4)	126 (40.4)	25992 (47.7)
	どちらかといえば楽しい	22172 (41.1)	101 (35.7)	142 (45.5)	22415 (41.1)
	あまり楽しくない	4630 (8.6)	33 (11.7)	28 (9.0)	4691 (8.6)
	まったく楽しくない	1226 (2.3)	42 (14.8)	14 (4.5)	1282 (2.4)
	無回答	100 (.2)	4 (1.4)	2 (.6)	106 (.2)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 205.173$ , $df = 3$ , $p < 0.001$ )					

表 23 クラブ活動（部活）には参加していますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	積極的に参加している	20009 (73.6)	100 (56.5)	131 (70.1)	20240 (73.5)
	消極的に参加している	2494 (9.2)	19 (10.7)	19 (10.2)	2532 (9.2)
	参加していない	4473 (16.5)	54 (30.5)	35 (18.7)	4562 (16.6)
	無回答	213 (.8)	4 (2.3)	2 (1.1)	219 (.8)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
	( $\chi^2 = 28.852$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )				
女性	積極的に参加している	19635 (73.6)	46 (44.7)	95 (76.6)	19776 (73.5)
	消極的に参加している	2309 (8.7)	14 (13.6)	6 (4.8)	2329 (8.7)
	参加していない	4523 (17.0)	43 (41.7)	21 (16.9)	4587 (17.1)
	無回答	199 (.7)	0 (.0)	2 (1.6)	201 (.7)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
	( $\chi^2 = 51.159$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )				
全体	積極的に参加している	39662 (73.6)	147 (51.9)	226 (72.4)	40035 (73.5)
	消極的に参加している	4806 (8.9)	33 (11.7)	25 (8.0)	4864 (8.9)
	参加していない	9005 (16.7)	98 (34.6)	56 (17.9)	9159 (16.8)
	無回答	418 (.8)	5 (1.8)	5 (1.6)	428 (.8)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
	( $\chi^2 = 74.843$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )				



表 24 夕食を週何回くらい家族全員で食べますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	ほとんど毎日	12937 (47.6)	75 (42.4)	84 (44.9)	13096 (47.5)
	5 - 6回	2859 (10.5)	15 (8.5)	23 (12.3)	2897 (10.5)
	4回前後	2803 (10.3)	17 (9.6)	9 (4.8)	2829 (10.3)
	3回前後	2170 (8.0)	10 (5.6)	19 (10.2)	2199 (8.0)
	2回前後	3366 (12.4)	27 (15.3)	17 (9.1)	3410 (12.4)
	ほとんど食べない	2986 (11.0)	33 (18.6)	31 (16.6)	3050 (11.1)
	無回答	68 (.3)	0 (.0)	4 (2.1)	72 (.3)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 13.480$ , $df = 5$ , $p = 0.019$ )					
女性	ほとんど毎日	12348 (46.3)	33 (32.0)	62 (50.0)	12443 (46.3)
	5 - 6回	2906 (10.9)	9 (8.7)	18 (14.5)	2933 (10.9)
	4回前後	2536 (9.5)	5 (4.9)	8 (6.5)	2549 (9.5)
	3回前後	2184 (8.2)	6 (5.8)	5 (4.0)	2195 (8.2)
	2回前後	3592 (13.5)	15 (14.6)	17 (13.7)	3624 (13.5)
	ほとんど食べない	3016 (11.3)	35 (34.0)	12 (9.7)	3063 (11.4)
	無回答	84 (.3)	0 (.0)	2 (1.6)	86 (.3)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 54.186$ , $df = 5$ , $p < 0.001$ )					
全体	ほとんど毎日	25296 (46.9)	110 (38.9)	147 (47.1)	25553 (46.9)
	5 - 6回	5768 (10.7)	24 (8.5)	41 (13.1)	5833 (10.7)
	4回前後	5340 (9.9)	22 (7.8)	17 (5.4)	5379 (9.9)
	3回前後	4355 (8.1)	16 (5.7)	24 (7.7)	4395 (8.1)
	2回前後	6963 (12.9)	42 (14.8)	34 (10.9)	7039 (12.9)
	ほとんど食べない	6014 (11.2)	68 (24.0)	43 (13.8)	6125 (11.2)
	無回答	155 (.3)	1 (.4)	6 (1.9)	162 (.3)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 50.925$ , $df = 5$ , $p < 0.001$ )					

表 25 大人が不在の状態、毎日平均どの程度の時間を過ごしますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	なし、あるいはほとんどなし	8755 (32.2)	45 (25.4)	52 (27.8)	8852 (32.1)
	1時間未満	6179 (22.7)	39 (22.0)	47 (25.1)	6265 (22.7)
	1時間以上2時間未満	5786 (21.3)	31 (17.5)	31 (16.6)	5848 (21.2)
	2時間以上3時間未満	3172 (11.7)	23 (13.0)	20 (10.7)	3215 (11.7)
	3時間以上	3109 (11.4)	38 (21.5)	31 (16.6)	3178 (11.5)
	無回答	188 (.7)	1 (.6)	6 (3.2)	195 (.7)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
	( $\chi^2 = 19.360$ , $df = 4$ , $p = 0.001$ )				
女性	なし、あるいはほとんどなし	10400 (39.0)	26 (25.2)	45 (36.3)	10471 (38.9)
	1時間未満	4902 (18.4)	13 (12.6)	19 (15.3)	4934 (18.3)
	1時間以上2時間未満	4993 (18.7)	17 (16.5)	27 (21.8)	5037 (18.7)
	2時間以上3時間未満	3081 (11.6)	14 (13.6)	12 (9.7)	3107 (11.6)
	3時間以上	3097 (11.6)	30 (29.1)	16 (12.9)	3143 (11.7)
	無回答	193 (.7)	3 (2.9)	5 (4.0)	201 (.7)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
	( $\chi^2 = 35.137$ , $df = 4$ , $p < 0.001$ )				
全体	なし、あるいはほとんどなし	19160 (35.6)	71 (25.1)	97 (31.1)	19328 (35.5)
	1時間未満	11085 (20.6)	52 (18.4)	66 (21.2)	11203 (20.6)
	1時間以上2時間未満	10788 (20.0)	48 (17.0)	59 (18.9)	10895 (20.0)
	2時間以上3時間未満	6257 (11.6)	37 (13.1)	32 (10.3)	6326 (11.6)
	3時間以上	6217 (11.5)	69 (24.4)	47 (15.1)	6333 (11.6)
	無回答	384 (.7)	6 (2.1)	11 (3.5)	401 (.7)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
	( $\chi^2 = 51.884$ , $df = 4$ , $p < 0.001$ )				

表 26 悩み事があるとき、親と相談する方だと思いますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	よく相談する	3959 (14.6)	16 (9.0)	26 (13.9)	4001 (14.5)
	どちらかといえば相談する	7239 (26.6)	39 (22.0)	49 (26.2)	7327 (26.6)
	どちらかといえば相談しない	6584 (24.2)	40 (22.6)	55 (29.4)	6679 (24.2)
	ほとんど相談しない	9212 (33.9)	73 (41.2)	53 (28.3)	9338 (33.9)
	親がいない	143 (.5)	6 (3.4)	3 (1.6)	152 (.6)
	無回答	52 (.2)	3 (1.7)	1 (.5)	56 (.2)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 35.055$ , $df = 4$ , $p < 0.001$ )					
女性	よく相談する	6708 (25.2)	14 (13.6)	27 (21.8)	6749 (25.1)
	どちらかといえば相談する	8399 (31.5)	20 (19.4)	40 (32.3)	8459 (31.5)
	どちらかといえば相談しない	5061 (19.0)	20 (19.4)	18 (14.5)	5099 (19.0)
	ほとんど相談しない	6341 (23.8)	34 (33.0)	35 (28.2)	6410 (23.8)
	親がいない	117 (.4)	15 (14.6)	2 (1.6)	134 (.5)
	無回答	40 (.2)	0 (.0)	2 (1.6)	42 (.2)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 428.371$ , $df = 4$ , $p < 0.001$ )					
全体	よく相談する	10672 (19.8)	30 (10.6)	53 (17.0)	10755 (19.7)
	どちらかといえば相談する	15643 (29.0)	59 (20.8)	89 (28.5)	15791 (29.0)
	どちらかといえば相談しない	11654 (21.6)	60 (21.2)	74 (23.7)	11788 (21.6)
	ほとんど相談しない	15564 (28.9)	108 (38.2)	88 (28.2)	15760 (28.9)
	親がいない	262 (.5)	22 (7.8)	5 (1.6)	289 (.5)
	無回答	96 (.2)	4 (1.4)	3 (1.0)	103 (.2)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 316.009$ , $df = 4$ , $p < 0.001$ )					

表 27 親しく遊べる友人がいますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	いる	26237 (96.5)	164 (92.7)	175 (93.6)	26576 (96.5)
	いない	833 (3.1)	11 (6.2)	10 (5.3)	854 (3.1)
	無回答	119 (.4)	2 (1.1)	2 (1.1)	123 (.4)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 5.963$ , $df = 1$ , $p = 0.015$ )					
女性	いる	25870 (97.0)	84 (81.6)	117 (94.4)	26071 (96.9)
	いない	707 (2.7)	19 (18.4)	5 (4.0)	731 (2.7)
	無回答	89 (.3)	0 (.0)	2 (1.6)	91 (.3)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 96.595$ , $df = 1$ , $p < 0.001$ )					
全体	いる	52138 (96.7)	250 (88.3)	293 (93.9)	52681 (96.7)
	いない	1542 (2.9)	31 (11.0)	15 (4.8)	1588 (2.9)
	無回答	211 (.4)	2 (.7)	4 (1.3)	217 (.4)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 65.760$ , $df = 1$ , $p < 0.001$ )					

表 28 相談事のできる友人がいますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	いる	23181 (85.3)	138 (78.0)	155 (82.9)	23474 (85.2)
	いない	3665 (13.5)	36 (20.3)	28 (15.0)	3729 (13.5)
	無回答	343 (1.3)	3 (1.7)	4 (2.1)	350 (1.3)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
$(\chi^2 = 7.243, df = 1, p = 0.007)$					
女性	いる	24236 (90.9)	72 (69.9)	111 (89.5)	24419 (90.8)
	いない	2141 (8.0)	30 (29.1)	8 (6.5)	2179 (8.1)
	無回答	289 (1.1)	1 (1.0)	5 (4.0)	295 (1.1)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
$(\chi^2 = 61.216, df = 1, p < 0.001)$					
全体	いる	47441 (88.0)	212 (74.9)	267 (85.6)	47920 (87.9)
	いない	5815 (10.8)	67 (23.7)	36 (11.5)	5918 (10.9)
	無回答	635 (1.2)	4 (1.4)	9 (2.9)	648 (1.2)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
$(\chi^2 = 48.667, df = 1, p < 0.001)$					

表 29 喫煙の生涯経験率

		1年	2年	3年	合計
		男性	喫煙経験なし	8846 (95.8)	8535 (93.4)
喫煙経験あり	335 (3.6)		561 (6.1)	897 (9.8)	1793 (6.5)
無回答	56 (.6)		45 (.5)	46 (.5)	147 (.5)
合計	9237 (100.0)		9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
$(\chi^2 = 288.775, df = 2, p < 0.001)$					
女性	喫煙経験なし	8569 (97.8)	8724 (96.3)	8576 (94.5)	25869 (96.2)
	喫煙経験あり	174 (2.0)	300 (3.3)	469 (5.2)	943 (3.5)
	無回答	17 (.2)	33 (.4)	31 (.3)	81 (.3)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
$(\chi^2 = 135.226, df = 2, p < 0.001)$					
全体	喫煙経験なし	17423 (96.8)	17271 (94.8)	16817 (92.1)	51511 (94.5)
	喫煙経験あり	510 (2.8)	865 (4.7)	1371 (7.5)	2746 (5.0)
	無回答	73 (.4)	78 (.4)	78 (.4)	229 (.4)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
$(\chi^2 = 418.895, df = 2, p < 0.001)$					

表 30 喫煙の1年経験率

		1年	2年	3年	合計
		男性	経験なし	9072 (98.2)	8848 (96.8)
経験あり	126 (1.4)		261 (2.9)	447 (4.9)	834 (3.0)
無回答	39 (.4)		32 (.4)	27 (.3)	98 (.4)
合計	9237 (100.0)		9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
$(\chi^2 = 193.924, df = 2, p < 0.001)$					
女性	経験なし	8700 (99.3)	8902 (98.3)	8831 (97.3)	26433 (98.3)
	経験あり	54 (.6)	134 (1.5)	226 (2.5)	414 (1.5)
	無回答	6 (.1)	21 (.2)	19 (.2)	46 (.2)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
$(\chi^2 = 103.767, df = 2, p < 0.001)$					
全体	経験なし	17780 (98.7)	17762 (97.5)	17543 (96.0)	53085 (97.4)
	経験あり	180 (1.0)	399 (2.2)	676 (3.7)	1255 (2.3)
	無回答	46 (.3)	53 (.3)	47 (.3)	146 (.3)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
$(\chi^2 = 295.536, df = 2, p < 0.001)$					

表 31 未成年の喫煙をどう思いますか？（法の遵守）

		生涯喫煙経験			合計
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	
男性	法律で禁じられているから吸うべきではない	23977 (93.6)	1045 (58.3)	94 (63.9)	25116 (91.2)
	法律で禁じられてはいるが少々なら構わない	1053 (4.1)	486 (27.1)	11 (7.5)	1550 (5.6)
	法律で禁じられてはいるが全然構わない	508 (2.0)	254 (14.2)	5 (3.4)	767 (2.8)
	無回答	75 (.3)	8 (.4)	37 (25.2)	120 (.4)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 2704.967, df = 2, p < 0.001$ )					
女性	法律で禁じられているから吸うべきではない	24702 (95.5)	530 (56.2)	52 (64.2)	25284 (94.0)
	法律で禁じられてはいるが少々なら構わない	878 (3.4)	291 (30.9)	8 (9.9)	1177 (4.4)
	法律で禁じられてはいるが全然構わない	242 (.9)	115 (12.2)	4 (4.9)	361 (1.3)
	無回答	47 (.2)	7 (.7)	17 (21.0)	71 (.3)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 2603.193, df = 2, p < 0.001$ )					
全体	法律で禁じられているから吸うべきではない	48701 (94.5)	1579 (57.5)	147 (64.2)	50427 (92.6)
	法律で禁じられてはいるが少々なら構わない	1935 (3.8)	779 (28.4)	19 (8.3)	2733 (5.0)
	法律で禁じられてはいるが全然構わない	751 (1.5)	373 (13.6)	9 (3.9)	1133 (2.1)
	無回答	124 (.2)	15 (.5)	54 (23.6)	193 (.4)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 5408.230, df = 2, p < 0.001$ )					

表 32 未成年の喫煙禁止をどう思いますか？（法規制の必要性）

		生涯喫煙経験			合計
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	
男性	当然だと思う	20682 (80.7)	701 (39.1)	82 (55.8)	21465 (77.9)
	仕方がないことだと思う	3411 (13.3)	610 (34.0)	16 (10.9)	4037 (14.7)
	成人が吸えて未成年者が吸えないのはおかしい	231 (.9)	137 (7.6)	0 (.0)	368 (1.3)
	法律で決める必要はなく個人の自由	1198 (4.7)	332 (18.5)	10 (6.8)	1540 (5.6)
	無回答	91 (.4)	13 (.7)	39 (26.5)	143 (.5)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 2010.212, df = 3, p < 0.001$ )					
女性	当然だと思う	21706 (83.9)	325 (34.5)	46 (56.8)	22077 (82.1)
	仕方がないことだと思う	3074 (11.9)	329 (34.9)	14 (17.3)	3417 (12.7)
	成人が吸えて未成年者が吸えないのはおかしい	211 (.8)	77 (8.2)	2 (2.5)	290 (1.1)
	法律で決める必要はなく個人の自由	808 (3.1)	204 (21.6)	2 (2.5)	1014 (3.8)
	無回答	70 (.3)	8 (.8)	17 (21.0)	95 (.4)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 1943.954, df = 3, p < 0.001$ )					
全体	当然だと思う	42407 (82.3)	1030 (37.5)	129 (56.3)	43566 (80.0)
	仕方がないことだと思う	6490 (12.6)	941 (34.3)	30 (13.1)	7461 (13.7)
	成人が吸えて未成年者が吸えないのはおかしい	443 (.9)	215 (7.8)	2 (.9)	660 (1.2)
	法律で決める必要はなく個人の自由	2009 (3.9)	539 (19.6)	12 (5.2)	2560 (4.7)
	無回答	162 (.3)	21 (.8)	56 (24.5)	239 (.4)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 3981.474, df = 3, p < 0.001$ )					

表 33 健康面から喫煙をどう思いますか？

		生涯喫煙経験			合計
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	
男性	害ばかりで良い面はない	21869 (85.4)	1138 (63.5)	93 (63.3)	23100 (83.8)
	害もあるが良い面もある	2473 (9.7)	502 (28.0)	14 (9.5)	2989 (10.8)
	害よりも良い面の方が多い	176 (.7)	75 (4.2)	2 (1.4)	253 (.9)
	無回答	1095 (4.3)	78 (4.4)	38 (25.9)	1211 (4.4)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 839.378, df = 2, p < 0.001$ )					
女性	害ばかりで良い面はない	23323 (90.2)	603 (63.9)	49 (60.5)	23975 (89.1)
	害もあるが良い面もある	1844 (7.1)	269 (28.5)	11 (13.6)	2124 (7.9)
	害よりも良い面の方が多い	87 (.3)	33 (3.5)	2 (2.5)	122 (.5)
	無回答	615 (2.4)	38 (4.0)	19 (23.5)	672 (2.5)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 814.640, df = 2, p < 0.001$ )					
全体	害ばかりで良い面はない	45214 (87.8)	1744 (63.5)	143 (62.4)	47101 (86.4)
	害もあるが良い面もある	4320 (8.4)	772 (28.1)	25 (10.9)	5117 (9.4)
	害よりも良い面の方が多い	265 (.5)	113 (4.1)	4 (1.7)	382 (.7)
	無回答	1712 (3.3)	117 (4.3)	57 (24.9)	1886 (3.5)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 1758.622, df = 2, p < 0.001$ )					

表 34 起床時間は一定していますか？

		生涯喫煙経験			合計
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	
男性	はい	21713 (84.8)	1248 (69.6)	124 (84.4)	23085 (83.8)
	いいえ	3859 (15.1)	542 (30.2)	23 (15.6)	4424 (16.1)
	無回答	41 (.2)	3 (.2)	0 (.0)	44 (.2)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 285.930, df = 1, p < 0.001$ )					
女性	はい	22258 (86.0)	620 (65.7)	60 (74.1)	22938 (85.3)
	いいえ	3578 (13.8)	320 (33.9)	21 (25.9)	3919 (14.6)
	無回答	33 (.1)	3 (.3)	0 (.0)	36 (.1)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 297.351, df = 1, p < 0.001$ )					
全体	はい	43991 (85.4)	1870 (68.1)	185 (80.8)	46046 (84.5)
	いいえ	7442 (14.4)	867 (31.6)	44 (19.2)	8353 (15.3)
	無回答	78 (.2)	9 (.3)	0 (.0)	87 (.2)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 592.556, df = 1, p < 0.001$ )					

表 35 就寝時間は一定していますか？

		生涯喫煙経験			合計
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	
男性	はい	15732 (61.4)	797 (44.5)	83 (56.5)	16612 (60.3)
	いいえ	9799 (38.3)	990 (55.2)	64 (43.5)	10853 (39.4)
	無回答	82 (.3)	6 (.3)	0 (.0)	88 (.3)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 202.441, df = 1, p < 0.001$ )					
女性	はい	15426 (59.6)	311 (33.0)	34 (42.0)	15771 (58.6)
	いいえ	10347 (40.0)	623 (66.1)	47 (58.0)	11017 (41.0)
	無回答	96 (.4)	9 (1.0)	0 (.0)	105 (.4)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 262.617, df = 1, p < 0.001$ )					
全体	はい	31173 (60.5)	1110 (40.4)	118 (51.5)	32401 (59.5)
	いいえ	20156 (39.1)	1618 (58.9)	111 (48.5)	21885 (40.2)
	無回答	182 (.4)	18 (.7)	0 (.0)	200 (.4)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 432.569, df = 1, p < 0.001$ )					

表 36 毎朝、朝食を食べますか？

		生涯喫煙経験			
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	合計
男性	ほとんど毎日食べている	23200 (90.6)	1278 (71.3)	124 (84.4)	24602 (89.3)
	時々食べる	1634 (6.4)	312 (17.4)	17 (11.6)	1963 (7.1)
	ほとんど食べない	728 (2.8)	198 (11.0)	5 (3.4)	931 (3.4)
	無回答	51 (.2)	5 (.3)	1 (.7)	57 (.2)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
					( $\chi^2 = 690.563, df = 2, p < 0.001$ )
女性	ほとんど毎日食べている	23596 (91.2)	604 (64.1)	68 (84.0)	24268 (90.2)
	時々食べる	1641 (6.3)	200 (21.2)	8 (9.9)	1849 (6.9)
	ほとんど食べない	585 (2.3)	138 (14.6)	5 (6.2)	728 (2.7)
	無回答	47 (.2)	1 (.1)	0 (.0)	48 (.2)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
					( $\chi^2 = 883.082, df = 2, p < 0.001$ )
全体	ほとんど毎日食べている	46816 (90.9)	1886 (68.7)	193 (84.3)	48895 (89.7)
	時々食べる	3278 (6.4)	514 (18.7)	25 (10.9)	3817 (7.0)
	ほとんど食べない	1315 (2.6)	336 (12.2)	10 (4.4)	1661 (3.0)
	無回答	102 (.2)	10 (.4)	1 (.4)	113 (.2)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
					( $\chi^2 = 1518.114, df = 2, p < 0.001$ )

表 37 あなたにとって学校生活は？

		生涯喫煙経験			
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	合計
男性	とても楽しい	12352 (48.2)	683 (38.1)	67 (45.6)	13102 (47.6)
	どちらかといえば楽しい	10640 (41.5)	757 (42.2)	58 (39.5)	11455 (41.6)
	あまり楽しくない	2000 (7.8)	230 (12.8)	16 (10.9)	2246 (8.2)
	まったく楽しくない	571 (2.2)	121 (6.7)	5 (3.4)	697 (2.5)
	無回答	50 (.2)	2 (.1)	1 (.7)	53 (.2)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
					( $\chi^2 = 223.607, df = 3, p < 0.001$ )
女性	とても楽しい	12566 (48.6)	281 (29.8)	31 (38.3)	12878 (47.9)
	どちらかといえば楽しい	10517 (40.7)	399 (42.3)	37 (45.7)	10953 (40.7)
	あまり楽しくない	2267 (8.8)	163 (17.3)	8 (9.9)	2438 (9.1)
	まったく楽しくない	476 (1.8)	98 (10.4)	4 (4.9)	578 (2.1)
	無回答	43 (.2)	2 (.2)	1 (1.2)	46 (.2)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
					( $\chi^2 = 451.507, df = 3, p < 0.001$ )
全体	とても楽しい	24928 (48.4)	966 (35.2)	98 (42.8)	25992 (47.7)
	どちらかといえば楽しい	21164 (41.1)	1156 (42.1)	95 (41.5)	22415 (41.1)
	あまり楽しくない	4273 (8.3)	394 (14.3)	24 (10.5)	4691 (8.6)
	まったく楽しくない	1050 (2.0)	223 (8.1)	9 (3.9)	1282 (2.4)
	無回答	96 (.2)	7 (.3)	3 (1.3)	106 (.2)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
					( $\chi^2 = 618.557, df = 3, p < 0.001$ )

表 38 クラブ活動に参加していますか？

		生涯喫煙経験			合計
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	
男性	積極的に参加している	19151 (74.8)	984 (54.9)	105 (71.4)	20240 (73.5)
	消極的に参加している	2232 (8.7)	284 (15.8)	16 (10.9)	2532 (9.2)
	参加していない	4038 (15.8)	500 (27.9)	24 (16.3)	4562 (16.6)
	無回答	192 (.7)	25 (1.4)	2 (1.4)	219 (.8)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 333.388, df = 2, p < 0.001$ )					
女性	積極的に参加している	19296 (74.6)	432 (45.8)	48 (59.3)	19776 (73.5)
	消極的に参加している	2173 (8.4)	154 (16.3)	2 (2.5)	2329 (8.7)
	参加していない	4208 (16.3)	349 (37.0)	30 (37.0)	4587 (17.1)
	無回答	192 (.7)	8 (.8)	1 (1.2)	201 (.7)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 399.086, df = 2, p < 0.001$ )					
全体	積極的に参加している	38462 (74.7)	1420 (51.7)	153 (66.8)	40035 (73.5)
	消極的に参加している	4408 (8.6)	438 (16.0)	18 (7.9)	4864 (8.9)
	参加していない	8253 (16.0)	852 (31.0)	54 (23.6)	9159 (16.8)
	無回答	388 (.8)	36 (1.3)	4 (1.7)	428 (.8)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 699.680, df = 2, p < 0.001$ )					

表 39 週何回、家族全員で夕食を食べますか？

		生涯喫煙経験			合計
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	
男性	ほとんど毎日	12279 (47.9)	747 (41.7)	70 (47.6)	13096 (47.5)
	5-6回	2682 (10.5)	197 (11.0)	18 (12.2)	2897 (10.5)
	4回前後	2641 (10.3)	180 (10.0)	8 (5.4)	2829 (10.3)
	3回前後	2047 (8.0)	142 (7.9)	10 (6.8)	2199 (8.0)
	2回前後	3179 (12.4)	211 (11.8)	20 (13.6)	3410 (12.4)
	ほとんど食べない	2720 (10.6)	310 (17.3)	20 (13.6)	3050 (11.1)
	無回答	65 (.3)	6 (.3)	1 (.7)	72 (.3)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
	( $\chi^2 = 82.498, df = 5, p < 0.001$ )				
女性	ほとんど毎日	12059 (46.6)	341 (36.2)	43 (53.1)	12443 (46.3)
	5-6回	2839 (11.0)	90 (9.5)	4 (4.9)	2933 (10.9)
	4回前後	2452 (9.5)	91 (9.7)	6 (7.4)	2549 (9.5)
	3回前後	2119 (8.2)	68 (7.2)	8 (9.9)	2195 (8.2)
	2回前後	3505 (13.5)	108 (11.5)	11 (13.6)	3624 (13.5)
	ほとんど食べない	2811 (10.9)	243 (25.8)	9 (11.1)	3063 (11.4)
	無回答	84 (.3)	2 (.2)	0 (.0)	86 (.3)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
	( $\chi^2 = 204.453, df = 5, p < 0.001$ )				
全体	ほとんど毎日	24347 (47.3)	1092 (39.8)	114 (49.8)	25553 (46.9)
	5-6回	5524 (10.7)	287 (10.5)	22 (9.6)	5833 (10.7)
	4回前後	5094 (9.9)	271 (9.9)	14 (6.1)	5379 (9.9)
	3回前後	4167 (8.1)	210 (7.6)	18 (7.9)	4395 (8.1)
	2回前後	6688 (13.0)	320 (11.7)	31 (13.5)	7039 (12.9)
	ほとんど食べない	5542 (10.8)	554 (20.2)	29 (12.7)	6125 (11.2)
	無回答	149 (.3)	12 (.4)	1 (.4)	162 (.3)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
	( $\chi^2 = 241.690, df = 5, p < 0.001$ )				

表 40 一日の大人不在の平均時間

		生涯喫煙経験			合計
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	
男性	なし、あるいはほとんどなし	8367 (32.7)	446 (24.9)	39 (26.5)	8852 (32.1)
	1時間未満	5912 (23.1)	324 (18.1)	29 (19.7)	6265 (22.7)
	1時間以上2時間未満	5459 (21.3)	353 (19.7)	36 (24.5)	5848 (21.2)
	2時間以上3時間未満	2947 (11.5)	254 (14.2)	14 (9.5)	3215 (11.7)
	3時間以上	2746 (10.7)	407 (22.7)	25 (17.0)	3178 (11.5)
	無回答	182 (.7)	9 (.5)	4 (2.7)	195 (.7)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 270.860, df = 4, p < 0.001$ )					
女性	なし、あるいはほとんどなし	10211 (39.5)	238 (25.2)	22 (27.2)	10471 (38.9)
	1時間未満	4797 (18.5)	123 (13.0)	14 (17.3)	4934 (18.3)
	1時間以上2時間未満	4873 (18.8)	146 (15.5)	18 (22.2)	5037 (18.7)
	2時間以上3時間未満	2947 (11.4)	148 (15.7)	12 (14.8)	3107 (11.6)
	3時間以上	2859 (11.1)	271 (28.7)	13 (16.0)	3143 (11.7)
	無回答	182 (.7)	17 (1.8)	2 (2.5)	201 (.7)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 329.429, df = 4, p < 0.001$ )					
全体	なし、あるいはほとんどなし	18581 (36.1)	686 (25.0)	61 (26.6)	19328 (35.5)
	1時間未満	10713 (20.8)	447 (16.3)	43 (18.8)	11203 (20.6)
	1時間以上2時間未満	10339 (20.1)	501 (18.2)	55 (24.0)	10895 (20.0)
	2時間以上3時間未満	5898 (11.4)	402 (14.6)	26 (11.4)	6326 (11.6)
	3時間以上	5614 (10.9)	681 (24.8)	38 (16.6)	6333 (11.6)
	無回答	366 (.7)	29 (1.1)	6 (2.6)	401 (.7)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 579.368, df = 4, p < 0.001$ )					

表 41 親と相談するか？

		生涯喫煙経験			合計
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	
男性	よく相談する	3804 (14.9)	178 (9.9)	19 (12.9)	4001 (14.5)
	どちらかといえば相談する	7006 (27.4)	291 (16.2)	30 (20.4)	7327 (26.6)
	どちらかといえば相談しない	6206 (24.2)	432 (24.1)	41 (27.9)	6679 (24.2)
	ほとんど相談しない	8449 (33.0)	836 (46.6)	53 (36.1)	9338 (33.9)
	親がいない	100 (.4)	50 (2.8)	2 (1.4)	152 (.6)
	無回答	48 (.2)	6 (.3)	2 (1.4)	56 (.2)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 374.413, df = 4, p < 0.001$ )					
女性	よく相談する	6591 (25.5)	144 (15.3)	14 (17.3)	6749 (25.1)
	どちらかといえば相談する	8192 (31.7)	239 (25.3)	28 (34.6)	8459 (31.5)
	どちらかといえば相談しない	4902 (18.9)	184 (19.5)	13 (16.0)	5099 (19.0)
	ほとんど相談しない	6042 (23.4)	344 (36.5)	24 (29.6)	6410 (23.8)
	親がいない	104 (.4)	29 (3.1)	1 (1.2)	134 (.5)
	無回答	38 (.1)	3 (.3)	1 (1.2)	42 (.2)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 246.715, df = 4, p < 0.001$ )					
全体	よく相談する	10400 (20.2)	322 (11.7)	33 (14.4)	10755 (19.7)
	どちらかといえば相談する	15202 (29.5)	531 (19.3)	58 (25.3)	15791 (29.0)
	どちらかといえば相談しない	11114 (21.6)	619 (22.5)	55 (24.0)	11788 (21.6)
	ほとんど相談しない	14502 (28.2)	1181 (43.0)	77 (33.6)	15760 (28.9)
	親がいない	204 (.4)	82 (3.0)	3 (1.3)	289 (.5)
	無回答	89 (.2)	11 (.4)	3 (1.3)	103 (.2)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 720.997, df = 4, p < 0.001$ )					



表 42 親しく遊べる友人はいますか？

		生涯喫煙経験			合計
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	
男性	いる	24722 (96.5)	1715 (95.6)	139 (94.6)	26576 (96.5)
	いない	780 (3.0)	66 (3.7)	8 (5.4)	854 (3.1)
	無回答	111 (.4)	12 (.7)	0 (.0)	123 (.4)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 2.321, df = 1, p = 0.128$ )					
女性	いる	25119 (97.1)	873 (92.6)	79 (97.5)	26071 (96.9)
	いない	662 (2.6)	67 (7.1)	2 (2.5)	731 (2.7)
	無回答	88 (.3)	3 (.3)	0 (.0)	91 (.3)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 71.059, df = 1, p < 0.001$ )					
全体	いる	49867 (96.8)	2595 (94.5)	219 (95.6)	52681 (96.7)
	いない	1444 (2.8)	134 (4.9)	10 (4.4)	1588 (2.9)
	無回答	200 (.4)	17 (.6)	0 (.0)	217 (.4)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 40.157, df = 1, p < 0.001$ )					

表 43 相談事の出来る友人はいますか？

		生涯喫煙経験			合計
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	
男性	いる	21829 (85.2)	1525 (85.1)	120 (81.6)	23474 (85.2)
	いない	3468 (13.5)	235 (13.1)	26 (17.7)	3729 (13.5)
	無回答	316 (1.2)	33 (1.8)	1 (.7)	350 (1.3)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 0.177, df = 1, p = 0.674$ )					
女性	いる	23550 (91.0)	801 (84.9)	68 (84.0)	24419 (90.8)
	いない	2038 (7.9)	129 (13.7)	12 (14.8)	2179 (8.1)
	無回答	281 (1.1)	13 (1.4)	1 (1.2)	295 (1.1)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 41.717, df = 1, p < 0.001$ )					
全体	いる	45399 (88.1)	2332 (84.9)	189 (82.5)	47920 (87.9)
	いない	5514 (10.7)	366 (13.3)	38 (16.6)	5918 (10.9)
	無回答	598 (1.2)	48 (1.7)	2 (.9)	648 (1.2)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 19.633, df = 1, p < 0.001$ )					

表 44 飲酒の生涯経験率

	学年				
	1年	2年	3年	合計	
<b>男性</b>					
飲んだ経験なし	6336 (68.6)	5836 (63.8)	5251 (57.2)	17423 (63.2)	( $\chi^2 = 257.786$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
冠婚葬祭	1729 (18.7)	1973 (21.6)	2316 (25.2)	6018 (21.8)	( $\chi^2 = 115.306$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
家族と食事などで	1201 (13.0)	1408 (15.4)	1663 (18.1)	4272 (15.5)	( $\chi^2 = 92.330$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
クラス会、打ち上げなど	186 (2.0)	220 (2.4)	294 (3.2)	700 (2.5)	( $\chi^2 = 27.347$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
カラオケ、居酒屋など	76 (.8)	85 (.9)	134 (1.5)	295 (1.1)	( $\chi^2 = 20.233$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
自分の部屋など	129 (1.4)	202 (2.2)	486 (5.3)	817 (3.0)	( $\chi^2 = 270.506$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
一人で	211 (2.3)	276 (3.0)	419 (4.6)	906 (3.3)	( $\chi^2 = 78.515$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
その他の機会に	0 (.0)	1 (.0)	0 (.0)	1 (.0)	
無回答	55 (.6)	37 (.4)	31 (.3)	123 (.4)	
合計	9237 (100.0)	9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)	
<b>女性</b>					
飲んだ経験なし	6423 (73.3)	6046 (66.8)	5612 (61.8)	18081 (67.2)	( $\chi^2 = 268.478$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
冠婚葬祭	1367 (15.6)	1684 (18.6)	1918 (21.1)	4969 (18.5)	( $\chi^2 = 90.544$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
家族と食事などで	1128 (12.9)	1600 (17.7)	1860 (20.5)	4588 (17.1)	( $\chi^2 = 186.313$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
クラス会、打ち上げなど	129 (1.5)	181 (2.0)	298 (3.3)	608 (2.3)	( $\chi^2 = 70.399$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
カラオケ、居酒屋など	65 (.7)	116 (1.3)	164 (1.8)	345 (1.3)	( $\chi^2 = 39.920$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
自分の部屋など	107 (1.2)	234 (2.6)	481 (5.3)	822 (3.1)	( $\chi^2 = 260.511$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
一人で	126 (1.4)	231 (2.6)	363 (4.0)	720 (2.7)	( $\chi^2 = 113.065$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
その他の機会に	0 (.0)	0 (.0)	0 (.0)	0 (.0)	
無回答	28 (.3)	26 (.3)	26 (.3)	80 (.3)	
合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)	
<b>全体</b>					
飲んだ経験なし	12763 (70.9)	11891 (65.3)	10869 (59.5)	35523 (65.2)	( $\chi^2 = 517.426$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
冠婚葬祭	3100 (17.2)	3661 (20.1)	4235 (23.2)	10996 (20.2)	( $\chi^2 = 200.647$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
家族と食事などで	2333 (13.0)	3011 (16.5)	3526 (19.3)	8870 (16.3)	( $\chi^2 = 269.272$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
クラス会、打ち上げなど	318 (1.8)	404 (2.2)	592 (3.2)	1314 (2.4)	( $\chi^2 = 88.169$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
カラオケ、居酒屋など	143 (.8)	202 (1.1)	299 (1.6)	644 (1.2)	( $\chi^2 = 56.382$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
自分の部屋など	238 (1.3)	439 (2.4)	970 (5.3)	1647 (3.0)	( $\chi^2 = 527.128$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
一人で	339 (1.9)	508 (2.8)	787 (4.3)	1634 (3.0)	( $\chi^2 = 187.573$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )
その他の機会に	0 (.0)	1 (.0)	0 (.0)	1 (.0)	
無回答	83 (.5)	63 (.3)	58 (.3)	204 (.4)	
合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)	

表 45 「シンナー遊び」経験と飲酒の経験・機会（複数回答）

	生涯シンナー乱用経験				
	経験なし	経験あり	無回答	合計	
<b>男性</b>					
飲んだ経験なし	17296 (63.6)	51 (28.8)	76 (40.6)	17423 (63.2)	( $\chi^2 = 91.769, df = 1, p < 0.001$ )
冠婚葬祭	5923 (21.8)	59 (33.3)	36 (19.3)	6018 (21.8)	( $\chi^2 = 13.731, df = 1, p = 0.050$ )
家族と食事などで	4187 (15.4)	55 (31.1)	30 (16.0)	4272 (15.5)	( $\chi^2 = 32.983, df = 1, p < 0.001$ )
クラス会、打ち上げなど	666 (2.4)	25 (14.1)	9 (4.8)	700 (2.5)	( $\chi^2 = 97.385, df = 1, p < 0.001$ )
カラオケ、居酒屋など	272 (1.0)	19 (10.7)	4 (2.1)	295 (1.1)	( $\chi^2 = 158.381, df = 1, p < 0.001$ )
自分の部屋など	775 (2.9)	34 (19.2)	8 (4.3)	817 (3.0)	( $\chi^2 = 164.038, df = 1, p < 0.001$ )
一人で	866 (3.2)	31 (17.5)	9 (4.8)	906 (3.3)	( $\chi^2 = 113.889, df = 1, p < 0.001$ )
その他の機会に	1 (.0)	0 (.0)	0 (.0)	1 (.0)	
無回答	82 (.3)	1 (.6)	40 (21.4)	123 (.4)	
合計	27189 (100)	177 (100)	187 (100)	27553 (100)	
<b>女性</b>					
飲んだ経験なし	17978 (67.4)	22 (21.4)	81 (65.3)	18081 (67.2)	( $\chi^2 = 98.822, df = 1, p < 0.001$ )
冠婚葬祭	4919 (18.4)	38 (36.9)	12 (9.7)	4969 (18.5)	( $\chi^2 = 23.139, df = 1, p < 0.001$ )
家族と食事などで	4534 (17.0)	39 (37.9)	15 (12.1)	4588 (17.1)	( $\chi^2 = 31.523, df = 1, p < 0.001$ )
クラス会、打ち上げなど	582 (2.2)	23 (22.3)	3 (2.4)	608 (2.3)	( $\chi^2 = 188.544, df = 1, p < 0.001$ )
カラオケ、居酒屋など	318 (1.2)	24 (23.3)	3 (2.4)	345 (1.3)	( $\chi^2 = 397.621, df = 1, p < 0.001$ )
自分の部屋など	793 (3.0)	24 (23.3)	5 (4.0)	822 (3.1)	( $\chi^2 = 143.281, df = 1, p < 0.001$ )
一人で	689 (2.6)	28 (27.2)	3 (2.4)	720 (2.7)	( $\chi^2 = 238.210, df = 1, p < 0.001$ )
その他の機会に	0 (.0)	0 (.0)	0 (.0)	0 (.0)	
無回答	67 (.3)	0 (.0)	13 (10.5)	80 (.3)	
合計	26666 (100)	103 (100)	124 (100)	26893 (100)	
<b>全体</b>					
飲んだ経験なし	35293 (65.5)	73 (25.8)	157 (50.3)	35523 (65.2)	( $\chi^2 = 195.716, df = 1, p < 0.001$ )
冠婚葬祭	10850 (20.1)	98 (34.6)	48 (15.4)	10996 (20.2)	( $\chi^2 = 36.686, df = 1, p < 0.001$ )
家族と食事などで	8729 (16.2)	96 (33.9)	45 (14.4)	8870 (16.3)	( $\chi^2 = 64.859, df = 1, p < 0.001$ )
クラス会、打ち上げなど	1253 (2.3)	49 (17.3)	12 (3.8)	1314 (2.4)	( $\chi^2 = 269.666, df = 1, p < 0.001$ )
カラオケ、居酒屋など	593 (1.1)	44 (15.5)	7 (2.2)	644 (1.2)	( $\chi^2 = 505.680, df = 1, p < 0.001$ )
自分の部屋など	1575 (2.9)	59 (20.8)	13 (4.2)	1647 (3.0)	( $\chi^2 = 309.239, df = 1, p < 0.001$ )
一人で	1561 (2.9)	61 (21.6)	12 (3.8)	1634 (3.0)	( $\chi^2 = 337.437, df = 1, p < 0.001$ )
その他の機会に	1 (.0)	0 (.0)	0 (.0)	1 (.0)	
無回答	149 (.3)	1 (.4)	54 (17.3)	204 (.4)	
合計	53891 (100)	283 (100)	312 (100)	54486 (100)	

表 46 「シンナー遊び」経験と喫煙経験の関係

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
<b>男性</b>					
喫煙経験なし 喫煙経験あり 無回答 合計	喫煙経験なし	25383 (93.4)	103 (58.2)	127 (67.9)	25613 (93.0)
	喫煙経験あり	1706 (6.3)	73 (41.2)	14 (7.5)	1793 (6.5)
	無回答	100 (.4)	1 (.6)	46 (24.6)	147 (.5)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 354.824, df = 1, p < 0.001$ )					
<b>女性</b>					
喫煙経験なし 喫煙経験あり 無回答 合計	喫煙経験なし	25708 (96.4)	63 (61.2)	98 (79.0)	25869 (96.2)
	喫煙経験あり	898 (3.4)	40 (38.8)	5 (4.0)	943 (3.5)
	無回答	60 (.2)	0 (.0)	21 (16.9)	81 (.3)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 380.726, df = 1, p < 0.001$ )					
<b>全体</b>					
喫煙経験なし 喫煙経験あり 無回答 合計	喫煙経験なし	51119 (94.9)	167 (59.0)	225 (72.1)	51511 (94.5)
	喫煙経験あり	2612 (4.8)	115 (40.6)	19 (6.1)	2746 (5.0)
	無回答	160 (.3)	1 (.4)	68 (21.8)	229 (.4)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 754.978, df = 1, p < 0.001$ )					

表 47 喫煙経験と「シンナー遊び」経験の関係

生涯シンナー乱用経験		生涯喫煙経験			合計
		喫煙経験なし	喫煙経験あり	無回答	
男性	経験なし	25383 (99.1)	1706 (95.1)	100 (68.0)	27189 (98.7)
	経験あり	103 (.4)	73 (4.1)	1 (.7)	177 (.6)
	無回答	127 (.5)	14 (.8)	46 (31.3)	187 (.7)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 354.824, df = 1, p < 0.001$ )					
女性	経験なし	25708 (99.4)	898 (95.2)	60 (74.1)	26666 (99.2)
	経験あり	63 (.2)	40 (4.2)	0 (.0)	103 (.4)
	無回答	98 (.4)	5 (.5)	21 (25.9)	124 (.5)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 380.726, df = 1, p < 0.001$ )					
全体	経験なし	51119 (99.2)	2612 (95.1)	160 (69.9)	53891 (98.9)
	経験あり	167 (.3)	115 (4.2)	1 (.4)	283 (.5)
	無回答	225 (.4)	19 (.7)	68 (29.7)	312 (.6)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 754.978, df = 1, p < 0.001$ )					

表 48 大麻乱用の生涯経験率

		1年	2年	3年	合計
		男性	大麻乱用経験なし	9139 (98.9)	9028 (98.8)
大麻乱用経験あり	24 (.3)		21 (.2)	37 (.4)	82 (.3)
無回答	74 (.8)		92 (1.0)	89 (1.0)	255 (.9)
合計	9237 (100.0)		9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 5.326, df = 2, p = 0.070$ )					
女性	大麻乱用経験なし	8701 (99.3)	8988 (99.2)	9002 (99.2)	26691 (99.2)
	大麻乱用経験あり	9 (.1)	10 (.1)	27 (.3)	46 (.2)
	無回答	50 (.6)	59 (.7)	47 (.5)	156 (.6)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 12.816, df = 2, p = 0.02$ )					
全体	大麻乱用経験なし	17848 (99.1)	18032 (99.0)	18064 (98.9)	53944 (99.0)
	大麻乱用経験あり	34 (.2)	31 (.2)	64 (.4)	129 (.2)
	無回答	124 (.7)	151 (.8)	138 (.8)	413 (.8)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 15.146, df = 2, p = 0.001$ )					

表 49 「シンナー遊び」経験と大麻乱用経験の関係

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	大麻乱用経験なし	26918 (99.0)	140 (79.1)	158 (84.5)	27216 (98.8)
	大麻乱用経験あり	48 (.2)	33 (18.6)	1 (.5)	82 (.3)
	無回答	223 (.8)	4 (2.3)	28 (15.0)	255 (.9)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 2062.852, df = 1, p < 0.001$ )					
女性	大麻乱用経験なし	26508 (99.4)	77 (74.8)	106 (85.5)	26691 (99.2)
	大麻乱用経験あり	22 (.1)	24 (23.3)	0 (.0)	46 (.2)
	無回答	136 (.5)	2 (1.9)	18 (14.5)	156 (.6)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 3271.861, df = 1, p < 0.001$ )					
全体	大麻乱用経験なし	53461 (99.2)	219 (77.4)	264 (84.6)	53944 (99.0)
	大麻乱用経験あり	70 (.1)	58 (20.5)	1 (.3)	129 (.2)
	無回答	360 (.7)	6 (2.1)	47 (15.1)	413 (.8)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 5027.643, df = 1, p < 0.001$ )					

表 50 大麻を吸うことをどう思いますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	吸うべきではない	26371 (97.0)	137 (77.4)	164 (87.7)	26672 (96.8)
	麻薬・覚せい剤と違って少々なら構わない	205 (.8)	14 (7.9)	3 (1.6)	222 (.8)
	全く構わない	274 (1.0)	24 (13.6)	3 (1.6)	301 (1.1)
	無回答	339 (1.2)	2 (1.1)	17 (9.1)	358 (1.3)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 373.464$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					
女性	吸うべきではない	26249 (98.4)	75 (72.8)	114 (91.9)	26438 (98.3)
	麻薬・覚せい剤と違って少々なら構わない	140 (.5)	10 (9.7)	2 (1.6)	152 (.6)
	全く構わない	95 (.4)	15 (14.6)	3 (2.4)	113 (.4)
	無回答	182 (.7)	3 (2.9)	5 (4.0)	190 (.7)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 680.355$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					
全体	吸うべきではない	52649 (97.7)	214 (75.6)	279 (89.4)	53142 (97.5)
	麻薬・覚せい剤と違って少々なら構わない	348 (.6)	24 (8.5)	5 (1.6)	377 (.7)
	全く構わない	370 (.7)	40 (14.1)	6 (1.9)	416 (.8)
	無回答	524 (1.0)	5 (1.8)	22 (7.1)	551 (1.0)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 945.906$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					

表 51 大麻を吸うと精神病状態や無動機症候群になることがあるのを知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	知っている	14391 (52.9)	69 (39.0)	88 (47.1)	14548 (52.8)
	知らない	8525 (31.4)	58 (32.8)	60 (32.1)	8643 (31.4)
	無回答	4273 (15.7)	50 (28.2)	39 (20.9)	4362 (15.8)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 3.875$ , $df = 1$ , $p = 0.049$ )					
女性	知っている	16096 (60.4)	44 (42.7)	54 (43.5)	16194 (60.2)
	知らない	8007 (30.0)	36 (35.0)	47 (37.9)	8090 (30.1)
	無回答	2563 (9.6)	23 (22.3)	23 (18.5)	2609 (9.7)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 4.985$ , $df = 1$ , $p = 0.026$ )					
全体	知っている	30500 (56.6)	114 (40.3)	143 (45.8)	30757 (56.4)
	知らない	16541 (30.7)	95 (33.6)	107 (34.3)	16743 (30.7)
	無回答	6850 (12.7)	74 (26.1)	62 (19.9)	6986 (12.8)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 9.661$ , $df = 1$ , $p = 0.002$ )					

表 52 覚せい剤の乱用経験（生涯経験率）

		1年	2年	3年	合計
男性	覚せい剤乱用経験なし	9116 (98.7)	9001 (98.5)	9037 (98.5)	27154 (98.6)
	覚せい剤乱用経験あり	17 (.2)	21 (.2)	33 (.4)	71 (.3)
	無回答	104 (1.1)	119 (1.3)	105 (1.1)	328 (1.2)
	合計	9237 (100.0)	9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 5.932, df = 2, p = 0.052$ )					
女性	覚せい剤乱用経験なし	8662 (98.9)	8964 (99.0)	8974 (98.9)	26600 (98.9)
	覚せい剤乱用経験あり	9 (.1)	12 (.1)	24 (.3)	45 (.2)
	無回答	89 (1.0)	81 (.9)	78 (.9)	248 (.9)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 7.947, df = 2, p = 0.019$ )					
全体	覚せい剤乱用経験なし	17785 (98.8)	17981 (98.7)	18024 (98.7)	53790 (98.7)
	覚せい剤乱用経験あり	28 (.2)	33 (.2)	57 (.3)	118 (.2)
	無回答	193 (1.1)	200 (1.1)	185 (1.0)	578 (1.1)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 11.842, df = 2, p = 0.003$ )					

表 53 「シンナー遊び」経験と覚せい剤乱用経験の関係

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	覚せい剤乱用経験なし	26848 (98.7)	142 (80.2)	164 (87.7)	27154 (98.6)
	覚せい剤乱用経験あり	39 (.1)	32 (18.1)	0 (.0)	71 (.3)
	無回答	302 (1.1)	3 (1.7)	23 (12.3)	328 (1.2)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 2199.367, df = 1, p < 0.001$ )					
女性	覚せい剤乱用経験なし	26410 (99.0)	80 (77.7)	110 (88.7)	26600 (98.9)
	覚せい剤乱用経験あり	25 (.1)	20 (19.4)	0 (.0)	45 (.2)
	無回答	231 (.9)	3 (2.9)	14 (11.3)	248 (.9)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 2331.562, df = 1, p < 0.001$ )					
全体	覚せい剤乱用経験なし	53293 (98.9)	223 (78.8)	274 (87.8)	53790 (98.7)
	覚せい剤乱用経験あり	64 (.1)	54 (19.1)	0 (.0)	118 (.2)
	無回答	534 (1.0)	6 (2.1)	38 (12.2)	578 (1.1)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 4712.083, df = 1, p < 0.001$ )					

表 54 大麻乱用経験と覚せい剤乱用経験の関係

		生涯大麻乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	覚せい剤乱用経験なし	27071 (99.5)	31 (37.8)	52 (20.4)	27154 (98.6)
	覚せい剤乱用経験あり	18 (.1)	51 (62.2)	2 (.8)	71 (.3)
	無回答	127 (.5)	0 (0)	201 (78.8)	328 (1.2)
	合計	27216 (100.0)	82 (100.0)	255 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 12457.939, df = 1, p < 0.001$ )					
女性	覚せい剤乱用経験なし	26553 (99.5)	13 (28.3)	34 (21.8)	26600 (98.9)
	覚せい剤乱用経験あり	14 (.1)	31 (67.4)	0 (.0)	45 (.2)
	無回答	124 (.5)	2 (4.3)	122 (78.2)	248 (.9)
	合計	26691 (100.0)	46 (100.0)	156 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 12896.915, df = 1, p < 0.001$ )					
全体	覚せい剤乱用経験なし	53660 (99.5)	44 (34.1)	86 (20.8)	53790 (98.7)
	覚せい剤乱用経験あり	33 (.1)	83 (64.3)	2 (.5)	118 (.2)
	無回答	251 (.5)	2 (1.6)	325 (78.7)	578 (1.1)
	合計	53944 (100.0)	129 (100.0)	413 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 25114.931, df = 1, p < 0.001$ )					

表 55 覚せい剤を使うと精神病状態になりやすく、またフラッシュバックがあることを知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	知っている	17883 (65.8)	98 (55.4)	110 (58.8)	18091 (65.7)
	知らない	8289 (30.5)	67 (37.9)	63 (33.7)	8419 (30.6)
	無回答	1017 (3.7)	12 (6.8)	14 (7.5)	1043 (3.8)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 6.043, df = 1, p = 0.014$ )					
女性	知っている	19262 (72.2)	65 (63.1)	71 (57.3)	19398 (72.1)
	知らない	6927 (26.0)	31 (30.1)	48 (38.7)	7006 (26.1)
	無回答	477 (1.8)	7 (6.8)	5 (4.0)	489 (1.8)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 1.677, df = 1, p = 0.195$ )					
全体	知っている	37166 (69.0)	164 (58.0)	181 (58.0)	37511 (68.8)
	知らない	15226 (28.3)	99 (35.0)	111 (35.6)	15436 (28.3)
	無回答	1499 (2.8)	20 (7.1)	20 (6.4)	1539 (2.8)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 9.338, df = 1, p = 0.002$ )					

表 56 身近に「脱法ドラッグ」を使っている人がいますか？

		1年	2年	3年	合計
男性	いない	9042 (97.9)	8902 (97.4)	8928 (97.3)	26872 (97.5)
	いる	93 (1.0)	116 (1.3)	151 (1.6)	360 (1.3)
	無回答	102 (1.1)	123 (1.3)	96 (1.0)	321 (1.2)
	合計	9237 (100.0)	9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 14.658, df = 2, p = 0.001$ )					
女性	いない	8585 (98.0)	8888 (98.1)	8889 (97.9)	26362 (98.0)
	いる	87 (1.0)	96 (1.1)	127 (1.4)	310 (1.2)
	無回答	88 (1.0)	73 (.8)	60 (.7)	221 (.8)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 7.359, df = 2, p = 0.025$ )					
全体	いない	17636 (97.9)	17804 (97.7)	17829 (97.6)	53269 (97.8)
	いる	180 (1.0)	212 (1.2)	279 (1.5)	671 (1.2)
	無回答	190 (1.1)	198 (1.1)	158 (.9)	546 (1.0)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 21.563, df = 2, p < 0.001$ )					

表 57 「脱法ドラッグ」に誘われた経験

		1年	2年	3年	合計
男性	ない	8928 (96.7)	8851 (96.8)	8854 (96.5)	26633 (96.7)
	ある	60 (.6)	67 (.7)	88 (1.0)	215 (.8)
	無回答	249 (2.7)	223 (2.4)	233 (2.5)	705 (2.6)
	合計	9237 (100.0)	9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 6.067, df = 2, p = 0.048$ )					
女性	ない	8563 (97.8)	8859 (97.8)	8845 (97.5)	26267 (97.7)
	ある	52 (.6)	61 (.7)	76 (.8)	189 (.7)
	無回答	145 (1.7)	137 (1.5)	155 (1.7)	437 (1.6)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 3.987, df = 2, p = 0.136$ )					
全体	ない	17500 (97.2)	17723 (97.3)	17712 (97.0)	52935 (97.2)
	ある	112 (.6)	128 (.7)	164 (.9)	404 (.7)
	無回答	394 (2.2)	363 (2.0)	390 (2.1)	1147 (2.1)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 9.934, df = 2, p = 0.007$ )					

表 58 これまでに1回でも「脱法ドラッグ」を使った経験のある率(生涯経験率)

		1年	2年	3年	合計
男性	経験なし	9136 (98.9)	9026 (98.7)	9037 (98.5)	27199 (98.7)
	経験あり	14 (.2)	15 (.2)	43 (.5)	72 (.3)
	無回答	87 (.9)	100 (1.1)	95 (1.0)	282 (1.0)
	合計	9237 (100.0)	9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 22.729$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					
女性	経験なし	8692 (99.2)	8991 (99.3)	8997 (99.1)	26680 (99.2)
	経験あり	6 (.1)	12 (.1)	26 (.3)	44 (.2)
	無回答	62 (.7)	54 (.6)	53 (.6)	169 (.6)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 13.755$ , $df = 2$ , $p = 0.001$ )					
全体	経験なし	17835 (99.1)	18032 (99.0)	18047 (98.8)	53914 (99.0)
	経験あり	22 (.1)	28 (.2)	70 (.4)	120 (.2)
	無回答	149 (.8)	154 (.8)	149 (.8)	452 (.8)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 33.612$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					

表 59 喫煙経験と脱法ドラッグ乱用経験の関係

		生涯喫煙経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	脱法ドラッグ乱用経験なし	25339 (98.9)	1723 (96.1)	137 (93.2)	27199 (98.7)
	脱法ドラッグ乱用経験あり	31 (.1)	40 (2.2)	1 (.7)	72 (.3)
	無回答	243 (.9)	30 (1.7)	9 (6.1)	282 (1.0)
	合計	25613 (100.0)	1793 (100.0)	147 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 291.060$ , $df = 1$ , $p < 0.001$ )					
女性	脱法ドラッグ乱用経験なし	25705 (99.4)	902 (95.7)	73 (90.1)	26680 (99.2)
	脱法ドラッグ乱用経験あり	16 (.1)	28 (3.0)	0 (.0)	44 (.2)
	無回答	148 (.6)	13 (1.4)	8 (9.9)	169 (.6)
	合計	25869 (100.0)	943 (100.0)	81 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 473.426$ , $df = 1$ , $p = 0.001$ )					
全体	脱法ドラッグ乱用経験なし	51071 (99.1)	2632 (95.8)	211 (92.1)	53914 (99.0)
	脱法ドラッグ乱用経験あり	48 (.1)	71 (2.6)	1 (.4)	120 (.2)
	無回答	392 (.8)	43 (1.6)	17 (7.4)	452 (.8)
	合計	51511 (100.0)	2746 (100.0)	229 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 746.533$ , $df = 1$ , $p < 0.001$ )					

表 60 「シンナー遊び」経験と脱法ドラッグ乱用経験の関係

		生涯シンナー経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	脱法ドラッグ乱用経験なし	26898 (98.9)	140 (79.1)	161 (86.1)	27199 (98.7)
	脱法ドラッグ乱用経験あり	39 (.1)	32 (18.1)	1 (.5)	72 (.3)
	無回答	252 (.9)	5 (2.8)	25 (13.4)	282 (1.0)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 2229.541$ , $df = 1$ , $p < 0.001$ )					
女性	脱法ドラッグ乱用経験なし	26496 (99.4)	78 (75.7)	106 (85.5)	26680 (99.2)
	脱法ドラッグ乱用経験あり	20 (.1)	23 (22.3)	1 (.8)	44 (.2)
	無回答	150 (.6)	2 (1.9)	17 (13.7)	169 (.6)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 3213.618$ , $df = 1$ , $p < 0.001$ )					
全体	脱法ドラッグ乱用経験なし	53428 (99.1)	218 (77.0)	268 (85.9)	53914 (99.0)
	脱法ドラッグ乱用経験あり	60 (.1)	58 (20.5)	2 (.6)	120 (.2)
	無回答	403 (.7)	7 (2.5)	42 (13.5)	452 (.8)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 5478.057$ , $df = 1$ , $p < 0.001$ )					



表 61 脱法ドラッグ乱用経験と大麻乱用経験の関係

		生涯脱法ドラッグ乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	大麻乱用経験なし	27108 (99.7)	28 (38.9)	80 (28.4)	27216 (98.8)
	大麻乱用経験あり	37 (.1)	43 (59.7)	2 (.7)	82 (.3)
	無回答	54 (.2)	1 (1.4)	200 (70.9)	255 (.9)
	合計	27199 (100.0)	72 (100.0)	282 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 8822.666, df = 1, p < 0.001$ )					
女性	大麻乱用経験なし	26628 (99.8)	16 (36.4)	47 (27.8)	26691 (99.2)
	大麻乱用経験あり	18 (.1)	28 (63.6)	0 (.0)	46 (.2)
	無回答	34 (.1)	0 (.0)	122 (72.2)	156 (.6)
	合計	26680 (100.0)	44 (100.0)	169 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 10317.256, df = 1, p < 0.001$ )					
全体	大麻乱用経験なし	53770 (99.7)	47 (39.2)	127 (28.1)	53944 (99.0)
	大麻乱用経験あり	55 (.1)	72 (60.0)	2 (.4)	129 (.2)
	無回答	89 (.2)	1 (.8)	323 (71.5)	413 (.8)
	合計	53914 (100.0)	120 (100.0)	452 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 18443.946, df = 1, p < 0.001$ )					

表 62 大麻乱用経験と脱法ドラッグ乱用経験の関係

		生涯大麻乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	脱法ドラッグ乱用経験なし	27108 (99.6)	37 (45.1)	54 (21.2)	27199 (98.7)
	脱法ドラッグ乱用経験あり	28 (.1)	43 (52.4)	1 (.4)	72 (.3)
	無回答	80 (.3)	2 (2.4)	200 (78.4)	282 (1.0)
	合計	27216 (100.0)	82 (100.0)	255 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 8822.666, df = 1, p < 0.001$ )					
女性	脱法ドラッグ乱用経験なし	26628 (99.8)	18 (39.1)	34 (21.8)	26680 (99.2)
	脱法ドラッグ乱用経験あり	16 (.1)	28 (60.9)	0 (.0)	44 (.2)
	無回答	47 (.2)	0 (.0)	122 (78.2)	169 (.6)
	合計	26691 (100.0)	46 (100.0)	156 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 10317.256, df = 1, p < 0.001$ )					
全体	脱法ドラッグ乱用経験なし	53770 (99.7)	55 (42.6)	89 (21.5)	53914 (99.0)
	脱法ドラッグ乱用経験あり	47 (.1)	72 (55.8)	1 (.2)	120 (.2)
	無回答	127 (.2)	2 (1.6)	323 (78.2)	452 (.8)
	合計	53944 (100.0)	129 (100.0)	413 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 18443.946, df = 1, p < 0.001$ )					

表 63 脱法ドラッグ乱用経験と覚せい剤乱用経験の関係

		生涯脱法ドラッグ乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	覚せい剤乱用経験なし	27052 (99.5)	29 (40.3)	73 (25.9)	27154 (98.6)
	覚せい剤乱用経験あり	26 (.1)	43 (59.7)	2 (.7)	71 (.3)
	無回答	121 (.4)	0 (.0)	207 (73.4)	328 (1.2)
	合計	27199 (100.0)	72 (100.0)	282 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 10071.159, df = 1, p < 0.001$ )					
女性	覚せい剤乱用経験なし	26540 (99.5)	13 (29.5)	47 (27.8)	26600 (98.9)
	覚せい剤乱用経験あり	14 (.1)	31 (70.5)	0 (.0)	45 (.2)
	無回答	126 (.5)	0 (.0)	122 (72.2)	248 (.9)
	合計	26680 (100.0)	44 (100.0)	169 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 12890.605, df = 1, p < 0.001$ )					
全体	覚せい剤乱用経験なし	53626 (99.5)	44 (36.7)	120 (26.5)	53790 (98.7)
	覚せい剤乱用経験あり	40 (.1)	76 (63.3)	2 (.4)	118 (.2)
	無回答	248 (.5)	0 (.0)	330 (73.0)	578 (1.1)
	合計	53914 (100.0)	120 (100.0)	452 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 22263.939, df = 1, p < 0.001$ )					

表 64 覚せい剤乱用経験と脱法ドラッグ乱用経験の関係

		生涯覚せい剤乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	脱法ドラッグ乱用経験なし	27052 (99.6)	26 (36.6)	121 (36.9)	27199 (98.7)
	脱法ドラッグ乱用経験あり	29 (.1)	43 (60.6)	0 (.0)	72 (.3)
	無回答	73 (.3)	2 (2.8)	207 (63.1)	282 (1.0)
	合計	27154 (100.0)	71 (100.0)	328 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 10071.159$ , $df = 1$ , $p < 0.001$ )					
女性	脱法ドラッグ乱用経験なし	26540 (99.8)	14 (31.1)	126 (50.8)	26680 (99.2)
	脱法ドラッグ乱用経験あり	13 (.0)	31 (68.9)	0 (.0)	44 (.2)
	無回答	47 (.2)	0 (.0)	122 (49.2)	169 (.6)
	合計	26600 (100.0)	45 (100.0)	248 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 12890.605$ , $df = 1$ , $p < 0.001$ )					
全体	脱法ドラッグ乱用経験なし	53626 (99.7)	40 (33.9)	248 (42.9)	53914 (99.0)
	脱法ドラッグ乱用経験あり	44 (.1)	76 (64.4)	0 (.0)	120 (.2)
	無回答	120 (.2)	2 (1.7)	330 (57.1)	452 (.8)
	合計	53790 (100.0)	118 (100.0)	578 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 22263.939$ , $df = 1$ , $p < 0.001$ )					

表 65 「脱法ドラッグ」が非常に危険な薬物であることを知っていますか？

		1年	2年	3年	合計
		男性	知っている	5621 (60.9)	5496 (60.1)
	知らない	3298 (35.7)	3327 (36.4)	2898 (31.6)	9523 (34.6)
	無回答	318 (3.4)	318 (3.5)	266 (2.9)	902 (3.3)
	合計	9237 (100.0)	9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 60.831$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					
女性	知っている	5185 (59.2)	5373 (59.3)	5991 (66.0)	16549 (61.5)
	知らない	3422 (39.1)	3552 (39.2)	2958 (32.6)	9932 (36.9)
	無回答	153 (1.7)	132 (1.5)	127 (1.4)	412 (1.5)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 114.312$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					
全体	知っている	10813 (60.1)	10879 (59.7)	12011 (65.8)	33703 (61.9)
	知らない	6722 (37.3)	6884 (37.8)	5860 (32.1)	19466 (35.7)
	無回答	471 (2.6)	451 (2.5)	395 (2.2)	1317 (2.4)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 170.020$ , $df = 2$ , $p < 0.001$ )					

表 66 脱法ドラッグの入手可能性

		1年	2年	3年	合計
		男性	絶対不可能	6636 (71.8)	6143 (67.2)
	ほとんど不可能	1239 (13.4)	1358 (14.9)	1526 (16.6)	4123 (15.0)
	少々苦勞するが手に入る	825 (8.9)	961 (10.5)	1247 (13.6)	3033 (11.0)
	簡単に手に入る	393 (4.3)	513 (5.6)	663 (7.2)	1569 (5.7)
	無回答	144 (1.6)	166 (1.8)	126 (1.4)	436 (1.6)
	合計	9237 (100.0)	9141 (100.0)	9175 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 275.752$ , $df = 6$ , $p < 0.001$ )					
女性	絶対不可能	6661 (76.0)	6505 (71.8)	6117 (67.4)	19283 (71.7)
	ほとんど不可能	985 (11.2)	1154 (12.7)	1231 (13.6)	3370 (12.5)
	少々苦勞するが手に入る	694 (7.9)	897 (9.9)	1117 (12.3)	2708 (10.1)
	簡単に手に入る	296 (3.4)	387 (4.3)	509 (5.6)	1192 (4.4)
	無回答	124 (1.4)	114 (1.3)	102 (1.1)	340 (1.3)
	合計	8760 (100.0)	9057 (100.0)	9076 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 202.266$ , $df = 6$ , $p < 0.001$ )					
全体	絶対不可能	13300 (73.9)	12657 (69.5)	11734 (64.2)	37691 (69.2)
	ほとんど不可能	2224 (12.4)	2514 (13.8)	2759 (15.1)	7497 (13.8)
	少々苦勞するが手に入る	1522 (8.5)	1859 (10.2)	2367 (13.0)	5748 (10.5)
	簡単に手に入る	691 (3.8)	904 (5.0)	1176 (6.4)	2771 (5.1)
	無回答	269 (1.5)	280 (1.5)	230 (1.3)	779 (1.4)
	合計	18006 (100.0)	18214 (100.0)	18266 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 470.365$ , $df = 6$ , $p < 0.001$ )					

表 67  
大麻の入手可能性

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	絶対不可能	19136 (70.4)	81 (45.8)	114 (61.0)	19331 (70.2)
	ほとんど不可能	4131 (15.2)	31 (17.5)	30 (16.0)	4192 (15.2)
	少々苦勞するが手に入る	2552 (9.4)	27 (15.3)	25 (13.4)	2604 (9.5)
	簡単に手に入る	1004 (3.7)	36 (20.3)	7 (3.7)	1047 (3.8)
	無回答	366 (1.3)	2 (1.1)	11 (5.9)	379 (1.4)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 150.124, df = 3, p < 0.001$ )					
女性	絶対不可能	19945 (74.8)	41 (39.8)	82 (66.1)	20068 (74.6)
	ほとんど不可能	3342 (12.5)	14 (13.6)	15 (12.1)	3371 (12.5)
	少々苦勞するが手に入る	2339 (8.8)	19 (18.4)	15 (12.1)	2373 (8.8)
	簡単に手に入る	760 (2.9)	26 (25.2)	5 (4.0)	791 (2.9)
	無回答	280 (1.1)	3 (2.9)	7 (5.6)	290 (1.1)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 206.869, df = 3, p < 0.001$ )					
全体	絶対不可能	39096 (72.5)	123 (43.5)	196 (62.8)	39415 (72.3)
	ほとんど不可能	7477 (13.9)	45 (15.9)	45 (14.4)	7567 (13.9)
	少々苦勞するが手に入る	4898 (9.1)	47 (16.6)	40 (12.8)	4985 (9.1)
	簡単に手に入る	1771 (3.3)	63 (22.3)	12 (3.8)	1846 (3.4)
	無回答	649 (1.2)	5 (1.8)	19 (6.1)	673 (1.2)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 352.557, df = 3, p < 0.001$ )					

表 68 覚せい剤の入手可能性

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	絶対不可能	19358 (71.2)	86 (48.6)	119 (63.6)	19563 (71.0)
	ほとんど不可能	4028 (14.8)	35 (19.8)	28 (15.0)	4091 (14.8)
	少々苦勞するが手に入る	2436 (9.0)	24 (13.6)	24 (12.8)	2484 (9.0)
	簡単に手に入る	1014 (3.7)	30 (16.9)	7 (3.7)	1051 (3.8)
	無回答	353 (1.3)	2 (1.1)	9 (4.8)	364 (1.3)
	合計	27189 (100.0)	177 (100.0)	187 (100.0)	27553 (100.0)
( $\chi^2 = 100.094, df = 3, p < 0.001$ )					
女性	絶対不可能	19944 (74.8)	42 (40.8)	82 (66.1)	20068 (74.6)
	ほとんど不可能	3275 (12.3)	12 (11.7)	17 (13.7)	3304 (12.3)
	少々苦勞するが手に入る	2339 (8.8)	20 (19.4)	13 (10.5)	2372 (8.8)
	簡単に手に入る	839 (3.1)	26 (25.2)	6 (4.8)	871 (3.2)
	無回答	269 (1.0)	3 (2.9)	6 (4.8)	278 (1.0)
	合計	26666 (100.0)	103 (100.0)	124 (100.0)	26893 (100.0)
( $\chi^2 = 187.707, df = 3, p < 0.001$ )					
全体	絶対不可能	39318 (73.0)	129 (45.6)	201 (64.4)	39648 (72.8)
	ほとんど不可能	7309 (13.6)	47 (16.6)	45 (14.4)	7401 (13.6)
	少々苦勞するが手に入る	4781 (8.9)	45 (15.9)	37 (11.9)	4863 (8.9)
	簡単に手に入る	1859 (3.4)	57 (20.1)	13 (4.2)	1929 (3.5)
	無回答	624 (1.2)	5 (1.8)	16 (5.1)	645 (1.2)
	合計	53891 (100.0)	283 (100.0)	312 (100.0)	54486 (100.0)
( $\chi^2 = 269.922, df = 3, p < 0.001$ )					

# 飲酒・喫煙・薬物乱用についての意識・実態調査

(第9版-12)

飲酒・喫煙・薬物乱用は、心と体の両面にさまざまな害を及ぼします。

この調査は、中学生が飲酒・喫煙・薬物乱用をどのように考えており、また、実際にどのくらいの人が飲酒・喫煙・薬物乱用を経験しているのかを調べ、今後の対策の参考にするものです。

答えにくい質問には答えなくても結構ですが、この調査では、回答者が誰かわからないように以下のような配慮がなされています。

- ・この調査用紙には、氏名など個人を見つけ出せそうなものを書くところはありません。
- ・先生には、必要に応じて、生徒の質問に答えていただきますが、必要以上に生徒の所には行かず、生徒が書きやすいように努めていただきます。
- ・書き終わったら、配られた封筒に用紙を入れて必ず封をし、先生の持っている大きな袋に封筒ごと入れてください。
- ・調査用紙は、封を切られることなく（学校の先生などに結果を知られることなく）、下記の研究室に運ばれ、研究室で開封し、厳重に保管され、研究以外の目的には使用しません。
- ・調査結果は、全体でまとめて処理します。個人が特定されることはありません。

各質問に対する回答は、ことわりがない限り、自分の場合に最も近いものの数字を一つだけ、丸で囲んでください。

実施機関：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 東京都小平市小川東町4-1-1

- 
- (質問1) あなたは男性ですか、女性ですか？ 1. 男性 2. 女性
- (質問2) あなたは中学何年生ですか？ 1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生
- (質問3) あなたの起床時間は、ほぼ一定していますか？ 1. はい 2. いいえ
- (質問4) あなたの就寝時間は、ほぼ一定していますか？ 1. はい 2. いいえ
- (質問5) あなたは、毎朝、朝食を食べていますか？ 1. ほとんど毎日食べている  
2. 時々食べる  
3. ほとんど食べない
- (質問6) あなたにとって、学校生活は次のどれですか？ 1. とても楽しい  
2. どちらかといえば楽しい  
3. あまり楽しくない  
4. まったく楽しくない
- (質問7) あなたはクラブ活動（部活）に参加していますか？ 1. 積極的に参加している  
2. 消極的に参加している  
3. 参加していない
- (質問8) あなたは、夕食を週何回くらい家族全員で食べますか？  
1. ほとんど毎日 2. 5～6回 3. 4回前後 4. 3回前後 5. 2回前後  
6. ほとんど食べない
- (質問9) あなたは、学校・塾・習い事・運動での時間以外、大人が不在の状態で、毎日平均どの程度の時間を過ごしますか？  
1. なし、あるいは、ほとんどなし 2. 1時間未満 3. 1時間以上2時間未満  
4. 2時間以上3時間未満 5. 3時間以上
- (質問10) あなたは、親しく遊べる友人がいますか？ 1. いる 2. いない
- (質問11) あなたは、相談事のできる友人がいますか？ 1. いる 2. いない
- (質問12) あなたは、悩みごとがある時、親と相談する方だと思いますか？  
1. よく相談する方である 4. ほとんど相談しない方である  
2. どちらかと言えば相談する方である 5. 親がいない（たんしんせん 単身赴任・死別・別居・離婚など）  
3. どちらかと言えば相談しない方である

(質問13) あなたは、これまでに一回でも、タバコを吸ったことがありますか？

(ある場合は、初めて吸った時の年齢を選んでください。)

1. 吸ったことがない
2. 10歳以下
3. 11歳
4. 12歳
5. 13歳
6. 14歳
7. 15歳以上
8. 吸ったことはあるが、年齢はおぼえていない

(質問14) あなたは、この1年間で、タバコを吸ったことがありますか？

1. 一度も吸わなかった
2. 1年間で1~数回吸った
3. 月に数回吸った
4. 週に数回吸った
5. ほとんど毎日吸った

(質問15) あなたは、健康面から、喫煙をどう思いますか？

1. 害ばかりで、良い面はないと思う
2. 害もあるが、良い面もあると思う
3. 害よりも、良い面の方が多いと思う

(質問16) 未成年者の喫煙は法律で禁じられていますが、あなたは未成年者の喫煙をどう思いますか？

1. 法律で禁じられているから、吸うべきでないと思う
2. 法律で禁じられてはいるが、少々ならかまわないと思う
3. 法律で禁じられてはいるが、全然かまわないと思う

(質問17) あなたは、未成年者の喫煙禁止をどう思いますか？

1. 当然だと思う
2. しかたのないことだと思う
3. 成人が吸えて、未成年者が吸えないのはおかしいと思う
4. そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う

(質問18) あなたは、これまでに、下記の時に、一回でも、アルコール（ビール、日本酒、焼酎<sup>しょうちゅう</sup>、ワイン、ウイスキーなど）を飲んだことがありますか？

(いくつ選んでもけっこうですが、なめただけの場合は、含めないで下さい。ただし、「1」を選んだときには、その他は選ばないでください。)

1. 飲んだことがない
2. 冠婚葬祭（結婚式・祭り・葬式<sup>そうしき</sup>・法事<sup>ほうじ</sup>・盆<sup>ぼん</sup>・正月など）の時に飲んだことがある
3. 家族での食事などの時に、家族といっしょに飲んだことがある
4. クラス会、打ち上げ、友達とのパーティーの時に、仲間と飲んだことがある
5. カラオケボックス、居酒屋、飲み屋などで、仲間と飲んだことがある
6. 自分や誰かの部屋で、仲間と飲んだことがある
7. 一人で飲んだことがある

(質問19) あなたは、上記のいずれかの機会<sup>きかい</sup>で、初めてアルコールを飲んだのは、何歳の時ですか？

(なめただけの場合は、含めないで下さい。)

1. 飲んだことがない
2. 10歳以下
3. 11歳
4. 12歳
5. 13歳
6. 14歳
7. 15歳以上
8. 飲んだことはあるが、年齢はおぼえていない

(質問20) あなたは、この1年間に一回でも、アルコールを飲んだことがありますか？

(飲んだことのある機会をいくつ選んでもけっこうですが、なめただけの場合は、含めないで下さい。ただし、「1」を選んだときには、その他は選ばないでください。)

1. 飲んだことがない
2. 冠婚葬祭（結婚式・祭り・葬式<sup>そうしき</sup>・法事<sup>ほうじ</sup>・盆<sup>ぼん</sup>・正月など）の時に飲んだことがある
3. 家族での食事などの時に、家族といっしょに飲んだことがある
4. クラス会、打ち上げ、友達とのパーティーの時に、仲間と飲んだことがある
5. カラオケボックス、居酒屋、飲み屋などで、仲間と飲んだことがある
6. 自分や誰かの部屋で、仲間と飲んだことがある
7. 一人で飲んだことがある

(質問21) あなたは、この1年間に、どのくらいの頻度でアルコールを飲みましたか？

1. 一度も飲まなかった
2. 1年間で1~数回飲んだ
3. 月に数回飲んだ
4. 週に数回飲んだ
5. ほとんど毎日飲んだ

(質問22) あなたは、健康面から、飲酒をどう思いますか？

1. 害ばかりで、良い面はないと思う
2. 害もあるが、良い面もあると思う
3. 害よりも、良い面の方が多いと思う

(質問23) 未成年者の飲酒は禁止されていますが、あなたは、未成年者の飲酒をどう思いますか？

1. 法律で禁止されているから、飲むべきではないと思う
2. 法律で禁止されてはいるが、時と場合に応じては、かまわないと思う
3. 法律で禁止されてはいるが、全然かまわないと思う

(質問24) あなたは、未成年者の飲酒禁止をどう思いますか？

1. 当然だと思う
2. しかたのないことだと思う
3. 成人が飲めて、未成年者が飲めないのはおかしいと思う
4. そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う

(質問25) あなたは、「シンナー遊び」をしているところを実際に見たことがありますか？

1. ない
2. ある

(質問26) あなたの身近に、「シンナー遊び」をしている人がいますか？

1. いない
2. いる

(質問27) あなたは、「シンナー遊び」に誘われたことがありますか？

1. ない
2. ある

(質問28) 「シンナー遊び」について、あなたの気持ちは次のどれに最も近いですか？

1. 関心がない
2. 見てみたい
3. 試してみたい
4. 経験がある

(質問29) あなたは、「シンナー遊び」をしている人について、どう思いますか？

1. 自分には無関係の人だと思う
2. 「シンナー遊び」をする気持ちが理解できる気がする
3. 親しみを感じる

(質問30) あなたは、「シンナー遊び」をしている人と親しくなることについて、どう考えますか？

1. 親しくなりたくない
2. 「シンナー遊び」だけで決めたくはない
3. すでに親しい

(質問31) あなたは、これまでに一回でも、「シンナー遊び」を経験したことがありますか？

(ある場合は、初めて経験した時の年齢を選んでください。)

1. 経験がない
2. 10歳以下
3. 11歳
4. 12歳
5. 13歳
6. 14歳
7. 15歳以上
8. 経験はあるが、年齢はおぼえていない

(質問32) あなたは、この1年間に一回でも、「シンナー遊び」をしたことがありますか？

1. ない
2. ある

(質問33) 「シンナー遊び」は法律で禁止されていますが、あなたは「シンナー遊び」について、どう思いますか？

1. 法律で禁止されているから、すべきではないと思う
2. 法律で禁止されてはいるが、少々ならかまわないと思う
3. 法律で禁止されてはいるが、それを守る必要は全然ないと思う

(質問34) あなたは、法律で「シンナー遊び」を禁止しているのをどう思いますか？

1. 当然だと思う
2. しかたのないことだと思う
3. 麻薬・覚せい剤とちがって、シンナーくらい禁止しなくてもいいのではないかと思う
4. そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う

(質問35) あなたは、「シンナー遊び」で死亡すること (急性中毒死) があるのを知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

(質問36) あなたは、「シンナー遊び」を繰り返すと、歯がぼろぼろになりやすいことを知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

(質問37) あなたは、「シンナー遊び」を繰り返すと、手足の筋肉や神経が衰え、物をつかめなくなったり、歩けなくなること (多発神経炎) があるのを知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

- (質問38) あなたは、「シンナー遊び」を繰り返すと、何も無いのに物が見えたり(幻視)、実際には何も聞こえないのに、声が聞こえたり(幻聴)、誰も何とも思っていないのに、人が自分の事を非難していると思ひ込んだり(妄想)する状態(精神病状態)になることがあるのを知っていますか？  
1. 知っている 2. 知らない
- (質問39) あなたは、「シンナー遊び」を繰り返すと、何事にも関心が持てなくなり、結果的に学校を欠席しがちになり、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる(無動機症候群)を知っていますか？  
1. 知っている 2. 知らない
- (質問40) あなたは、「シンナー遊び」の結果、幻視、幻聴、妄想が出るようになってしまうと、それを治療して治っても、その後「シンナー遊び」をやめていても、疲れ・ストレス・飲酒などで、幻視、幻聴、妄想が再び出現すること(フラッシュバック)があるのを知っていますか？  
1. 知っている 2. 知らない
- (質問41) あなたは、これまでに一回でも、大麻(マリファナ、ハッシッシュも同じものです)を吸ったことがありますか？(ある場合は、初めて吸った時の年齢を選んでください。)  
1. 経験がない 2. 10歳以下 3. 11歳 4. 12歳 5. 13歳 6. 14歳  
7. 15歳以上 8. 経験はあるが、年齢はおぼえていない
- (質問42) あなたは、大麻を吸うことをどう思いますか？  
1. 吸うべきではないと思う  
2. 麻薬・覚せい剤とちがって、少々ならかまわないと思う  
3. まったくかまわないと思う
- (質問43) あなたは大麻を吸うと、上記の質問38と同じ精神病状態や質問39と同じ無動機症候群になることがあるのを知っていますか？  
1. 知っている 2. 知らない
- (質問44) あなたは、これまでに一回でも、覚せい剤(スピード、エスも同じものです)を使用したことがありますか？(ある場合は、初めて使用した時の年齢を選んでください。)  
1. 経験がない 2. 10歳以下 3. 11歳 4. 12歳 5. 13歳 6. 14歳  
7. 15歳以上 8. 経験はあるが、年齢はおぼえていない
- (質問45) 覚せい剤を使うと、上記の質問38と同じ精神病状態になりやすく、また質問40のようなフラッシュバックがあるのを知っていますか？  
1. 知っている 2. 知らない
- (質問46) あなたの身近に、「脱法ドラッグ」(「脱法ハーブ」を含む)を使っている人がいますか？  
1. いない 2. いる
- (質問47) あなたは、「脱法ドラッグ」の使用に誘われたことがありますか？ 1. ない 2. ある
- (質問48) あなたは、これまでに一回でも、「脱法ドラッグ」を使用したことがありますか？(ある場合は、初めて使用した時の年齢を選んでください。)  
1. 経験がない 2. 10歳以下 3. 11歳 4. 12歳 5. 13歳 6. 14歳  
7. 15歳以上 8. 経験はあるが、年齢はおぼえていない
- (質問49) 「脱法ドラッグ」とは、大麻や覚せい剤に似た作用があるにも関わらず、法律で禁止されていないことを利用して、法の網をかいくぐるかのように売られている薬物です。しかし、一回使っただけで、呼吸ができなくなったり、体が動かなくなったり、意識がなくなったりする可能性のある非常に危険な薬物であることを知っていますか？  
1. 知っている 2. 知らない
- (質問50) あなたが「脱法ドラッグ」を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいですか？  
1. 絶対不可能だ 2. ほとんど不可能だ  
3. 少々苦勞するが、なんとか手に入る 4. 簡単に手に入る
- (質問51) あなたが大麻を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいですか？  
1. 絶対不可能だ 2. ほとんど不可能だ  
3. 少々苦勞するが、なんとか手に入る 4. 簡単に手に入る
- (質問52) あなたが覚せい剤を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいですか？  
1. 絶対不可能だ 2. ほとんど不可能だ  
3. 少々苦勞するが、なんとか手に入る 4. 簡単に手に入る

ご協力ありがとうございました。

## 薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査（2012年）－要約版－

研究分担者	和田 清	独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部長
研究協力者	水野菜津美	同研究所（薬物依存研究部 流動研究員）
	嶋根卓也	同研究所（薬物依存研究部 心理社会研究室長）
	立森久照	同研究所（精神保健計画研究部 統計解析研究室室長）
	勝野眞吾	岐阜薬科大学 学長

わが国の中学生における薬物乱用の広がり把握し、特に有機溶剤乱用に関する危険因子を特定することによって、中学生に対する薬物乱用防止対策の基礎資料に供するために、飲酒、喫煙、有機溶剤・大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」乱用に対する意識・実態調査を実施した。調査期間は、2012年10月中（一部11～12月中）であり、層別一段集落抽出法により選ばれた全国235校の全生徒を対象に、自記式調査を実施した。その結果、124校（対象校の52.8%）より、54,733人（対象校235校の全生徒想定数の46.8%）の回答を得た。有効回答数は54,486人（対象校235校の全生徒想定数の46.6%）であった。その結果、以下のような結論を得た。

① **有機溶剤の生涯経験率**（これまでに1回でも経験したと答えた者の割合）は、男子で0.6%（1年生0.6%、2年生0.6%、3年生0.8%）、女子で0.4%（1年生0.3%、2年生0.4%、3年生0.5%）であり、全体では0.5%（1年生0.4%、2年生0.5%、3年生0.6%）であった。この結果は、男女及び全体で、1996年に開始した一連の本調査では最低の値である。有機溶剤乱用の目撃率、身近にいる有機溶剤乱用者の周知率、有機溶剤乱用への被誘惑率も、過去最低の値であった。以上により、有機溶剤乱用の勢いは、確実に弱まっている。

② 有機溶剤乱用経験者群では、非経験者群に比べて、日常生活の規則性、学校生活、家庭生活、友人関係において、好ましくない傾向が統計学的有意差を持って強いことが再確認された。その背景には、家庭生活のあり方が大きく影響していると考えられる。経験者群では、「親との相談頻度」「家族との夕食頻度」が有意に低く、逆に「大人不在での時間」が有意に長く、親子の共有時間が少ない傾向が再確認された。

③ 結局、有機溶剤経験者群は、相対的に見れば、家庭にも、学校にもなじみず、友人関係も希薄な中学生たちが多く、「居場所のない子供たち」と推測することができよう。

④ また、中学生における喫煙と大人が同伴しない飲酒は、有機溶剤乱用と強い繋がりを持っており、これらは、有機溶剤乱用への「ゲイトウェイ」となっている可能性が再確認された。

⑤ 有機溶剤乱用による健康への害知識の周知率は調査年毎に上昇していたが、2006年をピークに、周知度が減少傾向にあり、薬物乱用防止教育の再度の強化の必要性が示唆された。

⑥ **大麻の生涯経験率**は、男子では0.3%（1年生0.3%、2年生0.2%、3年生0.4%）であり、女子では0.2%（1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%）であった。全体では0.2%（1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.4%）であった。この結果は、男女及び全体で、1996年に開始した一連の本調査では最低の値である。**覚せい剤の生涯経験率**は、男子では0.3%（1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.4%）で、女子では0.2%（1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%）であり、全体では0.2%（1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.3%）であった。この結果は、男女及び全体で、1996年に開始した一連の本調査では最低の値である。**「脱法ドラッグ」の生涯経験率**は、男子で0.3%（1年生0.2%、2年生0.2%、3年生0.5%）、女子で0.2%（1年生0.1%、2年生0.1%、3年生0.3%）であり、全体では0.2%（1年生0.1%、2年生0.2%、3年生0.4%）であった。

⑦ 大麻及び覚せい剤乱用による医学的害知識の周知度は、経年的に増加傾向にあったが、2012年調査では激減傾向を示した。薬物乱用防止教育の行われ方に疑義を抱かざるを得ない結果であった。

⑧ **大麻、覚せい剤の入手可能性**は微減した。た



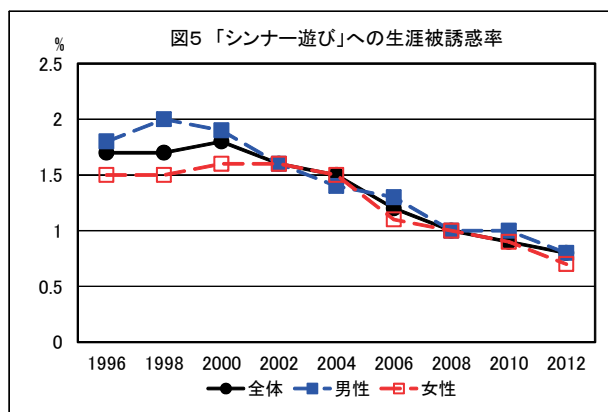
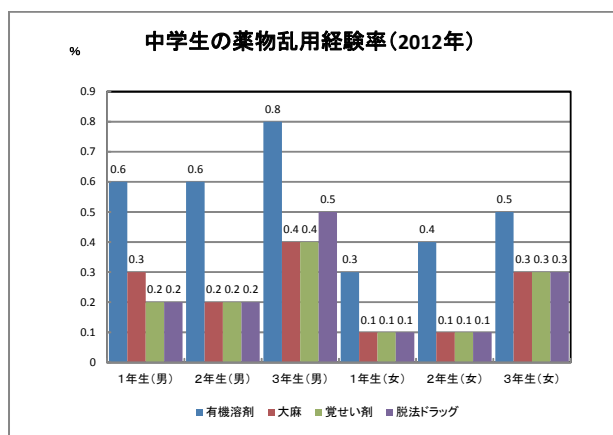
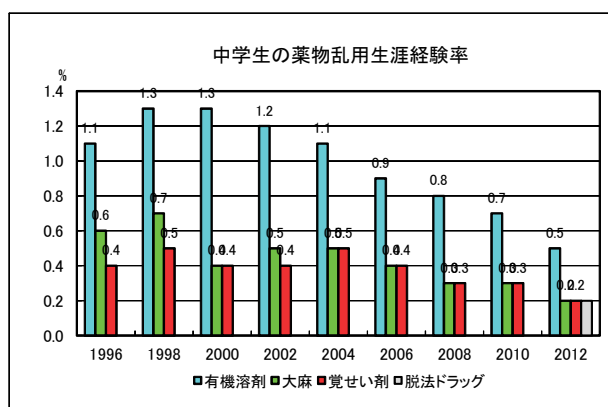
だし、大麻入手可能群の割合は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で13.1%、女子で11.7%であるのに対して、経験者群では、男子で35.6%、女子で43.6%と明らかに異なっていた ( $p < 0.01$ )。このことは覚せい剤の入手可能性についても同じであり、覚せい剤入手可能群の割合は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で12.7%、女子で11.9%であるのに対して、経験者群では、男性で30.5%、女性で44.6%となっていた ( $p < 0.01$ )。これらの結果は、わが国の中学生にとって、有機溶剤を乱用すると言うことは、大麻、覚せい剤が身近なものになるという特徴を如実に示している。

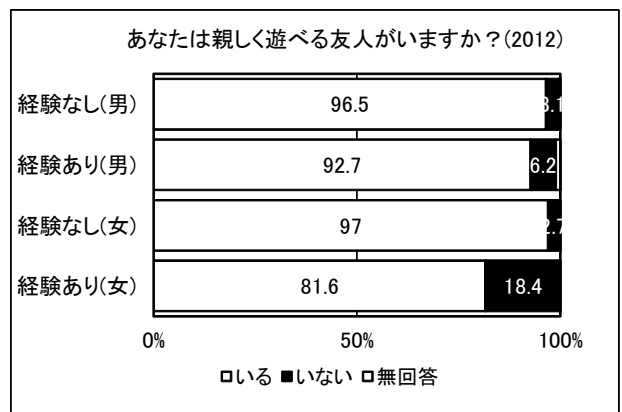
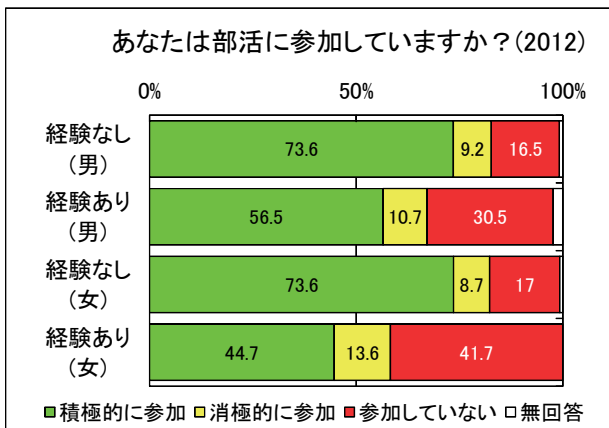
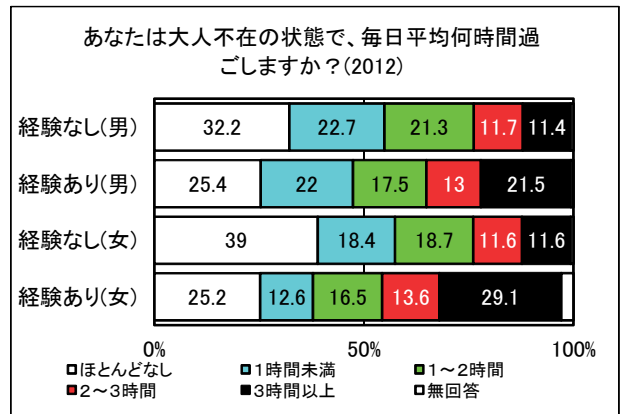
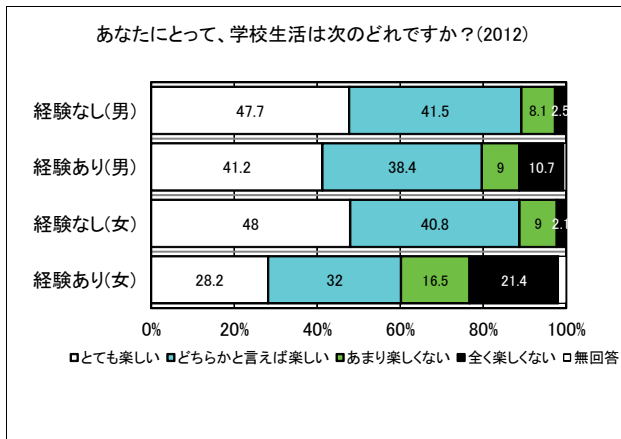
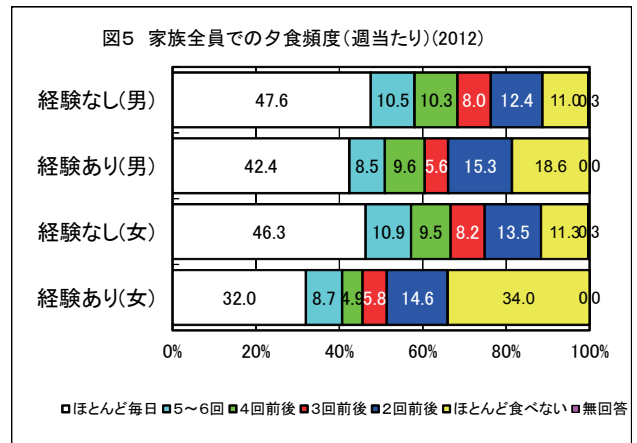
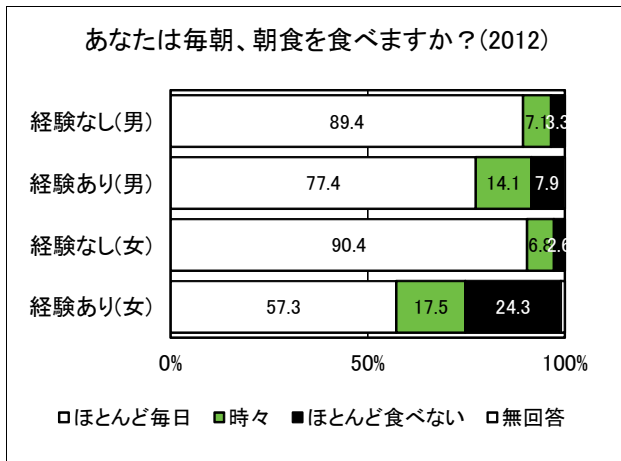
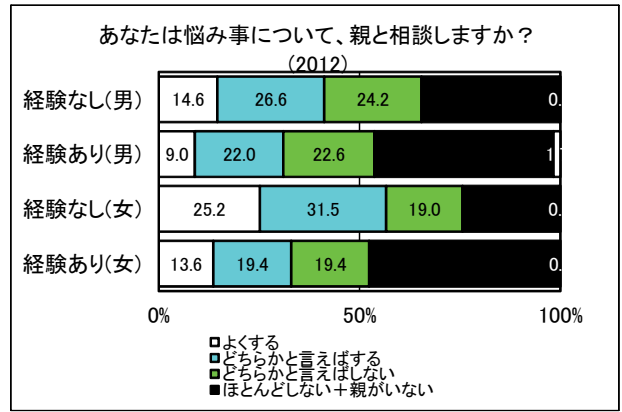
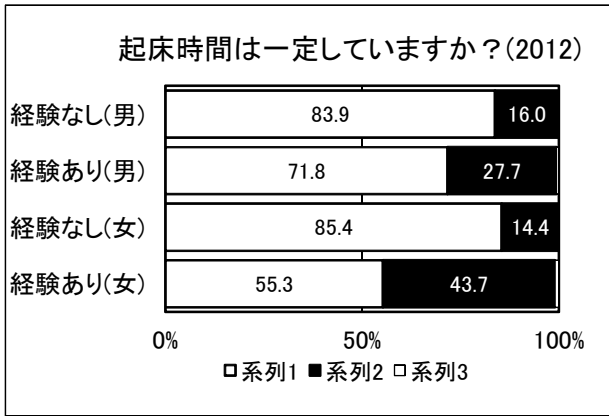
⑨ 薬物の乱用経験率には、法の遵守性が大きく影響すると考えられる。喫煙については全体の約5%の者が「少々ならかまわない」を選んでいるのに対して、「シンナー遊び」に関してそれを選んだ者は1.2%に過ぎず、大麻では0.7%であったことは、同じ依存性薬物と言えども、有機溶剤及び大麻乱用への心理的垣根は喫煙よりはるかに高いことを物語っている。

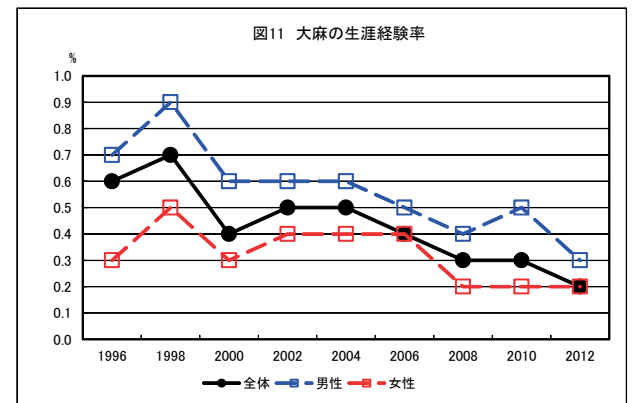
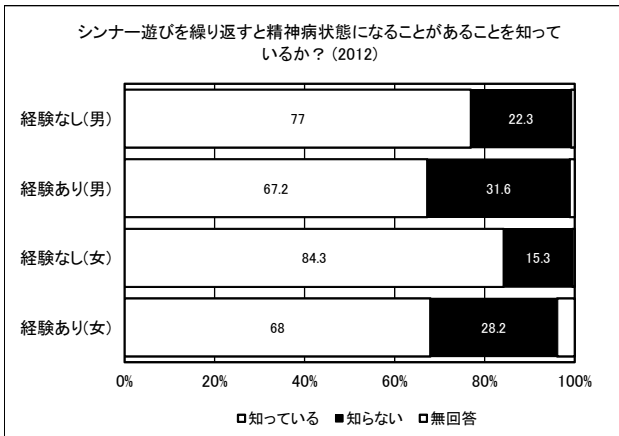
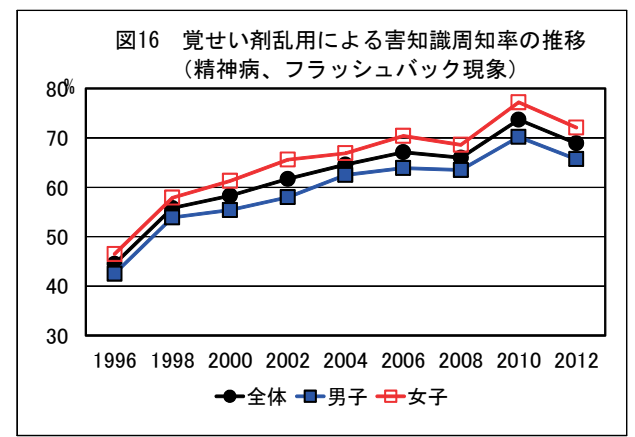
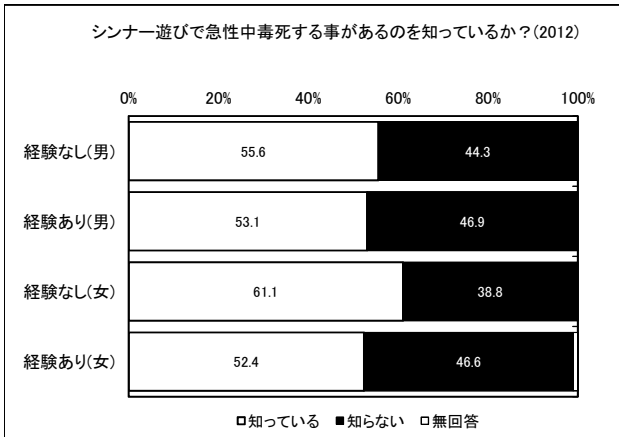
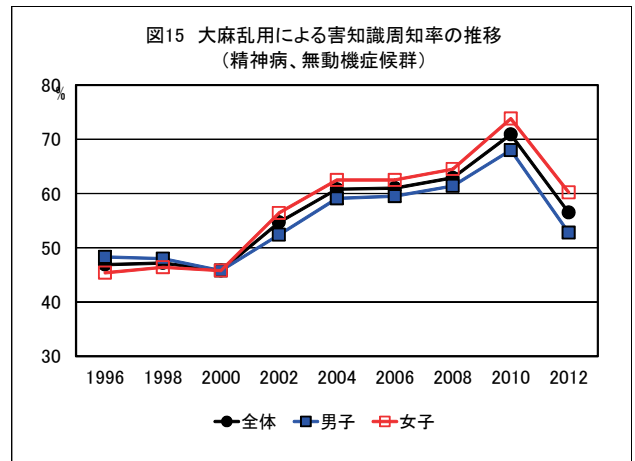
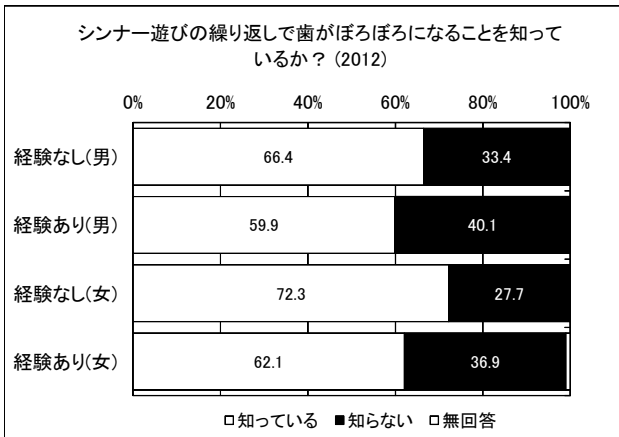
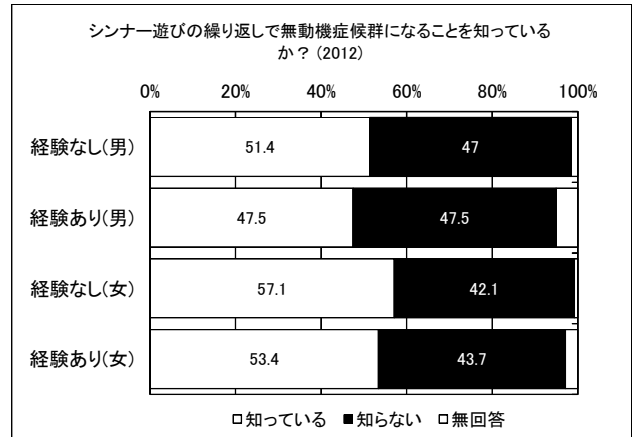
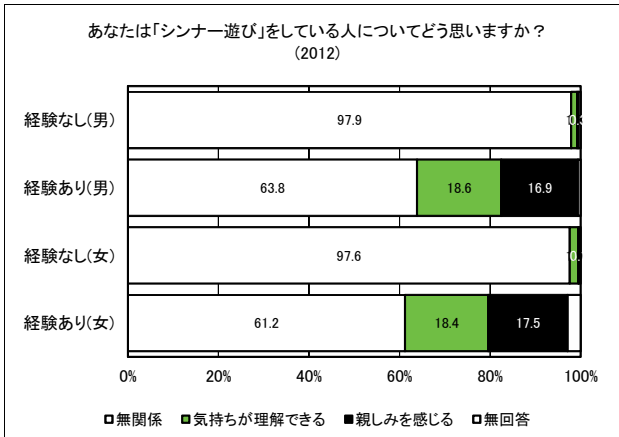
⑩有機溶剤乱用経験者群の20.5% (男子18.6%、女子23.3%) の者に大麻乱用の経験があり、19.1% (男子18.1%、女子19.4%) の者に覚せい剤乱用の経験があり、有機溶剤乱用と大麻・覚せい剤乱用との間には強い結びつきがあることが再確認された。同時に、喫煙経験と有機溶剤乱用経験との間にも結びつきが認められた。喫煙経験と「脱法ドラッグ」乱用との関係、「シンナー遊び」経験と「脱法ドラッグ」乱用との関係は、それぞれ、喫煙経験と「シンナー遊び」との関係、「シンナー遊び」経験と大麻ないしは覚せい剤乱用との関係とほとんど同じ結果であった。驚くべきことは、「脱法ドラッグ」乱用経験者における大麻、覚せい剤乱用経験の高さである。「脱法ドラッグ」乱用経験者における大麻乱用経験率は、60.0% (男子59.7%、女子63.6%) であり、「脱法ドラッグ」乱用経験者における覚せい剤乱用経験率は、63.3% (男子59.7%、女子70.5%) にも上った。従来、わが国での中学生にとっての乱用薬物の順番は、「喫煙→有機溶剤→大麻・覚せい剤」と考えられてきた。しかし、「脱法ドラッグ」の出現は、「喫煙→脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」という新しい流れの可能性を示唆するものであり、同時に、「脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」の流れは、「有機溶剤→大麻・覚せい剤」の比ではない可能性を示唆する

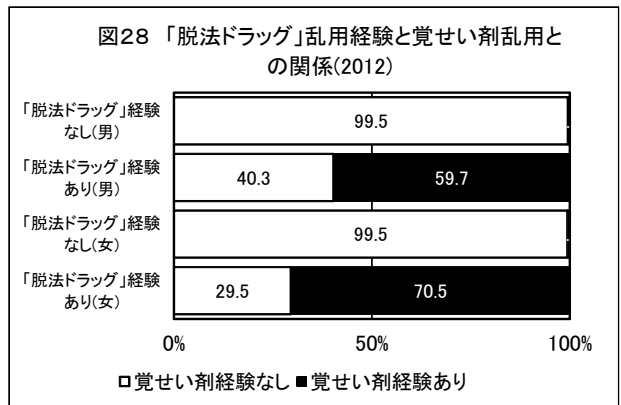
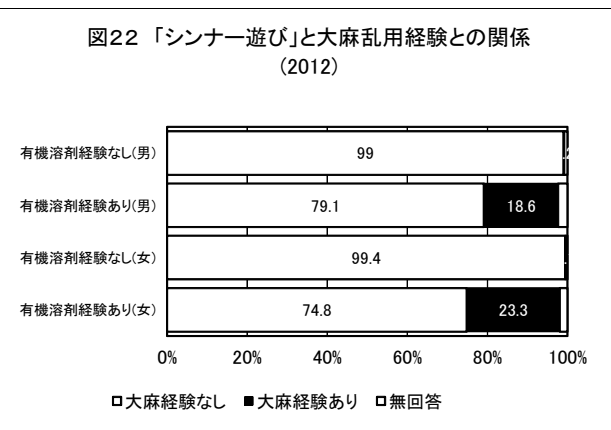
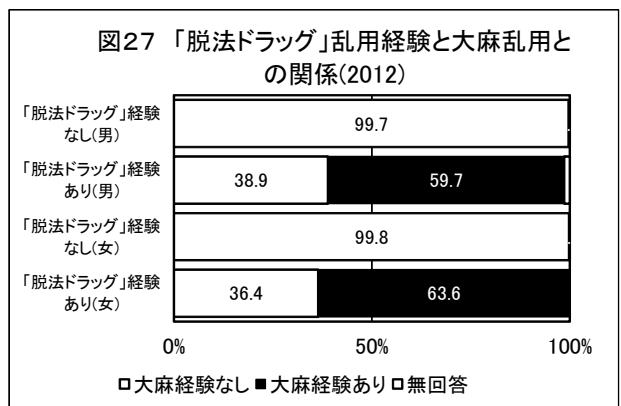
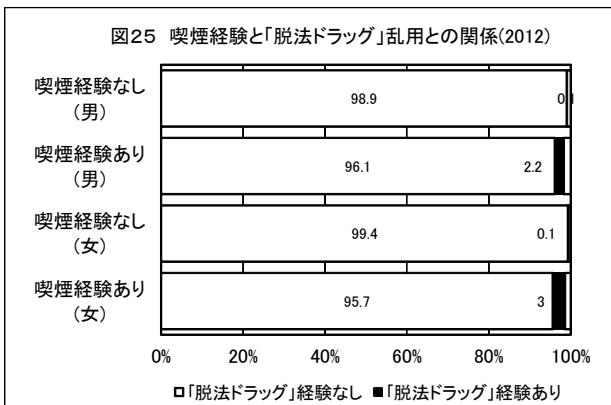
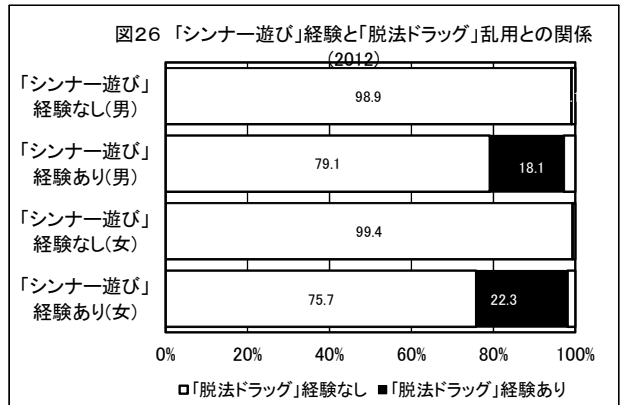
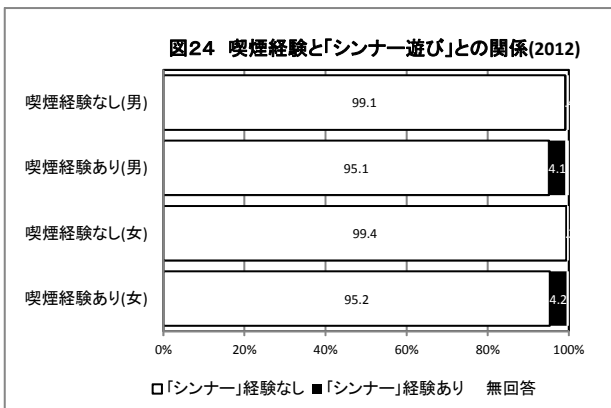
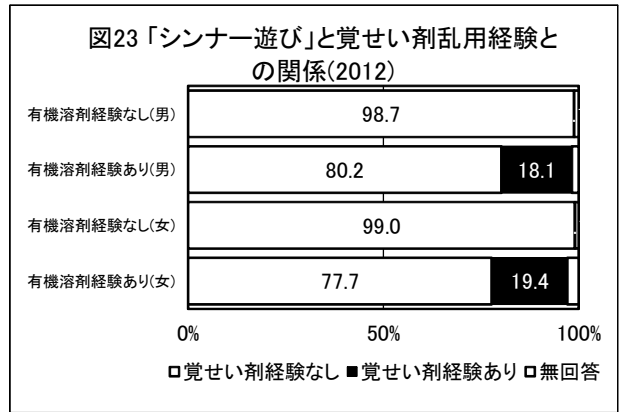
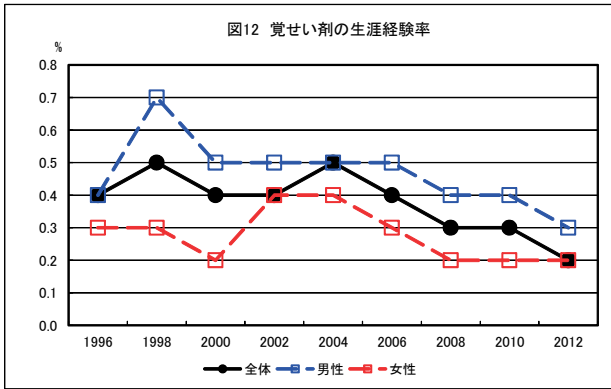
ものである。ただし、今回のこの結果は、初めての調査結果であり、トレンドを見ることのできないため、断定はできない。しかし、それにしても、「脱法ドラッグ」乱用経験と大麻、覚せい剤乱用との関係の強さは恐怖すら覚える結果であった。

⑪ 以上により、中学生の薬物乱用問題は、有機溶剤問題から「脱法ドラッグ」問題に変わってきている可能性がある。薬物乱用防止教育の実施状況の再確認とともに、内容を再検討する時期に来ている。









平成24年度厚生労働科学研究費補助金  
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)

「飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査(2012年)」

研究分担者：和田 清 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)

薬物乱用・依存等の実態把握と薬物依存症者に関する制度的社会資源の  
現状と課題に関する研究  
(H23-医薬一般-014)

研究代表者：和田 清 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)

研究報告書 別刷

2013年3月31日 発行